

JT-T433  
ドキュメント転送と操作 (DTAM)  
- サービスとプロトコル -  
プロトコル仕様

Document transfer and manipulation (DTAM)  
- Service and protocols - Protocol specification

第3版

1995年11月28日制定

社団法人  
情報通信技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE

本書は、（社）情報通信技術委員会が著作権を保有しています。

内容の一部又は全部を（社）情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

## ドキュメント転送と操作 ( D T A M ) - サービスとプロトコル - プロトコル仕様

< 参考 >

### 1 . 国際勧告等との関係

本標準は、ドキュメント転送と操作 ( D T A M ) のプロトコル仕様について記述しており、1995年3月に開催された、ITU - T SG 8 会合の決議 No . 1 手続きに基づく、ITU - T 勧告 T . 4 3 3 に準拠したものである。

### 2 . 上記国際勧告等に対する追加項目等

#### 2.1 オプション選択項目

なし

#### 2.2 ナショナルマター決定項目

なし

#### 2.3 先行している項目

なし

#### 2.4 追加した項目

なし

#### 2.5 削除した項目

なし

#### 2.6 国際勧告に対する修正項目

本標準を審議するにあたり基本とした国際勧告において、その内容より判断して明らかに誤りと思われる下記の項目に関して、修正を行った。

本標準の箇所	国際勧告の表記	修正後 ( 本標準で ) の表記
付属資料 C 付表 C - 6	RT-P-Aind	RT-P-ABind
付属資料 C 付表 C - 7	RT-P-Aind	RT-P-ABind

#### 2.7 その他

なし

### 3. 改版の履歴

版 数	制 定 日	改 版 内 容
第1版	平成 3年 4月26日	制 定
第2版	平成 6年11月24日	I T U - T 勧告 T . 4 3 3 の改定に伴う R T S E の利用に関する記述の追加による改版
第3版	平成 7年11月28日	I T U - T 勧告 T . 4 3 3 の改定に伴うカラーモード及びファイル転送に関する記述の追加のための改版

### 4. 工業所有権

本標準に関わる「工業所有権の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTCホームページでご覧になれます。

### 5. その他

#### (1) 参照している勧告、標準等

I T U - T 勧告 : T . 6 2 bis 、 T . 4 0 0 、 T . 4 1 1 、 T . 4 1 2 、 T . 4 1 4 、 T . 4 1 5 、  
T . 4 1 6 、 T . 4 1 7 、 T . 4 1 8 、 T . 4 4 1 、 X . 2 0 0 、 X . 2 0 8 、  
X . 2 0 9 、 X . 2 1 0 、 X . 2 1 5 、 X . 2 1 6 、 X . 2 1 7 、 X . 2 1 8 、  
X . 2 1 9 、 X . 2 2 5 、 X . 2 2 6 、 X . 2 2 7 、 X . 2 2 8 、 X . 4 0 0  
T T C 標準 : J T - T 4 3 1 、 J T - T 4 3 2

## 目 次

1 . 本標準の規定範囲と適用領域	1
1.1 一般事項	1
1.2 規定範囲と適用領域	1
2 . 参照勧告等	1
3 . 定義と略語	1
4 . 規 約	1
5 . プロトコルの概要	2
5.1 サービス提供	2
5.2 他のASE及び下位レイヤサービスとの関係	2
5.2.1 ACSEサービス(RTSEを未使用の場合)	2
5.2.2 RTSEサービス	2
5.2.3 ROSEサービス	3
5.2.4 プレゼンテーションサービス	3
5.2.5 X.215セッションサービス	3
5.3 テレマティックプロトコルアーキテクチャ(TPA)のモデル	3
5.3.1 DTAMユーザの機能	5
5.3.2 DTAMサービス提供者の機能	5
6 . 手順の要素	6
6.1 DTAMプロトコルデータ単位の要約リスト	7
6.2 DTAMアソシエーション設定	7
6.2.1 目 的	7
6.2.2 使用するAPDU	7
6.2.3 DTAMアソシエーション設定手順	9
6.2.4 DINQ/DINR APDUフィールドの使用	14
6.2.5 衝突と相互作用	16
6.3 DTAMアソシエーションの正常終了	16
6.3.1 目 的	16
6.3.2 使用するAPDU	16
6.3.3 正常終了手順	17
6.3.4 DTEQ APDUフィールドの使用	19
6.3.5 DTER APDUフィールドの使用	19
6.3.6 衝突と相互作用	20
6.4 DTAMアソシエーションの異常終了	20
6.4.1 目 的	20
6.4.2 使用するAPDU	21
6.4.3 異常終了手順	21
6.4.4 ABORT APDUフィールドの使用	23
6.4.5 衝突と相互作用	24
6.5 能 力	24
6.5.1 目 的	24
6.5.2 使用するAPDU	24

6.5.3	DTAM能力手順	26
6.5.4	D C P Q / D C P R A P D Uフィールドの使用	28
6.6	ドキュメントバルク転送	30
6.6.1	目的	30
6.6.2	A P D Uの使用	30
6.6.3	転送手順	33
6.6.4	転送 - 再開手順	35
6.6.5	転送 - 中断	36
6.6.6	転送 - 廃棄	37
6.7	ドキュメント非確認型操作	38
6.7.1	ドキュメント生成操作	38
6.7.2	ドキュメント削除操作	39
6.7.3	ドキュメント修正操作	40
6.7.4	ドキュメントコール操作	41
6.7.5	ドキュメント再構築操作	42
6.8	ドキュメント確認型操作	43
6.9	タイプトデータ転送	43
6.9.1	目的	43
6.9.2	使用するA P D U	43
6.9.3	タイプトデータ転送手順	43
6.9.4	D T D A P D Uフィールドの使用	43
6.10	遠隔ドキュメントアクセス	44
6.11	遠隔ドキュメント管理	44
6.12	トークン制御	44
6.12.1	トークン要求制御	44
6.12.2	トークン譲渡制御	46
6.12.3	制御譲渡	46
6.13	例外報告	47
6.13.1	ユーザ例外報告	47
6.13.2	提供者例外報告	48
6.14	拡張規則	49
7	下位サービスへのマッピング	49
7.1	プレゼンテーションとA C S Eサービスへのマッピング	49
7.1.1	A C S Eサービスへのマッピング	51
7.1.2	プレゼンテーションサービスへのマッピング	54
7.2	プレゼンテーションとR T S Eサービスへのマッピング	55
7.2.1	R T S Eサービスへのマッピング	55
7.2.2	プレゼンテーションサービスへのマッピング	60
7.3	透過モードにおけるセッションサービス ( I T U - T 勧告 X . 2 1 5 )へのマッピング	60
7.3.1	D T A Mアソシエーション設定手順	62
7.3.2	アソシエーション解放手順	65
7.3.3	アソシエーション - 提供者 - 強制終了手順	65
7.3.4	アソシエーション - ユーザ - 強制終了手順	65

7.3.5	転送手順	65
7.3.6	トークン要求手順	67
7.3.7	制御譲渡手順	67
7.3.8	能力データ交換手順	68
7.3.9	ユーザ例外報告手順	68
7.3.10	提供者例外報告手順	68
7.3.11	転送中断手順	68
7.3.12	転送廃棄手順	69
7.3.13	転送ユーザ回復手順	69
8	A P D U の抽象構文定義	70
8.1	ノーマルモードにおける A P D U の抽象構文定義	70
8.2	透過モードにおけるセッションサービス利用のための A P D U の抽象構文定義	76
9	パフォーマンス	77
付属資料 A	ドキュメントバルク転送のためのプロトコルシーケンス例	78
付属資料 B	D T A M - P M 状態表 (ドキュメントバルク転送 / 透過モード)	81
1	概要	81
2	規定	81
3	D T A M - P M で行われる動作	82
4	変数の定義	82
付属資料 C	D T A M - P M 状態表 (ドキュメントバルク転送 / ノーマルモード)	98
1	概要	98

## 1. 本標準の規定範囲と適用領域

### 1.1 一般事項

本標準は、分散されたテレマティックシステム環境下でアプリケーションをサポートするための1つのアプリケーションサービス要素であるドキュメント転送及び操作(DTAM)サービス要素によって提供されるサービスのためのプロトコルを規定する。本標準は特に複数のアプリケーションによって使用される一群のアプリケーションサービス要素のためのプロトコルを規定する一連の標準の1つである。

### 1.2 規定範囲と適用領域

本標準はドキュメント転送及び操作サービス要素のためのプロトコルと手順を規定する。DTAMサービスは、アソシエーション制御サービス要素(ACSE)サービス(ITU-T勧告X.217参照)、高信頼性転送サービス要素(RTSE)サービス(ITU-T勧告X.218参照)及びプレゼンテーションサービス(ITU-T勧告X.216参照)またはセッションサービス(ITU-T勧告X.215参照)とともに提供される。マッピングによっては、ITU-T勧告T.62 bis も適用してよい。

DTAM手順は、以下のものより定義されている。

- (1) ACSEサービス、RTSEサービス及びプレゼンテーションサービスまたはセッションサービスの使用によるDTAMプロトコルマシン同志の相互作用
- (2) DTAMプロトコルマシンとそのサービスユーザ間の相互作用

本標準は、これらの手順を実装しているシステムの適合要求条件を規定する。

遠隔操作サービス要素(ROSE:ITU-T勧告X.219参照)の使用は今後の検討課題である。

## 2. 参照勧告等

参照勧告、標準はTTC標準JT-T431に記載されている。

## 3. 定義と略語

用語と略語はTTC標準JT-T431で定義される。TTC標準JT-T432で提供されるサービスプリミティブの名前の定義は本標準で使用される。

## 4. 規約

本標準はAPDUフィールドを規定する。6章において各DTAM APDUの表を提示する。各フィールドは次の表記により要約される。

- |     |                         |
|-----|-------------------------|
| M   | 必須である。                  |
| U   | オプションである。               |
| req | ソースは要求プリミティブに関連する。      |
| ind | シンクは指示プリミティブに関連する。      |
| rsp | ソースは応答プリミティブに関連する。      |
| cnf | シンクは確認プリミティブに関連する。      |
| sp  | ソースまたはシンクまたはDTAM-PMである。 |

各DTAM APDUの構造は、8章でITU-T勧告X.208の抽象構文記法を使用して規定される。



## 5. プロトコルの概要

### 5.1 サービス提供

本標準で規定されているプロトコルはTTC標準JT-T432で定義されているDTAMサービスを提供する。これらのサービスは表5-1/JT-T433に記載されている。

### 5.2 他のASE及び下位レイヤサービスとの関係

#### 5.2.1 ACSEサービス(RTSEを未使用の場合)

DTAMサービスは、A-ASSOCIATE、A-RELEASE、A-ABORT、A-P-ABORTサービスへのアクセスを必要とする。アプリケーションコンテキストにDTAMを含めることは、他のASEまたはユーザ要素による上記のACSEサービスの使用を除外する。

DTAMの透過モードにおいて、DTAMプリミティブは直接セッションサービスプリミティブ上にマッピングされる。従ってACSEは用いられない。

表5-1/JT-T433 DTAMサービス要約  
(ITU-T T.433)

サービス	タイプ
D-INITIATE	確認型
D-TERMINATE	確認型
D-P-ABORT	提供者起動型
D-U-ABORT	非確認型
D-CAPABILITY	確認型
D-TRANSFER	提供者確認型
D-TYPED-DATA	非確認型
D-CREATE	非確認型
D-DELETE	非確認型
D-MODIFY	非確認型
D-CALL	非確認型
D-REBUILD(注)	非確認型
D-TOKEN-GIVE	非確認型
D-CONTROL-GIVE	非確認型
D-TOKEN-PLEASE	非確認型
D-P-EXCEPTION-REPORT(注)	提供者起動型
D-U-EXCEPTION-REPORT(注)	非確認型

(注) D-REBUILD、D-P-EXCEPTION-REPORT及びD-U-EXCEPTION-REPORTサービスは継続検討とする。

#### 5.2.2 RTSEサービス

RTSEはドキュメントバルク転送のためのノーマルモードにおけるドキュメントバルク転送をサポートするために用いられる。

RTSEはアプリケーションプロトコルデータ単位（APDU）の高信頼性転送を提供する。RTSEは、それぞれのAPDUが1度正確に転送されること、または送信側が例外を通知されることを保証する。RTSEは、通信及びエンドシステムの失敗の回復や、回復のために必要な再送の回数の最小化を行う。

### 5.2.3 ROSEサービス

このASEの使用は継続検討とする。

### 5.2.4 プレゼンテーションサービス

DTAMサービスはP-CAPABILITY-DATA、P-DATA、P-U-EXCEPTION-REPORT、P-P-EXCEPTION-REPORT、P-TOKEN-PLEASE、P-TOKEN-GIVEサービスへのアクセスを必要とすることがある。また、ACSEサービスはP-CONNECT、P-RELEASE、P-U-ABORT、P-P-ABORTサービスへのアクセスを必要とする。

### 5.2.5 X.215セッションサービス

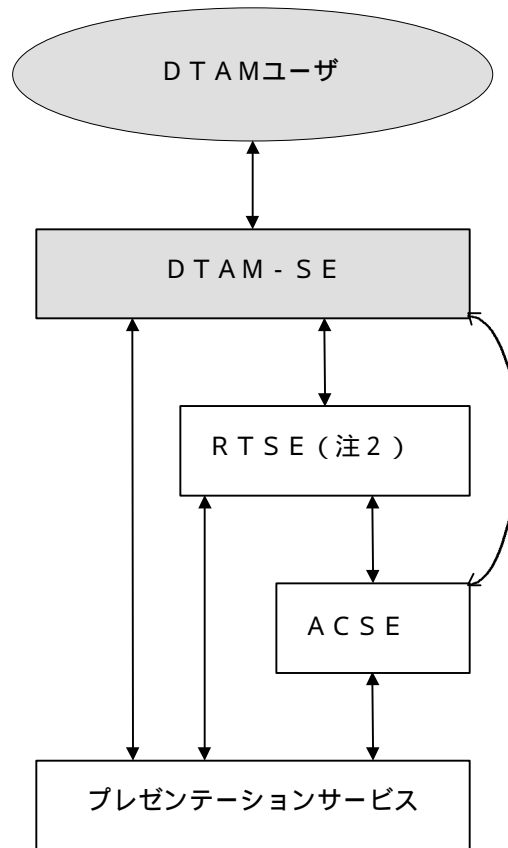
透過モードにおいて、DTAMで定義されるAPDUはITU-T勧告X.215で定義されるセッションサービスに直接マッピングされる。ITU-T勧告T.62bisで記述された手順も適用される。

DTAMサービスは、S-CONNECT、S-CAPABILITY-DATA、S-ACTIVITY-START、S-DATA、S-MINOR-SYNCHRONIZE、S-ACTIVITY-END、S-ACTIVITY-INTERRUPT、S-ACTIVITY-DISCARD、S-U-EXCEPTION-REPORT、S-ACTIVITY-RESUME、S-P-EXCEPTION-REPORT、S-TOKEN-PLEASE、S-CONTROL-GIVE、S-RELEASE、S-U-ABORT、S-P-ABORTサービスへのアクセスを必要とすることがある。

## 5.3 テレマティックプロトコルアーキテクチャ（TPA）のモデル

DTAMはOSIモデルのアプリケーションレイヤの2つのDTAMプロトコルマシン（DTAM-PM）間で動作する。プロトコルエレメントはITU-T勧告X.215で定義されるセッションサービス、またはそれぞれITU-T勧告X.218、ITU-T勧告X.217及びITU-T勧告X.216で定義されるRTSE、ACSE及びプレゼンテーションレイヤのサービスを使用して、DTAM-PM間で交換される。

テレマティックプロトコルアーキテクチャ（TPA）のモデルを、図5-1/JT-T433に示す。このアプリケーションレイヤプロトコル構造はACSE（アソシエーション制御サービス要素）、RTSE（高信頼性転送サービス要素）、DTAM-SE（サービス要素）及びDTAMユーザから構成される。RTSEの使用はノーマルモードのドキュメントバルク転送に限られる。遠隔操作サービス要素（ROSE）の使用は継続検討とする。



(注1) セッションサービス (透過モード) 使用の場合、特定のDTAM APDUはセッションサービスプリミティブに直接マッピングされる。

(注2) RTSEの使用はノーマルモードのドキュメントバルク転送に限られる。

図5 - 1 / JT - T 4 3 3 アプリケーションレイヤにおけるテレマティック  
 (ITU - T T.433) プロトコルアーキテクチャ (TPA)

### 5.3.1 DTAMユーザの機能

DTAMユーザは通信において、実際のテレマティックユーザ（端末ユーザまたはシステムユーザ）の意図を正確に反映する任務、及び実際のユーザの代わりにアプリケーション（ドキュメントバルク転送、ドキュメント操作、ドキュメント転送及び操作等）を実行する機能を有する。このメカニズムはTTC標準JT-T432で定義されたDTAMサービスを通してDTAM-SEを使用し提供される。DTAMサービスはデータハンドリングのためのDTAMサービス提供者とDTAユーザ間のロジカルインタフェースであり、特定のハードウェア及びソフトウェア技術の影響を受けない。

アプリケーションサービス要素としてのDTAMユーザは交換されたドキュメントのコンテンツの意味を解釈することができる。例えば情報検索の間に転送される検索コマンドはDTAMではなくてDTAMユーザによって解釈される。

### 5.3.2 DTAMサービス提供者の機能

ドキュメントのシングルソース管理においてテレマティックアプリケーションをサポートするためにDTAMサービス提供者は次の通信機能を提供する。

#### (1) アソシエーション使用制御（カーネル）

DTAMはACSEで与えられるアソシエーションの使用のトリガを提供し、通信の間アソシエーション使用（終了、強制終了等）を直接もしくはRTSEを用いて制御する。DTAMの下位レイヤ機能にセッションサービスを適用する場合は、このアソシエーション使用制御はセッションカーネル機能単位上に直接マッピングされる。

#### (2) DTAM能力

DTAM能力は通信特性を規定するための一群のパラメータによって定義される。

##### ODAアプリケーション能力

- (a) ドキュメントアプリケーションプロファイル
- (b) オペレーショナルアプリケーションプロファイル
- (c) 非基本ドキュメント特性
- (d) 非基本構造特性
- (e) 付加ドキュメント特性等

##### ファイル転送能力

- (a) BFT能力
- (b) 透過データ能力
- (c) DTM能力
- (d) EDIFACT能力

##### 私用能力

#### (3) データ伝送機能

DTAMは以下のようにドキュメントバルク転送、ドキュメント操作、タイプトデータ転送のための機能を提供する。

##### (a) ドキュメントバルク転送

DTAMはD-INITIATEと付加的にD-CAPABILITYによりネゴシエーションした通信環境下で、一括してドキュメントを転送する機能を有する。

##### (b) ドキュメント操作

DTAMは存在しているドキュメントの構造（ページ、ブロック等）を生成、変更、削除することにより両ユーザから認識されるドキュメントを部分的に修正する機能、またはODAとオペレー

シヨナル構造の構造を生成することにより新しいドキュメントを作成する機能を提供する。

(c) タイプトデータ転送

D T A Mはデータトークン制御と無関係にタイプトデータ転送の機能をオプションとして提供する。

(4) ドキュメント遠隔アクセス

継続検討

(5) ドキュメント遠隔管理

継続検討

(6) トークン制御

D T A Mはダイアログのためのデータトークンの操作のためにトークン制御の機能をオプションとして提供する。

(7) 例外報告

D T A MはD T A M通信の間、エラー制御のために例外報告機能をオプションとして提供する。

## 6. 手順の要素

本章は2つのD T A Mプロトコルマシン ( D T A M - P M ) 間のD T A Mプロトコルの要素を構成するプロトコルデータ単位の全てのタイプを識別する。プロトコルデータ単位 ( P D U ) はそれ自身で意味を持つD T A M - P M間で交換される情報の最小単位である。

D T A MサービスプリミティブがD T A Mユーザから受信された場合、D T A MはD T A Mプロトコルを通して相手のD T A MにD T A Mプリミティブデータを転送する。これを受けて、相手のD T A MがD T A Mサービスプリミティブを生成し、D T A Mユーザに通知する。D T A Mプロトコルデータ単位 ( D - P D U ) を表6 - 1 / J T - T 4 3 3に示す。

D T A Mサービスプリミティブの個々のパラメータは、原則的に全てのP D Uパラメータにマッピングされる。しかしD T A M自身により生成されたパラメータのように、サービスプリミティブの中で指定されないパラメータを含むP D Uも存在する。例えばD - I N I T I A T E - R E Q P D UはD T A Mプロトコルバージョンパラメータを含む。これはD T A M - P M間のプロトコルのバージョンをネゴシエーションするために使われる。D T A MユーザはこのD T A Mネゴシエーションに関与していない。

P D Uは実装する下位レイヤサービス機能へのマッピングの最小参照情報として記号的に識別される。これにより本章では、特定のプレゼンテーションプリミティブとして使用されるP D Uとプレゼンテーションサービスデータ転送機能を使用してD T A M P D Uとして転送されるP D Uの区別をしない。P D Uのマッピングと符号化の詳細は8章に示す。

P D Uは本標準のコンテキスト外で使用されるべきフルネームと簡潔さのために使用される省略ネームにより示される。フルネームはP D Uの目的を記述する1つまたは2つの単語から構成される。D - が前に置かれ、P D Uの要求 / 応答の組の場合は - R E Qまたは - R E S Pが後置される。省略ネームは各々3または4文字で要求 / 応答の組の場合QまたはRが付加される。

## 6.1 DTAMプロトコルデータ単位の要約リスト

表 6 - 1 / J T - T 4 3 3 DTAMプロトコルデータ単位  
( I T U - T T . 4 3 3 )

機能単位	PDU略称	プロトコル要素 ( PDU )	参照
アソシエーション 使用制御 (カーネル)	DINQ	D - INITIATE - REQ	6 2
	DINR	D - INITIATE - RESP	6 2
	DTEQ	D - TERMINATE - REQ	6 3
	DTER	D - TERMINATE - RESP	6 3
	DAB	D - ABORT	6 4
能 力	DCPQ	D - CAPABILITY - REQ	6 5
	DCPR	D - CAPABILITY - RESP	6 5
ドキュメントバルク転送	無	無	6 6
ドキュメント 非確認型操作	DCR	D - CREATE	6 7
	DDL	D - DELETE	6 7
	DMD	D - MODIFY	6 7
	DCL	D - CALL	6 7
	DRD	D - REBUILD 継続検討	6 7
ドキュメント 確認型操作		継続検討	6 8
タイプトデータ転送	DTD	D - TYPED - DATA	6 9
遠隔ドキュメント アクセス		継続検討	6 10
遠隔ドキュメント 管理		継続検討	6 11
トークン制御	DTP	D - TOKEN - PLEASE	6 12
例外報告		継続検討	6 13

## 6.2 DTAMアソシエーション設定

### 6.2.1 目 的

DTAMアソシエーション設定手順は2つのAE間でDTAMのアソシエーションを設定するために使用され、D - INITIATE サービスを提供する。

### 6.2.2 使用するAPDU

DTAMアソシエーション設定手順は、D - INITIATE - REQ ( DINQ ) 及びD - INITIATE - RESP ( DINR ) のAPDUを使用する。

#### 6.2.2.1 DINQ APDU

ノーマルモード及び透過モードにおけるDINQ APDUのフィールドを表 6 - 2 / J T - T 4 3 3 及び表 6 - 3 / J T - T 4 3 3 に示す。

表6 - 2 / JT - T 4 3 3 ノーマルモードにおけるDINQ APDU  
(ITU - T T.433)のフィールド

フィールド名	存在	ソース	シンク
サービスクラス	(注1)	req	ind
テレマティック要求条件	M	req	ind
アプリケーション能力	M	req	ind
プロトコルバージョン	U(注2)	sp	sp
DTAM - QOS	(注1)	req	ind
アカウント	(注1)	req	ind
ユーザ情報	U	req	ind

(注1) このパラメータの使用方法は継続検討とする。

(注2) このパラメータはデフォルト指定が可能である。

表6 - 3 / JT - T 4 3 3 透過モードにおけるDINQ APDUのフィールド  
(ITU - T T.433)

フィールド名	存在	ソース	シンク
アプリケーション能力	M	req	ind

#### 6.2.2.2 DINR APDU

ノーマルモード及び透過モードにおけるDINR APDUのフィールドを表6 - 4 / JT - T 4 3 3 及び表6 - 5 / JT - T 4 3 3に示す。

表6 - 4 / JT - T 4 3 3 ノーマルモードにおけるDINRAPDUのフィールド  
(ITU - T T.433)

フィールド名	存在	ソース	シンク
テレマティック要求条件	U	rsp	cnf
アプリケーション能力	U	rsp	cnf
プロトコルバージョン	U(注2)	sp	sp
DTAM - QOS	(注1)	rsp	cnf
結果	M	rsp	cnf
ユーザ情報	U	rsp	cnf

(注1) このパラメータの使用方法は継続検討とする。

(注2) このパラメータはデフォルト指定が可能である。

表 6 - 5 / J T - T 4 3 3 透過モードにおける D I N Q A P D U のフィールド  
( I T U - T T . 4 3 3 )

フィールド名	存 在	ソース	シンク
アプリケーション能力	M	req	ind

## 6.2.3 D T A M アソシエーション設定手順

### 6.2.3.1 A C S E サービス上にマッピングされる D T A M アソシエーション設定手順 ( ノーマルモード )

この手順は、以下のイベントにより起動される。

- ( 1 ) 要求側ユーザからの D - I N I T I A T E 要求プリミティブ
- ( 2 ) A - A S S O C I A T E 指示プリミティブ上のユーザデータとしての D I N Q A P D U
- ( 3 ) 応答側ユーザからの D - I N I T I A T E 応答プリミティブ
- ( 4 ) A - A S S O C I A T E 確認プリミティブ ( D I N R A P D U を含むかもしれない )

#### 6.2.3.1.1 D - I N I T I A T E 要求プリミティブ

- ( 1 ) 要求側 D T A M - P M は、D - I N I T I A T E 要求プリミティブのパラメータ値と D T A M - P M 内に蓄積されたデータ ( プロトコルバージョンフィールド等 ) から D I N Q A P D U を形成する。要求側 D T A M - P M は、D - I N I T I A T E 要求プリミティブからの情報も使用して A - A S S O C I A T E 要求プリミティブを発行する。A - A S S O C I A T E 要求プリミティブのユーザデータパラメータは D I N Q A P D U を含む。

- ( 2 ) 要求側 D T A M - P M は、A C S E サービス提供者からのプリミティブを待つ。要求側ユーザからは D - U - A B O R T 要求プリミティブを除くいかなるプリミティブも受け付けない。

#### 6.2.3.1.2 D I N Q A P D U

- ( 1 ) 応答側 D T A M - P M は、A - A S S O C I A T E 指示プリミティブ上のユーザデータとして、D I N Q A P D U を相手側から受信する。A - A S S O C I A T E 指示プリミティブのパラメータまたは D I N Q A P D U のフィールドがこの D T A M - P M に受け付けられないものであれば、応答側 D T A M - P M は適当な拒否の結果フィールドを持つ D I N R A P D U を形成し、A - A S S O C I A T E 応答プリミティブ上のユーザデータとして D I N R A P D U を送出する。A - A S S O C I A T E 応答プリミティブ上の結果パラメータは “ 拒否 ( 常時 ) ” を指定する。D T A M - P M は応答側ユーザに D - I N I T I A T E 指示プリミティブを発行せず、アソシエーションは設定されない。

- ( 2 ) A - A S S O C I A T E 指示プリミティブと、その D I N Q A P D U が応答側 D T A M - P M に受け付けられるならば、応答側 D T A M - P M は D - I N I T I A T E 指示プリミティブを応答側ユーザに発行する。D - I N I T I A T E 指示プリミティブのパラメータは D I N Q A P D U と A - A S S O C I A T E 指示プリミティブから導き出される。D T A M - P M は応答側ユーザからの D - I N I T I A T E 応答プリミティブを待ち、応答側ユーザからは D - U - A B O R T 要求プリミティブを除く他のいかなるプリミティブも受け付けない。



#### 6.2.3.1.3 D - INITIATE 応答プリミティブ

- (1) DTAM - PMがD - INITIATE 応答プリミティブを受信したとき、その結果パラメータは 応答側ユーザがDTAMアソシエーションを受け付けたか拒否したかを指示している。DTAM - PMはD - INITIATE 応答プリミティブのパラメータを使ってDINR APDUを形成する。DINR APDUはA - ASSOCIATE 応答プリミティブ上のユーザデータパラメータとして 送出される。
- (2) 応答側ユーザがDTAMアソシエーション要求を受け付けた場合、関連するA - ASSOCIATE 応答プリミティブ上の結果パラメータは“受理”を指定し、送出されるDINR APDUの結果 フィールドも“受理”を指定する。DTAMアソシエーションは設定される。
- (3) 応答側ユーザがDTAMアソシエーション要求を拒否した場合、関連するA - ASSOCIATE 応答プリミティブ上の結果パラメータは“結果：拒否（常時または一時的）”を指定し、送出される DINR APDUの結果フィールドは適当な拒否を示す値を含む。DTAMアソシエーションは設 定されない。

#### 6.2.3.1.4 A - ASSOCIATE 確認プリミティブ

- (1) 要求側DTAM - PMはA - ASSOCIATE 確認プリミティブを受信する。以下の状態がある。
  - (a) DTAMアソシエーションが受け付けられた。
  - (b) 応答側DTAM - PMまたは応答側ユーザがDTAMアソシエーションを拒否した。
  - (c) アソシエーションサービス提供者が関連するアソシエーションを拒否した。
- (2) DTAMアソシエーションが受け付けられた場合、A - ASSOCIATE 確認プリミティブの結果パラメータは“受理”を指定する。ユーザデータパラメータはDINR APDUを含み、DINR APDUの結果フィールドも“受理”を指定する。要求側DTAM - PMは、A - ASSOCIATE 確認プリミティブとDINRAPDUからのパラメータに基づき、要求側ユーザにD - INITIATE 確認プリミティブを発行する。D - INITIATE 確認プリミティブの結果パラメータ は“受理”を指定し、DTAMアソシエーションは設定される。
- (3) DTAMアソシエーションが応答側DTAM - PMまたは応答側ユーザのどちらかに拒否された場 合、A - ASSOCIATE 確認プリミティブの結果パラメータは“結果：拒否（常時または一時的）”及び“結果ソース：ACSEサービスユーザ”を指定する。ユーザデータパラメータはDINR APDUを含み、DINR APDUの結果フィールドは拒否の理由を示す。要求側DTAM - PMは、A - ASSOCIATE 確認プリミティブとDINR APDUからのパラメータに基づき、 要求側ユーザにD - INITIATE 確認プリミティブを発行する。D - INITIATE 確認プリ ミティブの結果パラメータは適当な拒否の値を含む。DTAMアソシエーションは設定されない。
- (4) アソシエーションがアソシエーションサービス提供者によって拒否された場合、A - ASSOCIATE 確認プリミティブの結果パラメータは“結果：拒否（常時または一時的）”及び“結果ソー ス：ACSEサービス提供者”を指定する。この状態では、ユーザデータパラメータはいかなるAP DUも含まない。要求側DTAM - PMは適当な結果パラメータを持つD - INITIATE 確認プ リミティブを発行する。DTAMアソシエーションは設定されない。

#### 6.2.3.2 RTSEサービス上にマッピングされるDTAMアソシエーション設定手順

(ノーマルモード)

この手順は、以下のイベントで起動される。

- (1) 要求側ユーザからのD - INITIATE 要求プリミティブ
- (2) RT - OPEN指示プリミティブ上のユーザデータとしてのDINQ APDU

- ( 3 ) 応答側ユーザからの D - I N I T I A T E 応答プリミティブ
- ( 4 ) R T - O P E N 確認プリミティブ ( D I N R A P D U は含まれないかもしれない)

#### 6.2.3.2.1 D - I N I T I A T E 要求プリミティブ

- ( 1 ) 要求側 D T A M - P M は、D - I N I T I A T E 要求プリミティブのパラメータ値と D T A M - P M 内に蓄積されたデータ ( プロトコルバージョンフィールド等 ) から D I N Q A P D U を形成する。また、D - I N I T I A T E 要求プリミティブからの情報を使用して R T - O P E N 要求プリミティブを発行する。R T - O P E N 要求プリミティブのユーザデータパラメータは D I N Q A P D U を含む。
- ( 2 ) 要求側 D T A M - P M は R T S E サービス提供者からのプリミティブを待ち、要求側ユーザからは D - U - A B O R T 要求プリミティブを除くいかなるプリミティブも受け付けない。

#### 6.2.3.2.2 D I N Q A P D U

- ( 1 ) 応答側 D T A M - P M は、R T - O P E N 指示プリミティブ上のユーザデータとして D I N Q A P D U を相手側から受信する。R T - O P E N 指示プリミティブのパラメータまたは D I N Q A P D U フィールドのパラメータがこの D T A M - P M に受け付けられないものであれば、適当な拒否の結果フィールドを持つ D I N R A P D U を形成し、R T - O P E N 応答プリミティブ上のユーザデータである D I N R A P D U を送出する。R T - O P E N 応答プリミティブ上の結果パラメータは “ 拒否 ( 常時 ) ” を指定する。D T A M - P M は D - I N I T I A T E 指示プリミティブを応答側ユーザに発行しない。アソシエーションは設定されない。
- ( 2 ) R T - O P E N 指示プリミティブとその D I N Q A P D U が応答側 D T A M - P M に受け付けられる場合、応答側 D T A M - P M は D - I N I T I A T E 指示プリミティブを応答側ユーザに発行する。D - I N I T I A T E 指示プリミティブのパラメータは D I N Q A P D U と R T - O P E N 指示プリミティブから導き出される。D T A M - P M は応答側ユーザからの D - I N I T I A T E 応答プリミティブを待ち、応答側ユーザからは D - U - A B O R T 要求プリミティブを除く他のいかなるプリミティブも受け付けない。

#### 6.2.3.2.3 D - I N I T I A T E 応答プリミティブ

- ( 1 ) D T A M - P M が D - I N I T I A T E 応答プリミティブを受信したとき、結果パラメータは応答側ユーザが D T A M アソシエーションを受け付けたか拒否したかを指定している。D T A M - P M は D - I N I T I A T E 応答プリミティブのパラメータを使って D I N R A P D U を形成する。D I N R A P D U は R T - O P E N 応答プリミティブ上のユーザデータパラメータとして送出される。
- ( 2 ) 応答側ユーザが D T A M アソシエーション要求を受け付けた場合、関連する R T - O P E N 応答プリミティブ上の結果パラメータは “ 受理 ” を指定し、送出される D I N R A P D U の結果フィールドも “ 受理 ” を指定する。D T A M アソシエーションは設定される。
- ( 3 ) 応答側ユーザが D T A M アソシエーション要求を拒否した場合、関連する R T - O P E N 応答プリミティブ上の結果パラメータは “ 結果 : 拒否 ( 常時または一時的 ) ” を指定し、送出される D I N R A P D U の結果フィールドは適当な拒否を示す値を含む。D T A M アソシエーションは設定されない。

#### 6.2.3.2.4 R T - O P E N 確認プリミティブ

- ( 1 ) 要求側 D T A M - P M は R T - O P E N 確認プリミティブを受信する。以下の状態がある。
  - ( a ) D T A M アソシエーションが受け付けられた。
  - ( b ) 応答側 D T A M - P M または応答側ユーザが D T A M アソシエーションを拒否した。

- (c) 応答側RTSE - PMがDTAMアソシエーションを拒否した。
- (2) DTAMアソシエーションが受け付けられた場合、RT - OPEN確認プリミティブの結果パラメータは“受理”を指定する。ユーザデータパラメータはDINR APDUを含み、DINR APDUの結果フィールドも“受理”を指定する。要求側DTAM - PMは、RT - OPEN確認プリミティブとDINR APDUからのパラメータに基づき、要求側ユーザにD - INITIATE確認プリミティブを発行する。D - INITIATE確認プリミティブの結果パラメータは“受理”を指定し、DTAMアソシエーションは設定される。
- (3) DTAMアソシエーションが応答側DTAM - PMまたは応答側ユーザのどちらかに拒否された場合、RT - OPEN確認プリミティブの結果パラメータは“結果：拒否（常時または一時的）”及び“結果ソース：ACSEサービスユーザ”を指定する。ユーザデータパラメータはDINR APDUを含み、DINR APDUの結果フィールドは拒否の理由を示す。要求側DTAM - PMは、RT - OPEN確認プリミティブとDINR APDUからのパラメータに基づき、要求側ユーザにD - INITIATE確認プリミティブを発行する。D - INITIATE確認プリミティブの結果パラメータは適当な拒否の値を含む。DTAMアソシエーションは設定されない。
- (4) アソシエーションがアソシエーションサービス提供者によって拒否された場合、RT - OPEN確認プリミティブの結果パラメータは“結果：拒否（常時または一時的）”及び“結果ソース：ACSEサービス提供者”を指定する。この状態では、ユーザデータフィールドは要求側DTAM - PMによって使用されない。要求側DTAM - PMは適当な結果パラメータを持つD - INITIATE確認プリミティブを発行する。DTAMアソシエーションは設定されない。
- (5) アソシエーションが応答側RTSE - PMより拒否された場合、RT - OPEN確認プリミティブの結果パラメータは“結果：拒否（常時または一時的）”及び“結果ソース：ACSEサービスユーザ”を指定する。この状態では、ユーザデータパラメータはAPDUを含まない。要求側DTAM - PMは適当な結果パラメータを持つD - INITIATE確認プリミティブを発行する。DTAMアソシエーションは設定されない。

### 6.2.3.3 セッションサービス上にマッピングされるDTAMアソシエーション設定手順

(透過モード)

この手順は、以下のイベントで起動される。

- (1) 要求側ユーザからのD - INITIATE要求プリミティブ
- (2) S - CONNECT指示プリミティブ上のユーザデータとしてのDINQ APDU
- (3) 応答側ユーザからのD - INITIATE応答プリミティブ
- (4) S - CONNECT確認プリミティブ(DINR APDUは含まれないかもしれない)

#### 6.2.3.3.1 D - INITIATE要求プリミティブ

- (1) 要求側DTAM - PMは、D - INITIATE要求プリミティブのパラメータ値とDTAM - PM内に蓄積されたデータ(ウィンドウサイズ等)からDINQ APDUを形成する。また、D - INITIATE要求プリミティブからの情報を使用してS - CONNECT要求プリミティブを発行する。S - CONNECT要求プリミティブのユーザデータパラメータはDINQ APDUを含む。
- (2) 要求側DTAM - PMはセッションサービス提供者からのプリミティブを待ち、要求側ユーザからはD - U - ABORT要求プリミティブを除く他のいかなるプリミティブも受け付けない。

#### 6.2.3.3.2 DINQ APDU

- (1) 応答側DTAM - PMは、S - CONNECT指示プリミティブ上のユーザデータとしてDINQ

APDUを相手側から受信する。もしS-CONNECT指示プリミティブのパラメータまたはDINQ APDU内のフィールドがこのDTAM-PMに受け付けられないものであれば(すなわちS-CONNECT指示におけるセッションユーザデータがない場合)、応答側DTAM-PMは“セッション開始ユーザ拒否”を指定した結果パラメータを持つS-CONNECT応答プリミティブを発行する。DTAM-PMはD-INITIATE指示プリミティブを応答側ユーザに発行しない。アソシエーションは設定されない。

- (2) S-CONNECT指示プリミティブとそのDINQ APDUが応答側DTAM-PMに受け付けられる場合、応答側DTAM-PMはD-INITIATE指示プリミティブを応答側ユーザに発行する。D-INITIATE指示プリミティブのパラメータはDINQ APDUから導き出される。DTAM-PMは応答側ユーザからのD-INITIATE応答プリミティブを待ち、応答側ユーザからはD-U-ABORT要求プリミティブを除く他のいかなるプリミティブも受け付けない。

#### 6.2.3.3.3 D-INITIATE 応答プリミティブ

- (1) DTAM-PMがD-INITIATE 応答プリミティブを受信したとき、結果パラメータは応答側ユーザがDTAMアソシエーションを受け付けたか拒否したかを指定している。DTAMアソシエーションが受け付けられた場合、DTAM-PMはD-INITIATE 応答プリミティブのパラメータを使ってDINR APDUを形成する。DINR APDUはS-CONNECT 応答プリミティブ上のユーザデータパラメータとして送出される。
- (2) 応答側ユーザがDTAMアソシエーション要求を受け付けた場合、関連するS-CONNECT 応答プリミティブ上の結果パラメータは“受理”を指定する。DTAMアソシエーションは設定される。
- (3) 応答側ユーザがDTAMアソシエーション要求を拒否した場合、関連するS-CONNECT 応答プリミティブ上の結果パラメータは“セッション開始ユーザ拒否”を指定し、DTAM-PMはDINR APDUを送出しない。

#### 6.2.3.3.4 S-CONNECT 確認プリミティブ

- (1) 要求側DTAM-PMはS-CONNECT 確認プリミティブを受信する。以下の状態がある。
  - (a) DTAMアソシエーションが受け付けられた。
  - (b) 応答側DTAM-PMまたは応答側ユーザがDTAMアソシエーションを拒否した。
  - (c) セッションサービス提供者が関連するアソシエーションを拒否した。
- (2) DTAMアソシエーションが受け付けられた場合、S-CONNECT 確認プリミティブの結果パラメータは“受理”を指定する。ユーザデータパラメータはDINRAPDUを含む。要求側DTAM-PMはS-CONNECT 確認プリミティブとDINR APDUからのパラメータに基づき、要求側ユーザにD-INITIATE 確認プリミティブを発行する。D-INITIATE 確認プリミティブの結果パラメータは“受理”を指定する。DTAMアソシエーションは設定される。
- (3) DTAMアソシエーションが応答側DTAM-PMまたは応答側ユーザのどちらかに拒否された場合、S-CONNECT 確認プリミティブの結果パラメータは“ユーザ拒否”を指定する。この確認プリミティブの中にはユーザデータ(DINRAPDU)は存在しない。要求側DTAM-PMは、S-CONNECT 確認プリミティブからのパラメータに基づき、要求側ユーザにD-INITIATE 確認プリミティブを発行する。D-INITIATE 確認プリミティブの結果パラメータは“ユーザ拒否”の値を含む。DTAMアソシエーションは設定されない。
- (4) アソシエーションがセッションサービス提供者によって拒否された場合、S-CONNECT 確認プリミティブの結果パラメータは“提供者拒否”を指定する。この状態ではユーザデータフィールドは要求側DTAM-PMによって使用されない。要求側DTAM-PMは適当な結果パラメータを持

つD - I N I T I A T E 確認プリミティブを発行する。D T A Mアソシエーションは設定されない。

#### 6.2.4 D I N Q / D I N R A P D Uフィールドの使用

D I N Q A P D U及びD I N R A P D Uフィールドは以下のように使用される。

##### 6.2.4.1 サービスクラス

このパラメータの使用方法は継続検討とする。

##### 6.2.4.2 テレマティック要求条件

これはD - I N I T I A T E 要求 / 応答プリミティブからのテレマティック要求条件パラメータ値である。これはD - I N I T I A T E 指示 / 確認プリミティブのテレマティック要求条件パラメータ値として個々に現れる。要求側ユーザによって提示されたテレマティック要求条件が応答側ユーザに受け付けられない場合は、D T A Mアソシエーションは設定に失敗する。

##### 6.2.4.3 アプリケーション能力

これはD - I N I T I A T E 要求 / 応答プリミティブからのアプリケーション能力パラメータ値である。これはD - I N I T I A T E 指示 / 確認プリミティブのアプリケーション能力パラメータ値としてそれぞれに現れる。このパラメータはサブパラメータのセットからなる。それぞれのセットは、O D Aドキュメントまたはファイルのどちらかを扱う能力が指定される。

###### 6.2.4.3.1 O D Aアプリケーション能力

###### 6.2.4.3.1.1 ドキュメントアプリケーションプロファイル

このパラメータ値はオクテットストリングまたはA S N . 1オブジェクト識別子のいずれかである。オクテットストリングはI T U - T 勧告T . 7 3 (ドキュメントアプリケーションプロファイルT . 7 3 ) に従ったドキュメントアプリケーションプロファイルを指示する。A S N . 1オブジェクト識別子はI S O 8 8 2 4に規定された規則に従い、I T U - T 勧告T . 4 1 1 (ドキュメントアプリケーションプロファイル) に規定される規則に従って定義されるアプリケーションプロファイルを指示する。

###### 6.2.4.3.1.2 ドキュメントアーキテクチャクラス

このパラメータ値は“フォーマット化 ( f o r m a t t e d ) ” である。このパラメータは透過モードで使用される。

###### 6.2.4.3.1.3 非基本ドキュメント特性

このパラメータ値はI T U - T 勧告T . 4 1 4で規定される非基本ドキュメント特性の任意の組み合わせである。

###### 6.2.4.3.1.4 非基本構造特性

このパラメータ値はI T U - T 勧告T . 4 1 4で規定される非基本構造特性の任意の組み合わせである。

###### 6.2.4.3.1.5 オペレーショナルアプリケーションプロファイル

オペレーショナルアプリケーションプロファイルの詳細仕様は継続検討とする。

#### 6.2.4.3.1.6 付加ドキュメント特性

本パラメータ値は、ITU-T勧告T.414で規定される付加ドキュメント特性の任意の組み合わせである。

#### 6.2.4.3.2 ファイル転送能力

本パラメータは、受信能力として送信側で利用可能なファイル転送能力を指定する。このパラメータは透過モードとノーマルモードの双方にある。

##### - BFT (バイナリーファイル転送) 能力

本値は、ITU-T勧告T.434の仕様で符号化されたファイルを受信する能力を指示する。

##### - 透過データ能力

本値は、送信側が完全に透過的に転送されたデータを受け入れる(受信側として動作している時)準備ができていることを指示する。

##### - DTM (ドキュメント転送モード) 能力

本値は、ITU-T勧告T.563で規定されたDTM符号化規則で符号化されたBFTファイル(ITU-T勧告T.434で規定された)を受信する能力を指示する。

##### - EDIFACT (電子データ交換) 能力

本値は、ISO/IEC9735で規定されたEDIFACTフォーマットに符号化されたファイルを受信する能力を指示する。

#### 6.2.4.3.3 私用能力

本パラメータは、私用値のための能力を指示する。DTAM-PMは、本パラメータの内容を無視する。本パラメータは、透過モードでのみ存在する。

#### 6.2.4.4 プロトコルバージョン

本パラメータに割り当てられた値はDTAM-PMによって決定される。本パラメータ値は1にセットされた各々のビットがDTAM-PMのサポートするDTAMプロトコルバージョンを指示する可変長ビット列である。(ビット0はバージョン1を表現し、ビット1はバージョン2を表現する等)。アソシエーションで使用されるバージョンは、双方のDTAM-PMが提供している最上位の番号である。双方のDTAM-PM間で共通なプロトコルバージョン番号が存在しない場合は、アソシエーションの設定ができない。本パラメータが欠落している時は、デフォルト値“バージョン1”が用いられる。

#### 6.2.4.5 DTAM QOS

DTAM QOSは継続検討とする。

#### 6.2.4.6 アカウント

アカウントパラメータは、設定すべきDTAMアソシエーションにおいて発生した費用を課金すべきアカウントを識別する。

(注) 本パラメータの使用方法は継続検討とする。

#### 6.2.4.7 結果

D I N Q A P D Uが応答側D T A M - P Mに拒否された場合（すなわちD - I N I T I A T E 指示プリミティブが応答側ユーザに向けて発行されない場合）、本フィールドは応答側D T A M - P Mにより提供される。その他の場合は、本フィールドはD - I N I T I A T E 応答プリミティブからの結果パラメータである。どちらの状態においても、本フィールドはD - I N I T I A T E R E S P ( D I N R ) A P D U上の結果パラメータとして現れる。本フィールドは、以下のシンボリック値の1つを持つ。

- ( 1 ) 受理
- ( 2 ) 応答側ユーザによる拒否（理由は特定せず）
- ( 3 ) 応答側ユーザによる拒否（プロトコルバージョンがサポートされていない）
- ( 4 ) 応答側ユーザによる拒否（D T A M Q O Sがサポートされていない）
- ( 5 ) 応答側ユーザによる拒否（アプリケーションコンテキストネームがサポートされていない）
- ( 6 ) 応答側D T A M - P Mによる拒否

#### 6.2.4.8 ユーザ情報

これはD - I N I T I A T E 要求及び応答プリミティブからのユーザ情報パラメータである。これはもし発行されるならば、D - I N I T I A T E 指示及び確認プリミティブのユーザ情報パラメータとして、それぞれに現れる。

#### 6.2.5 衝突と相互作用

継続検討とする。

### 6.3 D T A Mアソシエーションの正常終了

#### 6.3.1 目的

本手順は伝送時の情報の欠落なしに、A EによりD T A Mアソシエーションを正常終了するため使用される。これはD - T E R M I N A T E サービスを提供する。

#### 6.3.2 使用するA P D U

正常終了手順は、D - T E R M I N A T E - R E Q ( D T E Q ) A P D UとD - T E R M I N A T E - R E S P ( D T E R ) A P D Uを使用する。

##### 6.3.2.1 D T E Q A P D U

D T E Q A P D Uのフィールドを表6 - 6 / J T - T 4 3 3に示す。

表6 - 6 / J T - T 4 3 3 D T E Q A P D Uフィールド  
( I T U - T T . 4 3 3 )

フィールド名	存在	ソース	シンク
ユーザ情報（注）	U	r e q	i n d

（注）本パラメータは透過モードには適用しない。

### 6.3.2.2 DTER APDU

DTER APDUのフィールドを表6-7/JT-T433に示す。

表6-7/JT-T433 DTER APDUフィールド  
(ITU-T T.433)

フィールド名	存在	ソース	シンク
課金(注)	U	rsp	cnf
ユーザ情報(注)	U	rsp	cnf

(注)本パラメータは透過モードには適用しない。

### 6.3.3 正常終了手順

#### 6.3.3.1 正常終了手順のACSEサービスへのマッピング(ノーマルモード)

本手順は以下のイベントにより起動される。

- (1) リクエストからのD-TERMINATE要求プリミティブ
- (2) A-RELEASE指示プリミティブのユーザデータとしてDTEQ APDU
- (3) レスポンダからのD-TERMINATE応答プリミティブ
- (4) A-RELEASE確認プリミティブのユーザデータとしてのDTER APDU

##### 6.3.3.1.1 D-TERMINATE要求プリミティブ

- (1) D-TERMINATE要求プリミティブを受信した時、DTAM-PMは、D-TERMINATE要求プリミティブのパラメータを使用し、A-RELEASE要求プリミティブのユーザデータとしてDTEQ APDUを送信する。

(注) リクエストがD-TERMINATE要求プリミティブを発行するためにはアソシエーション(プレゼンテーションとセッション)の要求条件を満たすことが必要である。

- (2) 要求側のDTAM-PMはアソシエーションサービス提供者からのプリミティブを待つ。この間、リクエストからはD-U-ABORT要求プリミティブ以外のプリミティブは受け付けない。

##### 6.3.3.1.2 DTEQ APDU

応答側DTAM-PMがA-RELEASE指示プリミティブのユーザデータとしてのDTEQ APDUを受信した時、D-TERMINATE指示プリミティブをレスポндаに発行する。

##### 6.3.3.1.3 D-TERMINATE応答プリミティブ

応答側DTAM-PMは、D-TERMINATE応答プリミティブのパラメータからDTER APDUを得る。DTER APDUはA-RELEASE応答プリミティブのユーザデータとして送信される。A-RELEASE応答プリミティブの結果パラメータは“肯定”の値を持つ。

(注) レスポндаはネゴシエーション解放セッション機能単位が選択された場合のみ、DTAMアソシエーションの終了要求を拒否できる。この機能単位の使用は継続検討とする。



#### 6.3.3.1.4 D T E R A P D U

要求側DTAM - PMは、相手からD T E R A P D Uを含むA - R E L E A S E確認プリミティブを受信する。A - R E L E A S E確認プリミティブの結果パラメータは、レスポンドがDTAMアソシエーションが終了されることに同意することを示す。要求DTAM - PMはD T E R A P D UからD - T E R M I N A T E確認プリミティブを形成する。

#### 6.3.3.2 正常終了のRTSEサービスへのマッピング(ノーマルモード)

本手順は以下のイベントにより起動される。

- (1) リクエスタからのD - T E R M I N A T E要求プリミティブ
- (2) R T - C L O S E指示プリミティブ中のユーザデータとしてのD T E Q A P D U
- (3) レスポンドからのD - T E R M I N A T E応答プリミティブ
- (4) R T - C L O S E確認プリミティブ中のユーザデータとしてのD T E R A P D U

##### 6.3.3.2.1 D - T E R M I N A T E要求プリミティブ

(1) D - T E R M I N A T E要求プリミティブを受信した時、DTAM - PMはD - T E R M I N A T E要求プリミティブのパラメータを使用するR T - C L O S E要求プリミティブのユーザデータとしてのD T E Q A P D Uを送信する。

(注) R T S Eの要求条件を満たす為に、リクエスタが、イニシエータとなることが必要とされる。

(2) 要求側DTAM - PMはR T S Eサービス提供者からのプリミティブを待つ。この間、リクエスタからはD - U - A B O R T要求プリミティブ以外のプリミティブは受け付けない。

##### 6.3.3.2.2 D T E Q A P D U

応答側DTAM - PMがR T - C L O S E指示プリミティブのユーザデータとしてのD T E Q A P D Uを受信した時、D - T E R M I N A T E指示プリミティブをレスポンドに発行する。

##### 6.3.3.2.3 D - T E R M I N A T E応答プリミティブ

応答側DTAM - PMは、( D - T E R M I N A T E ) 応答プリミティブのパラメータからD T E R A P D Uを形成する。D T E R A P D UはR T - C L O S E応答プリミティブのユーザデータとして送信される。

##### 6.3.3.2.4 D T E R A P D U

要求側DTAM - PMは、相手からD T E R A P D Uを含むR T - C L O S E確認プリミティブを受信する。R T - C L O S E確認の結果パラメータは、応答側がDTAMアソシエーションの終了に同意したことを示す。要求側DTAM - PMはD T E R A P D UからD - T E R M I N A T E確認プリミティブを形成する。

#### 6.3.3.3 正常終了のセッションサービスへのマッピング(透過モード)

本手順は以下のイベントにより起動される。

- (1) リクエスタからのD - T E R M I N A T E要求プリミティブ
- (2) D T E Q A P D UのないS - R E L E A S E指示プリミティブ
- (3) レスポンドからのD - T E R M I N A T E応答プリミティブ
- (4) D T E R A P D UのないS - R E L E A S E確認プリミティブ

#### 6.3.3.3.1 D TERMINATE要求プリミティブ

(1) D TERMINATE要求プリミティブを受信した時、DTAM PMはSSユーザデータなしのS RELEASE要求プリミティブを発行する。

(注) リクエストがD TERMINATE要求プリミティブを発行するためにはアソシエーション(プレゼンテーションとセッション)の要求条件を満たすことが必要である。

(2) 要求側DTAM PMはセッションサービス提供者からのプリミティブを待つ。この間リクエストからはD U ABORT要求プリミティブ以外のプリミティブは受付ない。

#### 6.3.3.3.2 暗黙のDTEQ APDU

応答側DTAM PMがS RELEASE指示プリミティブを受信した時、パラメータなしのD TERMINATE指示プリミティブをレスポンドに発行する。

#### 6.3.3.3.3 D TERMINATE応答プリミティブ

応答側DTAM PMは、D TERMINATE応答プリミティブのパラメータからS RELEASE応答を形成する。S RELEASE応答の結果パラメータは、“肯定”の値を持つ。

#### 6.3.3.3.4 暗黙のDTER APDU

要求側DTAM PMは、相手からDTER APDUを含まないS RELEASE確認プリミティブを受信する。S RELEASE確認の結果パラメータは、常に“肯定”を示す。要求側DTAM PMはS RELEASE確認プリミティブからD TERMINATE確認プリミティブを形成し、リクエストにパラメータなしで発行する。

### 6.3.4 DTEQ APDUのフィールドの使用

使用されるDTEQ APDUフィールドを以下に示す。

#### 6.3.4.1 ユーザ情報

これは、D TERMINATE要求プリミティブのユーザ情報パラメータである。これは、D TERMINATE指示プリミティブのユーザ情報パラメータとして現れる。

### 6.3.5 DTER APDUのフィールドの使用

使用されるDTER APDUフィールドを以下に示す。

#### 6.3.5.1 課金

課金パラメータは、解放されたDTAMアソシエーション継続中のアカウントに対するコストの情報を運ぶ。本パラメータの値は継続検討とする。課金パラメータは、DTAMアソシエーションの開始時にアカウントパラメータが存在した場合のみ、DTAMアソシエーションの終了時に存在する。課金が0の場合には課金を返すことは必須ではない。

#### 6.3.5.2 ユーザ情報

これは、D TERMINATE応答プリミティブのユーザ情報パラメータである。これは、D TERMINATE確認プリミティブのユーザ情報パラメータとして現れる。

## 6.3.6 衝突と相互作用

### 6.3.6.1 D - TERMINATEサービス

D - TERMINATEサービスの衝突は、そのアソシエーションによりセッショントークンが選択されている場合（例えばRTSEが使われている）は発生しない。利用可能なセッショントークンのすべてを保持するAEのみがD - TERMINATE要求プリミティブを発行することができる。利用可能なトークンがない場合DTAMアソシエーションを終了させるための両方のAEからの要求によって起きる重複はセッションサービス規則により制御される。A - RELEASEサービスまたはS - RELEASEセッションサービスの衝突に関してアソシエーション起動側が有効となる。DTAMアソシエーションは、終了される。

### 6.3.6.2 D - U - ABORTサービス、DAB APDUまたはA（またはRTまたはS） - P - ABORTサービス

DTAM - PMがD - U - ABORT要求プリミティブ、DAB APDU（A（またはRTまたはS） - U - ABORT指示プリミティブのユーザデータとしての）またはA（またはRTまたはS） - P - ABORT指示プリミティブを受信した場合は、DTAMアソシエーションの正常終了手順を中止し、異常終了手順に入る。

## 6.4 DTAMアソシエーションの異常終了

### 6.4.1 目的

#### 6.4.1.1 異常終了の提供

異常終了は両方のDTAMユーザのリクエスト、両方のDTAM - PM、RTSEサービス提供者ACSEサービス提供者またはセッションサービス提供者により、DTAMアソシエーションを強制終了するためいつでも使用することができる。これは、D - U - ABORT、D - P - ABORT、RT - U - ABORT、RT - P - ABORT、A - ABORT、A - P - ABORT、S - U - ABORT及びS - P - ABORTサービスを提供する。

#### 6.4.1.2 異常終了の手順

異常終了は次の3つの手順を提供する。

##### (1) ユーザ強制終了手順

本手順は、以下に示す順に従った受信されたイベント及びDTAM - PMの動作で規定される。

- (a) D - U - ABORT要求プリミティブの受信
- (b) A - ABORT要求プリミティブ、またはRT - U - ABORT要求プリミティブのユーザデータとしてのD - ABORT（DAB）APDUの送信（ノーマルモード）、またはユーザデータを含まないS - U - ABORT要求プリミティブの発行（透過モード）
- (c) DTAMアソシエーションの終了

##### (2) アソシエーション提供者強制終了手順

本手順は、以下に示す順に従った受信されたイベント及びDTAM - PMの動作で規定される。

- (a) A - P - ABORT指示プリミティブ、またはRT - P - ABORT指示プリミティブの受信（ノーマルモード）、またはS - P - ABORT指示プリミティブの受信（透過モード）
- (b) D - P - ABORT指示プリミティブの発行
- (c) DTAMアソシエーションの終了

### (3) DTAM提供者強制終了手順

本手順は、以下に示す順に従った検出されたイベント及びDTAM - PMの動作で規定される。

(a) DTAM - PMにおける重大なエラー - 状態の検出

(b) A - ABORT、またはRT - U - ABORT要求プリミティブのユーザデータとしてのD - ABORT (DAB) APDUの送信とD - P - ABORT指示プリミティブの発行(ノーマルモード)、  
またはS - U - ABORT要求プリミティブとD - P - ABORT指示プリミティブの発行(透過モード)

## 6.4.2 使用するAPDU

異常終了はD - ABORT (DAB) APDUを使用する。

### 6.4.2.1 DAB APDU

DAB APDUのフィールドを表6 - 8 / JT - T 4 3 3に示す。

表6 - 8 / JT - T 4 3 3 DAB APDUフィールド  
(ITU - T T.433)

フィールド名	存在	ソース	シンク
強制終了ソース(注)	M	s p	s p
強制終了理由(注)	U	s p	s p
リフレクトパラメータ(注)	U	s p	s p
ユーザ情報(注)	U	r e q	i n d

(注) 本パラメータは透過モードには適用しない。

## 6.4.3 異常終了手順

### 6.4.3.1 異常終了手順のACSEサービスへのマッピング(ノーマルモード)

#### 6.4.3.1.1 D - U - ABORT要求プリミティブ

D - U - ABORT要求プリミティブを受信した時、DTAM - PMはA - ABORT要求プリミティブのユーザデータとしてD - ABORT (DAB) APDUを送信する。DAB APDUの“強制終了ソース”フィールドは“リクエスト”と指定される。もしユーザ情報パラメータがD - U - ABORT要求プリミティブに含まれていたなら、それはDAB APDUにも含まれる。DTAMアソシエーションは終了される。

#### 6.4.3.1.2 DAB APDU

DTAM - PMがA - ABORT指示プリミティブを受信した時、ユーザ情報パラメータはDAB APDUを含む。DTAM - PMはDAB APDUの強制終了ソースフィールドが“リクエスト”であった場合D - U - ABORT指示プリミティブを発行する。もしユーザ情報フィールドがDAB APDUにあったなら、それはD - U - ABORT指示プリミティブに含まれる。DTAMアソシエーションは終了される。

#### 6.4.3.1.3 A - P - A B O R T 指示プリミティブ

- (1) DTAM - PMがA - P - A B O R T 指示プリミティブを受信した時、DTAM - PMはD - P - A B O R T 指示プリミティブをDTAMユーザに発行する。DTAMアソシエーションは終了される。
- (2) アソシエーション提供者強制終了はA - P - A B O R T 指示プリミティブによって両方のDTAM - PMに指示され、いつでも発生する。このようなイベントのあと、高信頼転送モード2が選択されていた時、アソシエーションを設定したDTAM - PMは、アソシエーション回復手順を開始する。

(注) アソシエーション回復手順は継続検討とする。

- (3) もしアソシエーション提供者強制終了手順が転送手順の間に行われたら、要求側DTAM - PMはアソシエーション回復手順完了後に転送再開手順を開始する。もしアソシエーション回復手順が完了しなかった場合、要求側DTAM - PMは、転送エラー手順と提供者強制終了手順を実行する。

#### 6.4.3.1.4 DTAM - PMによるエラー検出

- (1) DTAM - PMが重大なエラー状態を検出した時、DTAM提供者強制終了手順を実行する。
- (2) DTAM提供者強制終了手順はA - A B O R T 要求プリミティブのユーザデータとしてのDAB APDU送信及びD - P - A B O R T 指示プリミティブの発行により実行される。DAB APDUの“強制終了ソース”フィールドは“DTAMサービス提供者”と指示され、相手のDTAM - PMに重大なエラー状況を通知するためにDAB APDUの付加パラメータが指示される。
- (3) アソシエーション回復手順(6.6.8 節参照)は継続検討とする。

#### 6.4.3.2 異常終了手順のRTSEサービスへのマッピング(ノーマルモード)

##### 6.4.3.2.1 D - U - A B O R T 要求プリミティブ

D - U - A B O R T 要求プリミティブを受信した時、DTAM - PMはユ - ザデ - タとしてのDAB APDUを含まないRT - U - A B O R T 要求プリミティブを発行する。DTAMアソシエーションは終了される。

##### 6.4.3.2.2 暗黙のDAB APDU

DTAM - PMがRT - U - A B O R T 指示プリミティブを受信した時、DTAM - PMはD - U - A B O R T 指示プリミティブを発行する。DTAMアソシエーションは終了される。

##### 6.4.3.2.3 RT - P - A B O R T 指示プリミティブ

- (1) DTAM - PMがRT - P - A B O R T 指示プリミティブを受信した時、DTAM - PMはDTAMユーザにD - P - A B O R T 指示プリミティブを発行する。DTAMアソシエーションは終了される。
- (2) 高信頼転送提供者強制終了はRT - P - A B O R T 指示プリミティブによって両方のDTAM - PMに指示され、いつでも発生する。

##### 6.4.3.2.4 DTAM - PMによるエラー検出

- (1) DTAM - PMが重大なエラー状態を検出した時、DTAM提供者強制終了手順を実行する。
- (2) DTAM提供者強制終了手順は、ユーザデータとしてのDAB APDUなしのRT - U - A B O R T 要求プリミティブの発行により実行される。DTAM - PMは併せてサービスユーザに対してもD - P - A B O R T 指示プリミティブを発行する。DTAMアソシエーションは終了される。

### 6.4.3.3 異常終了手順のセッションサービスへのマッピング (透過モード)

#### 6.4.3.3.1 D - U - A B O R T 要求プリミティブ

D - U - A B O R T 要求プリミティブを受信した時、D T A M - P M はユーザデータとしての D A B A P D U なしの S - U - A B O R T 要求プリミティブを発行する。S - U - A B O R T サービスの使用は“ローカル端末エラー”として解釈される。D T A M アソシエーションは終了される。

#### 6.4.3.3.2 暗黙の D A B A P D U

D T A M - P M が S - U - A B O R T 指示プリミティブを受信した時、D T A M - P M は D - U - A B O R T 指示プリミティブを発行する。D T A M アソシエーションは終了される。

#### 6.4.3.3.3 S - P - A B O R T 指示プリミティブ

D T A M - P M が S - P - A B O R T 指示プリミティブを受信した時、D T A M - P M は D T A M ユーザに D - P - A B O R T 指示プリミティブを発行する。D T A M アソシエーションは終了される。

#### 6.4.3.3.4 プロトコルエラー

D T A M - P M が予期しない A P D U などの無効状態を検出した時、ユーザデータとしての D A B A P D U なしの S - U - A B O R T 要求プリミティブを発行する。D T A M P M は併せてサービスユーザに対しても D P A B O R T 指示プリミティブも発行する。D T A M アソシエーションは終了される。

### 6.4.4 A B O R T A P D U フィールドの使用

使用される A B O R T A P D U フィールドを以下に示す。

#### 6.4.4.1 強制終了ソース

これは要求側 D T A M - P M により供給される。本フィールドは以下のシンボル値の 1 つをとることができる。

- ( 1 ) D T A M サービス提供者
- ( 2 ) リクエスタ

#### 6.4.4.2 強制終了理由

本フィールドは以下の値の 1 つを含む。

- ( 1 ) ローカルシステム問題
- ( 2 ) 無効パラメータ  
無効パラメータがリフレクトパラメータフィールドで指定されている。
- ( 3 ) 未確認アクティビティ
- ( 4 ) 一時的問題

ローカルルールで決められた時間の間はアソシエーション回復を行なうべきではない。

- ( 5 ) プロトコルエラー  
D T A M - P M のプロトコルエラー
- ( 6 ) 恒久的エラー

この値はノーマルモードの D T A M 提供者強制終了手順だけで使用される。

- ( 7 ) 伝送終了

応答側 D T A M - P M はすでに完了した伝送を破棄することはできない。

#### 6.4.4.3 リフレクトパラメータ

リフレクトパラメータフィールドは、強制終了DTAM - PMによりアソシエーション強制終了以前に使用されたサービスから受信したプリミティブにおいて無効パラメータとみなされたパラメータを識別するビット列である。ビット列中のビット順序はITU - T勧告X.217とX.216のサービスパラメータの表のパラメータ順序と同じである。(すなわちビット1は第1パラメータを表す)

#### 6.4.4.4 ユーザ情報

これは、D - U - ABORT要求プリミティブからの情報パラメータである。これは、D - U - ABORT指示プリミティブのユーザ情報パラメータとして現れる。

#### 6.4.5 衝突と相互作用

異常終了手順はDTAMアソシエーションが設定されている間や設定中や正常終了のいつでも使用できる。本手順は現在動作中の他の全ての手順を中断させる。A - P - ABORTまたはRT - P - ABORT指示プリミティブは、D - U - ABORTサービスのユーザ情報を欠落させてもD - U - ABORTの交換を中断することができる。DABAPDUの衝突はA - P - ABORTまたはRT - U - ABORTサービスにより管理される。

### 6.5 能力

#### 6.5.1 目的

D - CAPABILITYサービスを提供することを目的とする。

#### 6.5.2 使用するAPDU

DTAM能力手順はD - CAPABILITY - REQ(DCPQ)とD - CAPABILITY

Y - RESP(DCPR)のAPDUを使用する。

##### 6.5.2.1 DCPQ APDU

ノーマルモードと透過モード各々のDCPQ APDUのフィールドを表6 - 9 / JT - T433と表6 - 10 / JT - T433に示す。

表6 - 9 / JT - T 4 3 3 ノーマルモードのDCPQ APDUフィールド  
(ITU - T T . 4 3 3)

フィールド名	存在	ソース	シンク
アプリケーション能力			
ODAアプリケーション能力			
ドキュメントアプリケーションファイル	U	req	ind
非基本構造特性	U	req	ind
非基本ドキュメント特性	U	req	ind
オペレーショナルアプリケーションファイル	U	req	ind
ファイル転送能力			
BFT能力	U	req	ind
透過データ能力	U	req	ind
ユーザ情報	U	req	ind

表6 - 10 / JT - T 4 3 3 透過モードのDCPQ APDUフィールド  
(ITU - T T . 4 3 3)

フィールド名	存在	ソース	シンク
アプリケーション能力			
ドキュメントアプリケーションファイル	U	req	ind
非基本構造特性	U	req	ind
非基本ドキュメント特性	U	req	ind
オペレーショナルアプリケーションファイル	U	req	ind

#### 6.5.2.2 DCPR APDU

ノーマルモードと透過モード各々のDCPR APDUのフィールドを表6 - 11 / JT - T 4 3 3と表6 - 12 / JT - T 4 3 3に示す。



表6 - 11 / JT - T 4 3 3 ノーマルモードのDCPR APDUフィールド  
(ITU - T T . 4 3 3)

フィールド名	存 在	ソース	シンク
アプリケーション能力			
ODAアプリケーション能力			
ドキュメントアプリケーションファイル	U	r s p	c n f
非基本構造特性	U	r s p	c n f
非基本ドキュメント特性	U	r s p	c n f
オペレーショナルアプリケーションファイル	U	r s p	c n f
ファイル転送能力			
BFT能力	U	r s p	c n f
透過データ能力	U	r s p	c n f
能力結果	M	r s p	c n f
ユーザ情報	U	r s p	c n f

表6 - 12 / JT - T 4 3 3 透過モードのDCPR APDUフィールド  
(ITU - T T . 4 3 3)

フィールド名	存 在	ソース	シンク
アプリケーション能力			
ドキュメントアプリケーションファイル	U	r s p	c n f
非基本構造特性	U	r s p	c n f
非基本ドキュメント特性	U	r s p	c n f
オペレーショナルアプリケーションファイル	U	r s p	c n f

### 6.5.3 DTAM能力手順

#### 6.5.3.1 DTAM能力手順のプレゼンテーションサービスへのマッピング(ノーマルモード)

本手順は次のイベントによって起動する。

- (1) リクエストからのD - C A P A B I L I T Y要求プリミティブ
- (2) P - C A P A B - D A T A指示プリミティブにおけるユーザデータとしてのDCPQAPDU
- (3) レスポンドからのD - C A P A B I L I T Y応答プリミティブ
- (4) P - C A P A B - D A T A確認プリミティブ(DCPR APDUを含むかもしれない。)

##### 6.5.3.1.1 D - C A P A B I L I T Y要求プリミティブ

- (1) 要求側DTAM - PMIはD - C A P A B I L I T Y要求プリミティブのパラメータの値からDCPQAPDUを形成する。これによりP - C A P A B - D A T A要求プリミティブを発行する。P - C A P A B - D A T A要求プリミティブのユーザデータパラメータはDCPQAPDUを含む。
- (2) 要求側DTAM - PMIはプレゼンテーションサービス提供者からのプリミティブを待つが、要求側からはD - U - A B O R T要求プリミティブ以外のどのようなプリミティブも受け付けない。

#### 6.5.3.1.2 DCPQ APDU

- (1) 応答側DTAM - PMはP - CAPAB - DATA指示プリミティブにおけるユーザデータとして、相手からのDCPQAPDUを受信する。
- (2) DCPQ APDUは常に応答側DTAM - PMで受信可能であるために、応答側DTAM - PMは応答側へD - CAPABILITY指示プリミティブを発行する。D - CAPABILITY指示プリミティブパラメータはDCPQ APDUにより生成される。DTAM - PMは応答側からのD - CAPABILITY応答プリミティブを待つが、これ以外のD - U - ABORT要求プリミティブを除くいかなるプリミティブも受け取らない。

#### 6.5.3.1.3 D - CAPABILITY 応答プリミティブ

- (1) DTAM - PMがD - CAPABILITY応答プリミティブを受信したとき、結果パラメータは応答側が要求されたDTAM能力を受け付けたか拒否したかを指定する。DTAM - PMは、D - CAPABILITY応答プリミティブパラメータを使用してDCPR APDUを形成する。DCPR APDUはP - CAPAB - DATA応答プリミティブのユーザデータパラメータとして送られる。
- (2) 応答側がDTAM能力要求を受け付けた場合は、送出するDCPR APDUの能力結果フィールドはまた、適切な受諾値を指定する。これにより、DTAM能力はインボークされる。
- (3) 応答側がDTAM能力要求を拒否した場合は、送出するDCPR APDUの能力結果フィールドは適切な拒否値を含む。  
DTAM能力は設定されない。

#### 6.5.3.1.4 P - CAPAB - DATA確認プリミティブ

- (1) 要求側DTAM - PMはP - CAPAB - DATA確認プリミティブを受信する。  
次の状況が可能である。
  - (a) DTAM能力が受け付けられた、または
  - (b) 要求側が要求したDTAM能力を応答側が拒否した。
- (2) DTAM能力が受け付けられた場合は、DCPR APDUの能力結果フィールドは適切な受諾値を指定する。要求側DTAM - PMはDCPR APDUからのパラメータに基づいてD - CAPABILITY確認プリミティブを要求側へ発行する。  
D - CAPABILITY確認プリミティブの能力結果パラメータは適切な受諾値を指定する。これにより、DTAM能力はインボークされる。要求側DTAMユーザは、ドキュメントの能力を応答側の能力以下とする責任がある。
- (3) DTAM能力が応答側によって拒否された場合は、P - CAPAB - DATA確認プリミティブにおけるDCPR APDUの能力結果フィールドが拒否の理由を示す。要求側DTAM - PMはDCPR APDUからのパラメータに基づいてD - CAPABILITY確認プリミティブを要求側へ発行する。D - CAPABILITY確認プリミティブの能力結果パラメータは適切な拒否値を含む。  
DTAM能力は設定されない。

#### 6.5.3.2 DTAM能力手順のセッションサービスへのマッピング (透過モード)

本手順は次のイベントによって起動される。

- (1) 要求側からのD - CAPABILITY要求プリミティブ
- (2) S - CAPAB - DATA指示プリミティブにおけるユーザデータとしてのDCPQ APDU
- (3) 応答側からのD - CAPABILITY応答プリミティブ
- (4) S - CAPAB - DATA確認プリミティブ(DCPR APDU を含むかもしれない)

#### 6.5.3.2.1 D - C A P A B I L I T Y 要求プリミティブ

- (1) 要求側DTAM - PMは、D - C A P A B I L I T Y 要求プリミティブのパラメータ値からDCPQ A P D Uを形成し、S - C A P A B - D A T A 要求プリミティブを発行する。  
S - C A P A B - D A T A 要求プリミティブのユーザデータパラメータはDCPQ A P D Uを含む。
- (2) 要求側DTAM - PMはセッションサービス提供者からのプリミティブを待つが、要求側からはD - U - A B O R T 要求プリミティブ以外のどのようなプリミティブも受け取らない。

#### 6.5.3.2.2 D C P Q A P D U

- (1) 応答側DTAM - PMはS - C A P A B - D A T A 指示プリミティブにおけるユーザデータとしてその相手からのDCPQ A P D Uを受信する。
- (2) S - C A P A B - D A T A 指示プリミティブとそのDCPQ A P D Uは常に応答側DTAM - P Mで受信可能であるため、DTAM - PMはD - C A P A B I L I T Y 指示プリミティブを応答側へ発行する。D - C A P A B I L I T Y 指示プリミティブパラメータはDCPQ A P D Uにより生成される。DTAM - PMは応答側からのD - C A P A B I L I T Y 応答プリミティブを待つが、応答側からはD - A B O R T 要求プリミティブ以外のいかなるプリミティブも受け取らない。

#### 6.5.3.2.3 D - C A P A B I L I T Y 応答プリミティブ

- (1) DTAM - PMがD - C A P A B I L I T Y 応答プリミティブを受信したとき、その応答プリミティブに指定されたパラメータは応答側で利用可能なアプリケーション能力を含む。明確に能力ネゴシエーションの結果を発行する方法はない。DTAM - PMは、D - C A P A B I L I T Y 応答プリミティブパラメータを使ってDCP R A D P Uを形成し、S - C A P A B - D A T A 応答プリミティブにおけるユーザデータパラメータとしてDCP R A D P Uが送出される。
- (2) この方法で、DTAM能力は応答側で利用可能なアプリケーション能力パラメータを交換することによりネゴシエーションされる。

#### 6.5.3.2.4 S - C A P A B - D A T A 確認プリミティブ

- (1) 要求側DTAM - PMはS - C A P A B - D A T A 確認プリミティブを受信する。DTAM能力は常にそのアプリケーション能力パラメータを交換することにより、ネゴシエーションされる。
- (2) DTAM能力が受け入れられた場合は、要求側DTAM - PMは、DCP R A P D Uからのパラメータに基づいてD - C A P A B I L I T Y 確認プリミティブを要求側へ発行する。  
ドキュメントの伝送に使われるDTAM能力の最終決定は要求側DTAM - PMよりなされる。

### 6.5.4 D C P Q / D C P R A D P U フィールドの使用

DCPQ A P D U及びDCP R A D P Uフィールドは次のように使われる。

#### 6.5.4.1 アプリケーション能力

これはD - C A P A B I L I T Y 要求/応答プリミティブからのアプリケーション能力パラメータ値である。これは各々D - C A P A B I L I T Y 指示/確認プリミティブのアプリケーション能力パラメータ値として現れる。本パラメータはODAアプリケーション能力または、ファイル転送能力のサブパラメータより構成される。

##### 6.5.4.1.1 ODAアプリケーション能力

ODAアプリケーション能力は、ODAドキュメントを扱うために必要な能力を規定するサブパラメータ

タより構成される。

(1) ドキュメントアプリケーションプロファイル

本パラメータの値はオクテットストリング又はASN.1 オブジェクト識別子である。オクテットストリングは、ITU-T勧告T.73勧告(ドキュメントアプリケーションプロファイル T.73)に従ってドキュメントアプリケーションプロファイルを指示する。ASN.1 オブジェクト識別子は、ITU-T勧告X.208 / ISO 8824で規定された規則に従いITU-T勧告T.41(ドキュメントアプリケーションプロファイル)で規定された規則に従って定義されたアプリケーションプロファイルを示さなければならない。

(2) ドキュメントアーキテクチャクラス

本パラメータの値は“フォーマット化”である。

(3) 非基本ドキュメント特性

本パラメータの値はITU-T勧告T.414で定義されている非基本ドキュメント特性の任意の組合せである。

(4) 非基本構造特性

本パラメータの値はITU-T勧告T.414で定義されている非基本構造特性の任意の組合せである。

(5) オペレーショナルアプリケーションプロファイル

オペレーショナルアプリケーションプロファイルの詳細仕様は継続検討とする。

(6) 付加ドキュメント特性

本パラメータ値は、ITU-T勧告T.414で定義される付加ドキュメント特性の任意の組み合わせである。

#### 6.5.4.1.2 ファイル転送能力

本パラメータは、本パラメータの送信側が受信能力として適用できるファイル転送能力を規定する。本パラメータは、透過モードとノーマルモードで存在可能である。

#### 6.5.4.1.3 私用能力

6.2.4.3.3 節を見よ。

#### 6.5.4.2 能力結果

DCPQ APDUが応答側により拒否された場合は、本フィールドは応答側により提供され、D-CAPABILITY応答プリミティブからの能力結果パラメータとなる。この状態では、これは、D-CAPABILITY確認プリミティブにおける能力結果パラメータとして現れる。

本フィールドは次の1つをとることができる。

- (1) 全ての要求した能力がDTAM応答側で利用可能であることの確認(受諾)
- (2) 要求した能力のうちDTAM応答側で利用可能なリスト(受諾)
- (3) 非基本受信能力の完全なリスト(受諾)
- (4) 拡張能力がDTAM応答側で利用可能でないかまたは、要求側より要求された能力のどれも利用可能でないことの表示(拒絶)

#### 6.5.4.3 ユーザ情報

これはD-CAPABILITY要求と応答プリミティブからのユーザ情報パラメータである。これはもし発行されるとすれば、D-CAPABILITY指示及び確認プリミティブのユーザ情報パラメータ

として現れる。

## 6.6 ドキュメントバルク転送

### 6.6.1 目的

#### 6.6.1.1 データトークン

ドキュメントバルク転送は、ODA並びにその他のタイプのデータを含むドキュメントをリモートDTAMユーザに伝達するために使用される。ドキュメントバルク転送を要求するリクエストは、データトークンを持っていなければならない。それはD-TRANSFERサービスによって提供される。

#### 6.6.1.2 モード

ドキュメントバルク転送は、モードに依存する二つの異なった手順から構成される。

##### (1) 透過モード

- (a) 完全なドキュメントの送信のための転送手順。
- (b) 再開の目的のための部分ドキュメントの再送信に対する転送 - 再開手順。  
本手順はDTAMユーザによって制御される。
- (c) エラーの場合にドキュメントの送信を中断する転送 - 中断手順。
- (d) エラーの場合にドキュメントの送信を中断し、かつ、すでに送信されたドキュメントの一部が削除されるべきであることを示す転送 - 廃棄手順。

透過モードにおいて、転送 - 中断および転送 - 廃棄手順は転送の失敗を示すため、DTAMユーザにD-TRANSFER指示/確認を生じる。そこでユーザは新しい転送（完全または部分ドキュメント）を開始する責任をもつ。

付属資料Aの付図A-1/JT-T433および付図A-2/JT-T433は透過モードのプロトコルシーケンスを示す。

##### (2) ノーマルモード

本手順ではドキュメントバルク転送を行うためにRTSEサービスが使用される。付属資料Aの付図A-3/JT-T433および付図A-4/JT-T433はノーマルモードの基本プロトコルシーケンスを示す。

## 6.6.2 APDUの使用

### 6.6.2.1 APDU

本手順ではAPDUは使用されない。ドキュメント情報はD-TRANSFER要求サービスプリミティブに相当する。D-TRANSFER REQ APDUのようなものは存在しない。

### 6.6.2.2 ノーマルモード

ノーマルモードではRTSEが使用される。

### 6.6.2.3 透過モード

透過モードでは基本的にドキュメントバルク転送は、DTAMによって以下に示すように制御される。

#### (1) アクティビティ

D-TRANSFER要求で伝達される各ドキュメント情報は、アクティビティを構成する。各アプリケーションアソシエーションに対して、最大一つのアクティビティまたは再開を待っている一つの中断アクティビティがいつでも存在する。

(2) セグメント

ドキュメント情報は、TTC標準JT-T432の9.6.1.1項に定義されているように、一つまたはそれ以上の交換データ要素から成り、一つまたはそれ以上のセグメントに分割され、再び組立てられる。各セグメントは、一つまたはそれ以上の交換データ要素のグループから成り、セッションデータ転送サービスによって転送される。

(3) チェックポイント

ドキュメント情報は、もしチェックポイントがドキュメント情報の中で使用されないならば、セッションデータ転送サービスの単一のユーザデータとして転送される。チェックポイントが使用される場合は、ドキュメント情報は一連のセッションデータ転送サービスプリミティブとして転送される。ドキュメントセグメント化メカニズムの一例は、図6-1/JT-T433に与えられる。

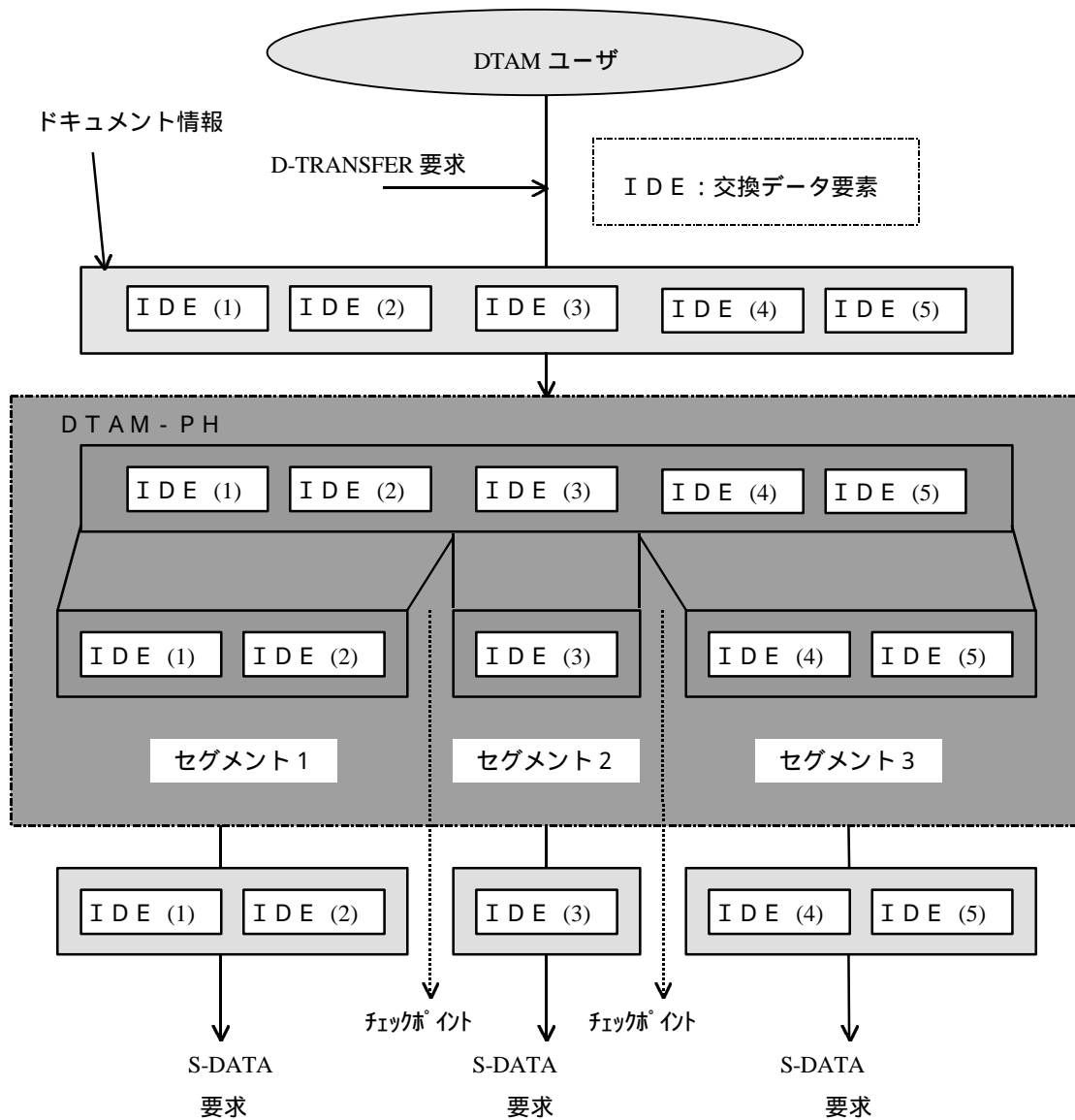


図 6 - 1 / J T - T 4 3 3 透過モードのバルク転送でのドキュメント  
 ( I T U - T T . 4 3 3 ) セグメント化メカニズムの一例

### 6.6.3 転送手順

本手順は、完全なドキュメントを転送するために使用される。

#### 6.6.3.1 転送手順のRTSEサービスへのマッピング(ノーマルモード)

本手順は、以下のイベントによって起動される。

- (1) リクエスタ(ドキュメントの送信者)からのD-TRANSFER要求プリミティブ
- (2) RT-TRANSFER指示プリミティブ
- (3) RT-TRANSFER確認プリミティブ

注： 一つのアソシエーションの中で、複数ドキュメントを送信する場合に、上の手順は繰り返して適用される。

##### 6.6.3.1.1 D-TRANSFER要求プリミティブ

要求側DTAM-PMがデータトークンを所有し、かつリクエスタからD-TRANSFER要求を受信した場合には、RT-TRANSFER要求プリミティブが発行され、D-TRANSFER要求プリミティブ内のドキュメント情報は、RT-TRANSFER要求プリミティブ内のユーザーデータにマッピングされる。

##### 6.6.3.1.2 RT-TRANSFER指示プリミティブ

- (1) RT-TRANSFER指示プリミティブは、応答側DTAM-PMに対して完全なドキュメントが転送されたことを通知する。
- (2) 応答側DTAM-PMが、ドキュメント情報をすべて確認した時、D-TRANSFER指示プリミティブがレスポンドに発行される。

##### 6.6.3.1.3 RT-TRANSFER確認プリミティブ

要求側DTAM-PMがRT-TRANSFER確認プリミティブを受け取ったら、D-TRANSFER確認プリミティブが、RT-TRANSFER確認プリミティブの結果パラメータ値と共にリクエスタに対して発行される(肯定確認：APDUは転送された、否定確認：APDUは転送されなかった)。

#### 6.6.3.2 転送手順のセッションサービスへのマッピング(透過モード)

次に示す手順が(TTC標準JT-T503に従った)G4ファクシミリドキュメントの転送およびファイルの転送に適用される。この交換データ要素は、TTC標準JT-T503ドキュメント構造との関係にもとづいて解釈されるものである。ファイル転送の場合、ファイルのセグメント化はセグメントの長さにより実行され、その転送手順は、交換データ要素のため以下に規定されるように、ファイルのセグメントに対しては適宜に用いられなければならない。

本手順は、以下のイベントによって起動される。

- (1) リクエスタ(ドキュメントの送信者)からのD-TRANSFER要求プリミティブ
- (2) S-ACTIVITY-START指示プリミティブと、それに続く最後ではないS-DATA指示プリミティブのユーザーデータとしての一つまたはそれ以上の交換データ要素と、それに続くS-MINOR-SYNCHRONIZE指示プリミティブ
- (3) S-MINOR-SYNCHRONIZE確認プリミティブ
- (4) S-ACTIVITY-END指示プリミティブ



#### (5) S - ACTIVITY - END確認プリミティブ

注： 一つのアソシエーションの中で、複数ドキュメントを送信する場合に、上の手順は繰り返して適用される。

#### 6.6.3.2.1 D - TRANSFER要求プリミティブ

- (1) リクエストDTAM - PMがデータトークンを所有し、かつリクエストからD - TRANSFER要求を受信するならば、抽象形式をもつD - TRANSFER要求プリミティブのドキュメント情報は、交換データ要素のグループ(セグメント)によってセグメント化される。セグメント化する単位(例えば、ページ、ブロック)はDTAM - PMの特性に依存する。次に、セグメント化された抽象形式が、S - DATAのユーザデータに変換される。
- (2) D - TRANSFER要求に含まれるパラメータ“ドキュメント情報タイプ”は、“始まりからのドキュメント”を示さなければならない。要求側DTAM - PMはS - ACTIVITY - START要求プリミティブを発行し、S - ACTIVITY - START要求プリミティブ発行後にはS - ACTIVITY - STARTサービスは確認型サービスではないので、直ちにS - DATA要求プリミティブの交換データ要素の最初のセグメントの送信を始めるかもしれない。すべてのデータ転送は、一つのアクティビティの中で発生されなければならない。
- (3) 転送された交換データ要素のセグメントが、これらのセグメントの並びの最後でないならば、要求側DTAM - PMはS - MINOR - SYNCHRONIZE要求プリミティブを発行することによって、チェックポイントを挿入する。要求側DTAM - PMは、“期待された明白な確認”タイプの小同期のみを使用する。要求側DTAM - PMは、示されたウィンドウサイズに達しなければ、S - DATA要求プリミティブとS - MINOR - SYNCHRONIZE要求プリミティブを発行してもよい。
- (4) S - MINOR - SYNCHRONIZEポイントは、交換データ要素の各セグメントの終りに位置する。付加的な小同期点は、受信側の蓄積容量と、送信されるべきデータの累計に従って、要求することができる。この付加的な小同期点は、任意の交換データ要素の終りに位置し、要素の途中には位置しない。
- (5) 交換データ要素のセグメントが一つのみ、または交換データ要素のセグメントの並びの最後であるならば、要求側DTAM - PMは、S - ACTIVITY - END要求プリミティブを発行する。すべてのデータ転送は、一つのアクティビティの中で発生されなければならない。

#### 6.6.3.2.2 S - ACTIVITY - START指示プリミティブ、S - DATA PDU、及び S - MINOR - SYNCHRONIZE指示プリミティブ

応答側DTAM - PMは、ドキュメント情報の転送を指示するS - MINOR - SYNCHRONIZE指示プリミティブを受信する。応答側DTAM - PMは、まずS - MINOR - SYNCHRONIZE指示プリミティブを受信する。そして応答側DTAM - PMは、交換データ要素のセグメントを確認したら、S - MINOR - SYNCHRONIZE応答プリミティブを発行する。

#### 6.6.3.2.3 S - MINOR - SYNCHRONIZE確認プリミティブ

- (1) 要求側DTAM - PMは、S - MINOR - SYNCHRONIZE確認プリミティブを受信したとき、応答側DTAM - PMが、その点までの交換データ要素のセグメントを受取ったとする。
- (2) 要求側DTAM - PMは、示されたウィンドウサイズに達していなければ、さらにS - DATA要求プリミティブ、およびS - MINOR - SYNCHRONIZE要求プリミティブを発行してもよい。

ウィンドウはS - MINOR - SYNCHRONIZE確認プリミティブが、要求側DTAM - PMで受信された時、次に進められる。

- (3) ドキュメント情報をすべて、送信し終ったとき、要求側DTAM - PMは、S - ACTIVITY - END要求プリミティブを発行する。

#### 6.6.3.2.4 S - ACTIVITY - END指示プリミティブ

- (1) S - ACTIVITY - END指示プリミティブは、ドキュメント情報をすべて送信したことを、応答側DTAM - PMに対して指示する。

- (2) 応答側DTAM - PMが、ドキュメント情報をすべて確認したとき、レスポндаに対して、D - TRANSFER指示プリミティブを発行し、そしてS - ACTIVITY - END応答プリミティブを発行する。

#### 6.6.3.2.5 S - ACTIVITY - END確認プリミティブ

- (1) アクティビティ終了は、暗黙の大同期点であり、一旦S - ACTIVITY - END確認プリミティブの手段により確認されたら、それはドキュメント情報が、応答側DTAM - PMによって確認されたことを要求側DTAM - PMに示している。要求側DTAM - PMはその後、転送されたドキュメント情報を削除してもよい。
- (2) 要求側DTAM - PMが、S - ACTIVITY - END確認プリミティブを受信したとき、リクエストに対して、“ドキュメント情報転送済”の結果パラメータ値をもつD - TRANSFER確認プリミティブを発行する。

### 6.6.4 転送 - 再開手順

#### 6.6.4.1

本手順は、直前の送信で転送されていないドキュメントの部分の転送を再開する際に使用する。

注：転送 - 再開手順は、透過モードでのバルク転送でのみ使用される。

#### 6.6.4.2 APDUの使用

APDUは本手順では使用されない。

#### 6.6.4.3 転送 - 再開手順のセッションサービスへのマッピング (透過モード)

本手順は、以下のイベントにより起動される。

- (1) 要求側 (ドキュメントの送信者) からのD - TRANSFER要求プリミティブ
- (2) S - ACTIVATE - RESUME指示プリミティブとそれに続く最後ではないS - DATA指示プリミティブのユーザデータとしての一つ、又は、複数の交換データ要素とそれに続くS - MINOR - SYNCHRONIZE指示プリミティブ
- (3) S - MINOR - SYNCHRONIZE確認プリミティブ
- (4) S - ACTIVITY - END指示プリミティブ
- (5) S - ACTIVITY - END確認プリミティブ

#### 6.6.4.3.1 D - TRANSFER要求プリミティブ

- (1) 要求側DTAM - PMが、データトークンを所有し、要求側ユーザからD - TRANSFER要求

を受信した場合には、D - TRANSFER要求プリミティブ中の抽象形式を持つドキュメント情報は、交換データ要素のグループ(セグメント)にセグメント化される。セグメント化される単位(例えばページ、ブロック)は、DTAM - PMの特性に依存する。セグメント化された抽象形式は、S - DATAのユーザデータに変換される。

(2) D - TRANSFER要求に含まれるパラメータ“ドキュメント情報タイプ”は、“同期点からのドキュメントの転送”であることを表示しなくてはならない。また要求側DTAM - PMは、S - ACTIVITY - RESUME要求プリミティブを発行し、更に最後の確認チェックポイント以降の交換データ要素のセグメントのためにS - DATA要求プリミティブを発行し、転送手順を継続する。チェックポイント情報は、D - TRANSFER要求プリミティブ中のパラメータ“同期点”から得られる。

(3) その他の詳細手順は、6.6.3.2.1(3)、6.6.3.2.1(4)、6.6.3.2.1(5)に従う。

#### 6.6.4.3.2 S - ACTIVITY - RESUME指示プリミティブ、S - DATA PDU 及びS - MINOR - SYNCHRONIZE指示プリミティブ

応答側DTAM - PMは、ドキュメント情報の転送開始を指示するS - ACTIVITY - RESUME指示プリミティブを受信する。応答側DTAM - PMは、S - MINOR - SYNCHRONIZE指示プリミティブを受信する。応答側DTAM - PMが、交換データ要素のセグメントの受信を確認したら、S - MINOR - SYNCHRONIZE応答プリミティブを発行する。

#### 6.6.4.3.3 S - MINOR - SYNCHRONIZE確認プリミティブ

詳細手順は、6.6.3.2.3(1)、6.6.3.2.3(2)、6.6.3.2.3(3)に従う。

#### 6.6.4.3.4 S - ACTIVITY - END指示プリミティブ

詳細手順は、6.6.3.2.4(1)、6.6.3.2.4(2)に従う。

#### 6.6.4.3.5 S - ACTIVITY - END確認プリミティブ

詳細手順は、6.6.3.2.5(1)、6.6.3.2.5(2)に従う。

### 6.6.5 転送 - 中断

#### 6.6.5.1 目的

転送 - 中断手順は、データ転送中に少なくとも一つのチェックポイントが確認できている場合に、他のエラーハンドリング手順により処理されるものに比べてそれほど重大でない転送手順中のエラー状態の処理を行うために、要求側DTAM - PMによって使用される。

#### 6.6.5.2 APDUの使用

APDUは本手順では使用されない。

#### 6.6.5.3 転送 - 中断手順のセッションサービスへのマッピング(透過モード)

本手順は、以下のイベントにより起動される。

(1) 要求側DTAM - PMの障害

(2) S - ACTIVITY - INTERRUPT指示プリミティブ

### (3) S - ACTIVITY - INTERRUPT 確認プリミティブ

#### 6.6.5.3.1 要求側DTAM - PMの障害

要求側DTAM - PMが、重大ではない障害を検出して、また、データ転送中に少なくとも一つのチェックポイントが確認できている場合に、要求側DTAM - PMは、以下に示す理由パラメータの値の一つを含むS - ACTIVITY - INTERRUPT要求プリミティブを発行する。

- (1) “不特定エラー”：障害が例外通知手順で指示された場合
- (2) “ローカルSS - Userエラー”：障害がローカル要求側DTAM - PMの障害の場合

#### 6.6.5.3.2 S - ACTIVITY - INTERRUPT指示プリミティブ

応答側DTAM - PMが、S - ACTIVITY - INTERRUPT指示プリミティブを受信した場合、応答側DTAM - PMは、S - ACTIVITY - INTERRUPT応答プリミティブに続いてD - TRANSFER指示を発行する。

#### 6.6.5.3.3 S - ACTIVITY - INTERRUPT確認プリミティブ

要求側DTAM - PMが、S - ACTIVITY - INTERRUPT確認プリミティブを受信した場合、要求側DTAM - PMは、D - TRANSFER確認を要求側DTAMユーザに対して発行する。

### 6.6.6 転送 - 廃棄

#### 6.6.6.1 目的

転送 - 廃棄手順は、転送中断手順により処理を行うものに比べてより重大なエラー状態、または、データ転送中に一つのチェックポイントも確認できていない場合のそれほど重大ではないエラー状態から退避するために要求側DTAM - PMによって使用される。

注：転送 - 廃棄手順は、透過モードでのバルク転送でのみ使用される。

#### 6.6.6.2 APDUの使用

APDUは本手順では使用されない。

#### 6.6.6.3 転送 - 廃棄手順のセッションサービスへのマッピング (透過モード)

本手順は、以下のイベントにより起動される。

- (1) 要求側DTAM - PMの障害
- (2) S - ACTIVITY - DISCARD指示プリミティブ
- (3) S - ACTIVITY - DISCARD確認プリミティブ

#### 6.6.6.3.1 要求側DTAM - PMの障害

要求側DTAM - PMが、より重大な障害を検出するか、又は、データ転送中に一つのチェックポイントも確認できていない場合で、それほど重大ではない障害を検出した場合に、要求側DTAM - PMは、以下に示す理由パラメータの値の一つを含むS - ACTIVITY - DISCARD要求プリミティブを発行する。

- (1) “不特定エラー”：障害がエラー通知手順で示された場合
- (2) “ローカルSS - Userエラー”又は“回復不能手順エラー”：障害がローカル要求側DTAM - PMの障害の場合

### 6.6.6.3.2 S - ACTIVITY - DISCARD指示プリミティブ

- (1) 応答側DTAM - PMが、S - ACTIVITY - DISCARD指示プリミティブを受信した場合に、透過モードにおいてS - ACTIVITY - DISCARD応答プリミティブに続いてD - TRANSFER指示を発行する。
- (2) 応答側DTAM - PMは、それまでに受信していたDTAMユーザ情報(ドキュメント情報のセグメント)に関連する全ての情報、及び内容を廃棄する。
- (3) 応答側DTAM - PMが、既にD - TRANSFER指示プリミティブを発行していた場合には、応答側DTAM - PMは、S - U - ABORT要求を発行することによりセッション強制終了手順を実行する。

### 6.6.6.3.3 S - ACTIVITY - DISCARD確認プリミティブ

要求側DTAM - PMが、S - ACTIVITY - DISCARD確認プリミティブを受信した場合に、透過モードにおいてD - TRANSFER確認を要求側DTAMユーザに対して発行する。

## 6.7 ドキュメント非確認型操作

リクエストは相互の通信エンティティにより共通に処理されるODAとオペレーショナル構造の構成要素を操作するためにドキュメント非確認型操作を使用する。ドキュメント非確認型操作はドキュメント生成操作、ドキュメント削除操作、ドキュメント修正操作、ドキュメントコール操作およびドキュメント再構築操作から成る。

### 6.7.1 ドキュメント生成操作

#### 6.7.1.1 目的

ドキュメント操作のリクエストは、生成操作の確認なしにODAとオペレーショナル構造の構成要素をドキュメントへ加えるためにドキュメント生成操作手順を使用する。

#### 6.7.1.2 使用するAPDU

ドキュメント生成操作手順はD - CREATE (DCR) APDUを使用する。

##### 6.7.1.2.1 DCR APDU

DCR APDUのフィールドを表6 - 13 / JT - T433に示す。

表6 - 13 / JT - T433 DCR APDUフィールド  
(CCITT T.433)

フィールド名	存在	ソース	シンク
生成情報	M	req	ind

#### 6.7.1.3 ドキュメント生成操作手順

##### 6.7.1.3.1 ドキュメント生成操作手順のプレゼンテーションサービスへのマッピング(ノーマルモード)

本手順は、以下のイベントにより起動される。

- (1) リクエストによるD - CREATE要求プリミティブ
- (2) P - DATA指示プリミティブのユーザデータとしてのDCR APDU

#### 6.7.1.3.1.1 D - CREATE 要求プリミティブ

もし要求側DTAM - PMがD - CREATE 要求プリミティブを受け取った場合、D - CREATE 要求プリミティブのパラメータ値からDCR APDUが作成され、P - DATA 要求プリミティブのユーザデータとして転送される。これはアクティビティの外で行われる。

#### 6.7.1.3.1.2 DCR APDU

もし応答側DTAM - PMがP - DATA 指示プリミティブのユーザデータとしてDCR APDUを受け取った場合、応答側DTAM - PMはD - CREATE 指示プリミティブを応答側ユーザへ発行する。D - CREATE 指示プリミティブのパラメータはDCR APDUから導かれる。

#### 6.7.1.4 DCR APDUフィールドの使用

DCR APDUフィールドの使用は以下の規定による。

##### 6.7.1.4.1 生成情報

これはD - CREATE 要求プリミティブからの生成情報パラメータ値であり、D - CREATE 指示プリミティブの生成情報パラメータとして現われる。

#### 6.7.2 ドキュメント削除操作

##### 6.7.2.1 目的

ドキュメント操作のリクエストは、削除操作の確認なしに、既存のドキュメントのODAとオペレーショナル構造の構成要素を削除するためにドキュメント削除操作手順を使用する。

##### 6.7.2.2 APDUの使用

ドキュメント削除操作手順はD - DELETE (DDL) APDUを使用する。

##### 6.7.2.2.1 DDL APDU

DDL APDUのフィールドを表6 - 14 / JT - T433に示す。

表6 - 14 / JT - T433 DDL APDUフィールド  
(CCITT T.433)

フィールド名	存在	ソース	シンク
削除情報	M	req	ind

### 6.7.2.3 ドキュメント削除操作手順

#### 6.7.2.3.1 ドキュメント削除操作手順のプレゼンテーションサービスへのマッピング (ノーマルモード)

本手順は、以下のイベントにより起動される。

- (1) リクエストによる D - D E L E T E 要求プリミティブ
- (2) P - D A T A 指示プリミティブのユーザデータとしての D D L A P D U

##### 6.7.2.3.1.1 D - D E L E T E 要求プリミティブ

もし要求側 D T A M - P M が D - D E L E T E 要求プリミティブを受け取った場合、D - D E L E T E 要求プリミティブのパラメータ値から D D L A P D U が作成され P - D A T A 要求プリミティブのユーザデータとして転送される。これはアクティビティの外で行われる。

##### 6.7.2.3.1.2 D D L A P D U

もし応答側 D T A M - P M が P - D A T A 指示プリミティブのユーザデータとして D D L A P D U を受け取った場合、応答側 D T A M - P M は D - D E L E T E 指示プリミティブを応答側ユーザへ発行する。D - D E L E T E 指示プリミティブのパラメータは D D L A P D U から導かれる。

### 6.7.2.4 D D L A P D U フィールドの使用

D D L A P D U フィールドの使用は以下の規定による。

#### 6.7.2.4.1 削除情報

これは D - D E L E T E 要求プリミティブからの削除情報パラメータ値であり、D - D E L E T E 指示プリミティブの削除情報パラメータとして現われる。

### 6.7.3 ドキュメント修正操作

#### 6.7.3.1 目的

ドキュメント操作のリクエストは、修正操作の確認なしに既存のドキュメントの O D A とオペレーショナル構造の構成要素の属性を修正するためにドキュメント修正操作手順を使用する。

#### 6.7.3.2 A P D U の使用

ドキュメント修正操作手順は D - M O D I F Y ( D M D ) A P D U を使用する。

##### 6.7.3.2.1 D M D A P D U

D M D A P D U のフィールドを表 6 - 1 5 / J T - T 4 3 3 に示す。

表 6 - 1 5 / J T - T 4 3 3 D M D A P D U フィールド  
( C C I T T T.433 )

フィールド名	存在	ソース	シンク
修正情報	M	req	ind

### 6.7.3.3 ドキュメント修正操作手順

#### 6.7.3.3.1 ドキュメント修正操作手順のプレゼンテーションサービスへのマッピング (ノーマルモード)

本手順は、以下のイベントにより起動される。

- (1) リクエストによる D - M O D I F Y 要求プリミティブ
- (2) P - D A T A 指示プリミティブのユーザデータとしての D M D A P D U

##### 6.7.3.3.1.1 D - M O D I F Y 要求プリミティブ

もし要求側 D T A M - P M が D - M O D I F Y 要求プリミティブを受け取った場合、D - M O D I F Y 要求プリミティブのパラメータ値から D M D A P D U が作成され P - D A T A 要求プリミティブのユーザデータとして転送される。これはアクティビティの外で行われる。

##### 6.7.3.3.1.2 D M D A P D U

もし応答側 D T A M - P M が P - D A T A 指示プリミティブのユーザデータとして D M D A P D U を受け取った場合、応答側 D T A M - P M は D - M O D I F Y 指示プリミティブを応答側ユーザへ発行する。D - M O D I F Y 指示プリミティブのパラメータは D M D A P D U から導かれる。

### 6.7.3.4 D M D A P D U フィールドの使用

D M D A P D U フィールドの使用は以下の規定による。

#### 6.7.3.4.1 修正情報

これは D - M O D I F Y 要求プリミティブからの修正情報パラメータ値であり、D - M O D I F Y 指示プリミティブの修正情報パラメータとして現われる。

### 6.7.4 ドキュメントコール操作

#### 6.7.4.1 目的

ドキュメント操作のリクエストは、D T A M プロトコルデータユニットのシーケンス (シーケンス内には D - C R E A T E、D - D E L E T E、D - M O D I F Y のみが見られる。) を含むオペレーショナル構造のオブジェクトを呼び出したり読み出すために、ドキュメントコール操作を使用する。これらのプロトコルデータユニットは既存のドキュメントに対して適用可能である。

#### 6.7.4.2 A P D U の使用

ドキュメントコール操作手順は D - C A L L ( D C L ) A P D U を使用する。

##### 6.7.4.2.1 D C L A P D U

D C L A P D U のフィールドを表 6 - 1 6 / J T - T 4 3 3 に示す。



表 6 - 1 6 / J T - T 4 3 3 D C L A P D U フィールド  
( C C I T T T . 4 3 3 )

フィールド名	存 在	ソース	シンク
コール情報	M	req	ind

#### 6.7.4.3 ドキュメントコール操作手順

##### 6.7.4.3.1 ドキュメントコール操作手順のプレゼンテーションサービスへのマッピング(ノーマルモード)

本手順は、以下のイベントにより起動される。

- (1) リクエストによる D - C A L L 要求プリミティブ
- (2) P - D A T A 指示プリミティブのユーザデータとしての D C L A P D U

##### 6.7.4.3.1.1 D - C A L L 要求プリミティブ

もし要求側 D T A M - P M が D - C A L L 要求プリミティブを受け取った場合、D - C A L L 要求プリミティブのパラメータ値から D C L A P D U が作成され P - D A T A 要求プリミティブのユーザデータとして転送される。これはアクティビティの外で行われる。

##### 6.7.4.3.1.2 D C L A P D U

もし応答側 D T A M - P M が P - D A T A 指示プリミティブのユーザデータとして D C L A P D U を受け取った場合、応答側 D T A M - P M は D - C A L L 指示プリミティブを応答側ユーザへ発行する。D - C A L L 指示プリミティブのパラメータは D C L A P D U から導かれる。

#### 6.7.4.4 D C L A P D U フィールドの使用

D C L A P D U フィールドの使用は以下の規定による。

##### 6.7.4.4.1 コール情報

これは D - C A L L 要求プリミティブからのコール情報パラメータ値である。D - C A L L 指示プリミティブのコール情報パラメータとして現われる。

#### 6.7.5 ドキュメント再構築操作

継続検討とする。

## 6.8 ドキュメント確認型操作

継続検討とする。

## 6.9 タイプトデータ転送

### 6.9.1 目的

タイプトデータ伝送は、データトークンに独立に使用され、必要なとき両側のDTAMユーザーから発行できる。

### 6.9.2 使用するAPDU

タイプトデータ転送手順は、D-TYPED-DATA(DTD)APDUを使用する。

#### 6.9.2.1 DTD APDU

DTD APDUのフィールドは表6-17/JT-T433に示す。

表6-17/JT-T433 DTD APDUフィールド  
(CCITT T.433)

フィールド名	存在	ソース	シンク
タイプトデータ情報	M	req	ind

### 6.9.3 タイプトデータ転送手順

#### 6.9.3.1 タイプトデータ転送手順のプレゼンテーションサービスへのマッピング

本手順は以下のイベントで起動される。

- (1) リクエストからのD-TYPED-DATA要求プリミティブ
- (2) P-TYPED-DATA指示プリミティブのユーザデータとしてのDTD APDU

##### 6.9.3.1.1 D-TYPED-DATA要求プリミティブ

- (1) もし要求側DTAM-PMがD-TYPED-DATA要求プリミティブを受信した場合は、D-TYPED-DATA要求プリミティブのパラメータ値からDTD APDUが形成され、P-TYPED-DATA要求プリミティブのユーザデータとして転送される。

##### 6.9.3.1.2 DTD APDU

- (1) もし応答側DTAM-PMがP-TYPED-DATA指示プリミティブのユーザデータとしてDTD APDUを受信したときは応答側DTAM-PMはD-TYPED-DATA指示プリミティブを応答側ユーザへ発行する。D-TYPED-DATA指示プリミティブパラメータはDTD APDUから生成される。

## 6.9.4 DTD APDUフィールドの使用

DTD APDUフィールドの使用は以下の規定による。

### 6.9.4.1 タイプトデータ情報

これはD-TYPED-DATA要求プリミティブからのタイプトデータストリング情報パラメータ値

である。これはD - T Y P E D - D A T A指示プリミティブのタイプトデータストリング情報パラメータ値として現れる。

## 6.10 遠隔ドキュメントアクセス

継続検討とする。

## 6.11 遠隔ドキュメント管理

継続検討とする。

## 6.12 トークン制御

### 6.12.1 トークン要求制御

#### 6.12.1.1 目的

リクエスタ(ドキュメントの受信者)は、レスポнда(ドキュメントの送信者)からトークンを要求するためにトークン要求制御を使用する。

#### 6.12.1.2 A P D Uの使用

トークン要求制御はR T S Eを利用しないノーマルモードにおいてD - T O K E N - P L E A S E ( D T P ) A P D Uを使用する。

ノーマルモードと透過モードのバルク転送の場合においては、A P D Uは適用されない。

#### 6.12.1.2.1 D T P A P D U

D T P A P D Uのフィールドを表6 - 1 4 / J T - T 4 3 3に示す。

表6 - 1 4 / J T - T 4 3 3 D T P A P D Uフィールド  
( I T U - T T . 4 3 3 )

フィールド名	存在	ソース	シンク
トークン優先順位	U	req	ind

#### 6.12.1.3 トークン要求手順

##### 6.12.1.3.1 トークン要求手順のプレゼンテーションサービスへのマッピング(ノーマルモード)

本手順は、以下のイベントにより起動される。

- (1) リクエスタからのD - T O K E N - P L E A S E要求プリミティブ
- (2) P - T O K E N - P L E A S E指示プリミティブのユーザデータとしてのD T P A P D U

##### 6.12.1.3.1.1 D - T O K E N - P L E A S E要求プリミティブ

もし要求側D T A M - P Mがデータトークンを持たず、リクエスタからのD - T O K E N - P L E A S E要求を受け取った場合、D - T O K E N - P L E A S E要求プリミティブのパラメータ値からD T P A P D Uが作成され、P - T O K E N - P L E A S E要求プリミティブのユーザデータとして転送される。これはアクティビティの中でも外でも行われる。

#### 6.12.1.3.1.2 DTP APDU

もし応答側DTAM - PMがP - TOKEN - PLEASE指示プリミティブのユーザデータとしてDTP APDUを受け取った場合は、応答側DTAM - PMはD - TOKEN - PLEASE指示プリミティブを応答側ユーザへ発行する。D - TOKEN - PLEASE指示プリミティブのパラメータはDTP APDUから導かれる。

#### 6.12.1.3.2 トークン要求手順のRTSEサービスへのマッピング(ノーマルモード)

本手順は、以下のイベントにより起動される。

- (1) リクエスタからのD - TOKEN - PLEASE要求プリミティブ
- (2) RT - TURN - PLEASE指示プリミティブ

##### 6.12.1.3.2.1 D - TOKEN - PLEASE要求プリミティブ

もし要求側DTAM - PMがトークンを持たずリクエスタからのD - TOKEN - PLEASE要求を受け取った場合、DTAM - PMはD - TOKEN - PLEASE要求プリミティブからのプライオリティパラメータをもつRT - TURN - PLEASE要求プリミティブを発行する。これはドキュメント転送アクティビティの中でも外でも行われる。

#### 6.12.1.3.2.2 DTP APDU

もし応答側DTAM - PMがRT - TURN - PLEASE指示プリミティブを受け取った場合、応答側DTAM - PMは応答側ユーザへD - TOKEN - PLEASE指示プリミティブを発行する。D - TOKEN - PLEASE指示プリミティブパラメータは、RT - TURN - PLEASE指示プリミティブから導かれる。

#### 6.12.1.3.3 トークン要求手順のセッションサービスへのマッピング(透過モード)

本手順は、以下のイベントにより起動される。

- (1) リクエストからのD - TOKEN - PLEASE要求プリミティブ
- (2) S - TOKEN - PLEASE指示プリミティブ

##### 6.12.1.3.3.1 D - TOKEN - PLEASE要素プリミティブ

もし要求側DTAM - PMがデータトークンを持たずリクエストからのD - TOKEN - PLEASE要求を受け取った場合、DTAM - PMはS - TOKEN - PLEASE要求プリミティブを発行する。これはアクティビティの中でも外でも行われる。

##### 6.12.1.3.3.2 暗黙のDTP APDU

もし応答側DTAM - PMがユーザデータ内にAPDUを持たないS - TOKEN - PLEASE指示プリミティブを受け取った場合、応答側DTAM - PMは応答側ユーザへD - TOKEN - PLEASE指示プリミティブを発行する。

#### 6.12.1.4 DTP APDUフィールドの使用

DTP APDUフィールドの使用は以下の規定による。

##### 6.12.1.4.1 優先順位

本パラメータはD - TOKEN - PLEASEサービスのリクエスタが遂行したいと望む動作の優先順

位でデータトークンによって管理される。D - T O K E N - P L E A S Eサービスのリクエストは本パラメータを指定しなければならない。

これは、D - T O K E N - P L E A S E要求プリミティブの優先順位パラメータ値であり、D - T O K E N - P L E A S E指示プリミティブの優先順位パラメータを示す。本フィールドの値は、D T A M - P Mに対して透過である。

## 6.12.2 トークン譲渡制御

### 6.12.2.1 目的

- ( 1 ) リクエスト (ドキュメントの送信者) はレスポンド (ドキュメントの受信者) へトークンを譲渡するのにトークン譲渡手順を使用する。
- ( 2 ) リクエストは受信者になり、レスポンドは送信者になる。

### 6.12.2.2 使用するAPDU

本手順ではAPDUは使用しない。

### 6.12.2.3 トークン譲渡手順

#### 6.12.2.3.1 トークン譲渡手順のプレゼンテーションサービスへのマッピング (ノーマルモード)

本手順は、以下のイベントにより起動される。

- (1) D - T O K E N - G I V E要求プリミティブ
- (2) P - T O K E N - G I V E要求プリミティブ

##### 6.12.2.3.1.1 D - T O K E N - G I V E要求プリミティブ

もし要求側DTAM - PMがトークンを持ち、リクエストからD - T O K E N - G I V E要求プリミティブを受け取った場合、P - T O K E N - G I V E要求プリミティブを発行し応答側DTAM - PMになる。

これはアクティビティの外でのみ行われる。

##### 6.12.2.3.1.2 P - T O K E N - G I V E指示プリミティブ

もし応答側DTAM - PMがP - T O K E N - G I V E指示プリミティブを受け取った場合、応答側DTAM - PMはD - T O K E N - G I V E指示プリミティブを応答側ユーザへ発行する。応答側DTAM - PMは要求側DTAM - PMになる。

## 6.12.3 制御譲渡

### 6.12.3.1 目的

- ( 1 ) リクエストが全てのトークンをレスポンドへ譲渡するために制御譲渡手順を使用する。
- ( 2 ) リクエストは受信者になりレスポンドは送信者になる。

### 6.12.3.2 APDUの使用

本手順ではAPDUは用いられない。

### 6.12.3.3 制御譲渡手順

#### 6.12.3.3.1 制御譲渡手順のRTSEサービスへのマッピング (ノーマルモード)

本手順は、以下のイベントにより起動される。

- (1) D - CONTROL - GIVE 要求プリミティブ
- (2) RT - TURN - GIVE 指示プリミティブ

#### 6.12.3.3.1.1 D - CONTROL - GIVE 要求プリミティブ

もし要求側DTAM - PMがトークンを持ち、リクエスタからD - CONTROL - GIVE 要求プリミティブを受け取った場合、RT - TURN - GIVE 要求プリミティブを発行し応答側DTAM - PMになる。これはアクティビティの外でのみ行われる。

#### 6.12.3.3.1.2 RT - TURN - GIVE 指示プリミティブ

もし応答側DTAM - PMがRT - TURN - GIVE 指示プリミティブを受け取った場合、応答側DTAM - PMはD - CONTROL - GIVE 指示プリミティブを応答側ユーザへ発行する。応答側DTAM - PMは要求側DTAM - PMになる。

#### 6.12.3.3.2 制御譲渡手順のセッションサービスへのマッピング (透過モード)

本手順は、以下のイベントにより起動される。

- (1) リクエスタからのD - CONTROL - GIVE 要求プリミティブ
- (2) S - CONTROL - GIVE 指示プリミティブ

#### 6.12.3.3.2.1 D - CONTROL - GIVE 要求プリミティブ

もし要求側DTAM - PMがトークンを持ち、リクエスタからD - CONTROL - GIVE 要求プリミティブを受け取った場合、S - CONTROL - GIVE 要求プリミティブを発行し応答側DTAM - PMになる。これはアクティビティの外でのみ行われる。

#### 6.12.3.3.2.2 S - CONTROL - GIVE 指示プリミティブ

もし応答側DTAM - PMがS - CONTROL - GIVE 指示プリミティブを受け取った場合、応答側DTAM - PMはD - CONTROL - GIVE 指示プリミティブを応答側ユーザへ発行する。応答側DTAM - PMは要求側DTAM - PMになる。

### 6.13 例外報告

#### 6.13.1 ユーザ例外報告

##### 6.13.1.1 目的

ユーザ例外報告手順は、応答側DTAM - PMがドキュメントバルク転送中にエラー状況を要求側DTAM - PMに報告するために用いられる。(透過モード)

##### 6.13.1.2 APDUの使用

本手順ではAPDUは用いられない。

##### 6.13.1.3 ユーザ例外報告手順

#### 6.13.1.3.1 ユーザ例外報告手順のセッションサービスへのマッピング (透過モード)

本手順は以下のイベントにより起動される。

- (1) 応答側DTAM - PMの障害
- (2) S - U - EXCEPTION - REPORT 指示プリミティブ

#### 6.13.1.3.1.1 受信側DTAM - PMの障害

- (1) 応答側DTAM - PMは、障害を検出するとS - U - EXCEPTION - REPORT要求プリミティブを発行する。S - U - EXCEPTION - REPORT要求プリミティブの理由パラメータ値は、検出したエラーの重大性によって下記の値をとる。
- (a) 重大な障害状況では、値“受信能力危機”(アソシエーションを継続することが不可能)が用いられる。
  - (b) 例外的な環境では、応答側DTAM - PMは、いくつかの小同期点を確認済にもかかわらず、一部受信済のドキュメント情報を削除しなければならないかもしれない。  
この場合には、値“回復不能手順エラー”が用いられる。
  - (c) 応答側DTAM - PMが、転送手順を完了したくない場合、値“不特定エラー”が用いられる。
  - (d) 応答側DTAM - PMではすでに完了している転送手順を要求側DTAM - PMが再開した場合、値“順序エラー”が用いられる。
  - (e) 他のすべてのそれほど重大でないエラー状況では、値“ローカルSSユーザエラー”が用いられる。

#### 6.13.1.3.1.2 S - U - EXCEPTION - REPORT指示プリミティブ

要求側DTAM - PMは、S - U - EXCEPTION - REPORT指示プリミティブを受けると、S - U - EXCEPTION - REPORT指示プリミティブの理由パラメータ値に従って、下記の手順の1つを実行する。

(透過モードでは、RTSE以外の高信頼転送モードだけが利用される。)

- (a) 値“受信能力機器”をもつとき、DTAM提供者強制終了手順を実行する。
- (b) 値“回復不能手順エラー”をもつとき、転送廃棄手順に続いてD - TRANSFERサービスを実行する。
- (c) 値“不特定エラー”をもつとき、転送廃棄手順に続いてD - TRANSFERサービスを実行する。
- (d) 値“順序エラー”をもつとき、転送廃棄手順を実行し、要求側DTAM - PMは“ドキュメント情報転送完了”の結果パラメータ値をもつD - TRANSFER確認プリミティブをリクエストに発行し、転送手順を完了する。
- (e) 値“ローカルSSユーザエラー”をもち、転送手順において少なくとも1個の確認済みチェックポイントをもつとき、転送中断手順に続いてD - TRANSFERサービス(指示および確認)を実行する。もし転送手順中にチェックポイントが確認されない場合には、転送廃棄手順に続いて、D - TRANSFERサービス(確認)を実行する。

### 6.13.2 提供者例外報告

#### 6.13.2.1 目的

応答側のセッションサービス提供者(透過モード)がアクティビティ中に、他のサービスにカバーされない異常状態を検出した場合、S - P - EXCEPTION - REPORT指示プリミティブをそれぞれ両方のDTAM - PMにむけて発行する。

#### 6.13.2.2 APDUの使用

本手順では、APDUは用いられない。

### 6.13.2.3 提供者例外報告手順

#### 6.13.2.3.1 提供者例外報告手順のセッションサービスへのマッピング (透過モード)

本手順は以下のイベントにより起動される。

##### (1) S - P - EXCEPTION - REPORT 指示プリミティブ

#### 6.13.2.3.1.1 S - P - EXCEPTION - REPORT 指示プリミティブ

(1) 応答側 DTAM - PMI は、S - P - EXCEPTION - REPORT 指示プリミティブを無視する。

(2) 要求側 DTAM - PM が、S - P - EXCEPTION - REPORT 指示プリミティブを受信すると、次の手順の1つを実行する。

(a) 転送手順において少なくとも1個のチェックポイントが確認済みのときは、転送中断手順に続いて D - TRANSFER サービス (確認)

(b) 転送手順において1個もチェックポイントが確認されていないときは、転送廃棄手順に続いて D - TRANSFER サービス (確認)

(c) DTAM 提供者強制終了手順。

### 6.14 拡張規則

前述した手順に加えて、TTC 標準 JT - T 4 3 3 のこの部分で定義された APDU の処理時、下記が適用される。

(1) DTAM アソシエーションの確立フェーズの PDU (DINQ、DINR および DAB) において、TTC 標準 JT - T 4 3 3 のこの部分で定義されていないフィールドは無視する。

(2) TTC 標準 JT - T 4 3 3 のこの部分で最大長をもつと定義されているフィールドに対して、最大長を超えるいかなる値の部分も無視する。

## 7. 下位サービスへのマッピング

### 7.1 プレゼンテーションと ACSE サービスへのマッピング

本章では、DTAM - PM が次の手段によってどのように APDU s を転送するかを定義する。

(1) ACSE サービス     あるいは、

(2) プレゼンテーションサービス

ここでは、RTSE は使用されない。

表 7 - 1 / JT - T 4 3 3 に ACSE または、プレゼンテーションサービスへのマッピングの概要を示す。



表 7 - 1 / J T - T 4 3 3

R T S E を用いない A C S E と プレゼンテーションサービスのマッピング概要 (ITU-T T.433)

機能単位	サービス プリミティブ	プロトコル エレメント(PDU)	A C S E サービス/プレゼンテーションサービス への D T A M P D U マッピング
アソシエーション 使用制御	D-INITIATE 要求 / 指示 応答 / 確認 D-TERMINATE 要求 / 指示 応答 / 確認 D-U-ABORT 要求 / 指示 D-P-ABORT 指示	D-INITIATE-REQ PDU D-INITIATE-RESP PDU D-TERMINATE-REQ PDU D-TERMINATE-RESP PDU D-ABORT PDU なし	A-ASSOCIATE 要求 / 指示 A-ASSOCIATE 応答 / 確認 A-RELEASE 要求 / 指示 A-RELEASE 応答 / 確認 A-ABORT 要求 / 指示 A-P-ABORT 指示
能力	D-CAPABILITY 要求 / 指示 応答 / 確認	D-CAPABILITY-REQ PDU D-CAPABILITY-RESP PDU	P-CAPAB-DATA 要求 / 指示 P-CAPAB-DATA 応答 / 確認
ドキュメント 非確認型	D-CREATE 要求 / 指示 D-DELETE 要求 / 指示 D-MODIFY 要求 / 指示 D-CALL 要求 / 指示 D-REBUILD(注) 要求 / 指示	D-CREATE PDU D-DELETE PDU D-MODIFY PDU D-CALL PDU D-REBUILD PDU (注)	P-DATA 要求 / 指示 P-DATA 要求 / 指示 P-DATA 要求 / 指示 P-DATA 要求 / 指示 P-DATA 要求 / 指示
トークン制御	D-TOKEN-GIVE 要求 / 指示 D-TOKEN-PLS 要求 / 指示 D-CONTROL-GIVE 要求 / 指示	なし D-TOKEN-PLS PDU なし	P-TOKEN-GIVE 要求 / 指示 P-TOKEN-PLS 要求 / 指示 P-CONTROL-GIVE 要求 / 指示
タイプデータ 転送	D-TYPE-DATA 要求 / 指示	D-TYPED-DATA PDU	P-TYPED-DATA 要求 / 指示

(注)本 D T A M サービス或は P D U は継続検討とする。

## 7.1.1 ACSEサービスへのマッピング

### 7.1.1.1 アソシエーション設定の手順

アソシエーション設定の手順は、その基礎となるACSEのアソシエーション設定と同時に行なわれる。

#### 7.1.1.1.1 直接マッピングされるパラメータ

D - I N I T I A T E サービスプリミティブの次のパラメータは、これに対応するA - A S S O C I A T E サービスプリミティブのパラメータに直接マッピングされる。

- (1) アプリケーションコンテキスト名
- (2) 発呼APタイトル
- (3) 発呼APインボケーション識別子
- (4) 発呼AEクオリファイア
- (5) 発呼AEインボケーション識別子
- (6) 被呼APタイトル
- (7) 被呼APインボケーション識別子
- (8) 被呼AEクオリファイア
- (9) 被呼AEインボケーション識別子
- (10) 応答APタイトル
- (11) 応答AEインボケーションクオリファイア
- (12) 応答AEクオリファイア
- (13) 応答AEインボケーション識別子
- (14) 発呼プレゼンテーションアドレス
- (15) 被呼プレゼンテーションアドレス
- (16) 応答プレゼンテーションアドレス
- (17) プレゼンテーション・コンテキスト定義リスト
- (18) プレゼンテーション・コンテキスト定義結果リスト
- (19) プレゼンテーション要求
- (20) トークンの初期割り付け
- (21) サービス品質
- (22) デフォルト・プレゼンテーション・コンテキスト名(注)
- (23) デフォルト・プレゼンテーション・コンテキスト結果(注)

注) 本パラメータの使用は継続検討とする。

#### 7.1.1.1.2 パラメータの使用

A - A S S O C I A T E サービスプリミティブの次のパラメータは使用しない。

- (1) 初期同期点の通し番号
- (2) 診断

#### 7.1.1.1.3 A - A S S O C I A T E 要求と指示プリミティブのその他のパラメータの使用

##### 7.1.1.1.3.1 モード

本パラメータはA - A S S O C I A T E 要求プリミティブの中でアソシエーションの要求元から与えるもので、“ノーマルモード”値を取る。

#### 7.1.1.1.3.2 ユーザ情報

A - ASSOCIATE 要求及び指示プリミティブの双方に対して、ユーザ情報パラメータは D - INITIATE - REQ APDU を運ぶために使用する。

#### 7.1.1.1.3.3 セッション要求

本パラメータは、表 7 - 2 / JT - T 4 3 3 に示す D - INITIATE サービスプリミティブの“テレマティック要求パラメータ”によって、アソシエーション要求 DTAM - PM が次の機能単位を選択するために本パラメータを設定する。

表 7 - 2 / JT - T 4 3 3  
セッション要求へ/からのマッピング

テレマティック要求	機能単位
カーネル	カーネル機能単位
トークン制御	半二重機能単位
タイプトデータ転送	タイプトデータ機能単位
能力管理	能力データ交換機能単位

注 多重機能単位とネゴシエーションされた解放機能単位の使用については継続検討とする。

#### 7.1.1.1.3.4 セッション接続識別子

アソシエーション要求 DTAM - PM が、セッション接続を一意に識別するために使用されるセッション接続識別子を与える。本識別子は以下のコンポーネントで形成する。

- (1) SS - ユーザ参照
- (2) 共通参照
- (3) 付加的な参照情報 (オプション)

SS - ユーザ参照はアソシエーション要求 DTAM - PM により発呼 SS - ユーザ参照として伝達される。共通参照と付加的な参照情報とは、

P - CONNECT プリミティブの同じ名前のパラメータが伝達する。

各コンポーネントは、それが存在するときは以下の定義のなかの適当なタイプのデータ要素を含む。

CallingSS-UserReferemce ::= PresentationAddress - - 要求元の

CommonReference ::= UTCTime

AdditionalReferenceInformation ::= T.61String

プレゼンテーションアドレスはオクテットストリングで表現する。

#### 7.1.1.1.4 A-ASSOCIATE 応答と確認プリミティブのその他のパラメータの使用

##### 7.1.1.1.4.1 ユーザ情報

本パラメータは、アプリケーションアソシエーションが ACSE サービス提供者によって受け入れられる時のみ関連する。

A - ASSOCIATE 応答と確認プリミティブの双方に対して、アプリケーションアソシエーション

がアソシエーション応答DTAM - PMに受け入れられるかまたは拒絶されたらユーザ情報パラメータはD - INITIATE - RESP APDUを運ぶために使用される。

#### 7.1.1.1.4.2 結果

A - ASSOCIATE 応答プリミティブに対して、結果パラメータはアソシエーション応答DTAM - PMによつて以下のように設定される。

- (1) アソシエーション応答DTAM - PMがアプリケーションアソシエーションを拒否した場合、本パラメータ値は次のいずれかに設定される。
  - (a) レスポンド拒否 (一時的)
  - (b) レスポンド拒否 (固定的)
- (2) アソシエーション応答DTAM - PMがこの要求を受け入れた場合、本パラメータ値は、D - INITIATE 応答プリミティブの結果パラメータから導かれる。

#### 7.1.1.1.4.3 結果ソース

エディタにより提供される。

#### 7.1.1.1.4.4 セッション要求

本パラメータはA - ASSOCIATE 要求及び指示プリミティブのそれと同じ値をもつ。

#### 7.1.1.1.4.4 セッション接続識別子

本パラメータはA - ASSOCIATE 指示プリミティブのそれと同じ値をもつ。

アソシエーション応答DTAM - PMはA - ASSOCIATE 指示プリミティブの発呼SS - ユーザ参照値をそのまま被呼SS - ユーザ参照として戻す。

#### 7.1.1.2 アソシエーション解放手順

アソシエーション解放手順は、その基礎となるACSEアソシエーション解放と同時にこなされる。

#### 7.1.1.2.1 直接マッピングされるパラメータ

D - TERMINATE サービスプリミティブの以下のパラメータは、A - RELEASE サービスプリミティブのこれに対応するパラメータに直接マッピングされる。

- (1) ユーザデータ (ユーザ情報上の)

#### 7.1.1.2.2 未使用パラメータ

A - RELEASE サービスプリミティブの以下のパラメータは使用しない。

- (1) 理由

#### 7.1.1.2.3 A - RELEASE 応答及び確認プリミティブのその他のパラメータ使用

##### 7.1.1.2.3.1 結果

本パラメータの値は肯定的 (Affirmative) である。

#### 7.1.1.3 アソシエーション- 提供者- 強制終了

A - P - ABORT 指示プリミティブパラメータの使用はITU - T 勧告X.217で定義する。

#### 7.1.1.4 アソシエーション - ユーザ - 強制終了手順

アソシエーションユーザ強制終了手順は、基礎となる A C S E アソシエーション強制終了と同時に起こる。

##### 7.1.1.4.1 A - A B O R T 要求及び指示プリミティブパラメータの使用

###### 7.1.1.4.1.1 強制終了ソース

本パラメータ値は“リクエスト”である。

###### 7.1.1.4.1.2 ユーザ情報

本パラメータ値は D A B A P D U である。

#### 7.1.2 プレゼンテーションサービスへのマッピング

##### 7.1.2.1 P - D A T A 要求及び指示プリミティブパラメータの使用

###### 7.1.2.1.1 ユーザデータ

本パラメータによって以下の D T A M A P D U を転送する。

- (a) D - C R E A T E A P D U
- (b) D - D E L E T E A P D U
- (c) D - M O D I F Y A P D U
- (d) D - C A L L A P D U

##### 7.1.2.2 P - T Y P E D - D A T A 要求及び指示プリミティブパラメータの使用

###### 7.1.2.2.1 ユーザデータ

本パラメータによって D - T Y P E D - D A T A A P D U を転送する。

##### 7.1.2.3 トークン要求手順

D T A M ユーザが D - T O K E N - P L E A S E サービスプリミティブを発行すると P - T O K E N - P L E A S E が発行される。

##### 7.1.2.3.1 P - T O K E N - P L E A S E 要求及び指示プリミティブパラメータの使用

本パラメータはデータトークンの要求に対応した値をとる。

###### 7.1.2.3.1.1 トークン

応答する D T A M - P M のみが、データトークンを要求する。

###### 7.1.2.3.1.2 ユーザデータ

本パラメータによって、D - T O K E N - P L S A P D U を転送する。

##### 7.1.2.4 トークン譲渡手順

D T A M ユーザが D - T O K E N - G I V E サービスプリミティブを発行すると P - T O K E N - G I V E が発行される。

#### 7.1.2.4.1 P - TOKEN - GIVE 要求及び指示プリミティブパラメータの使用

##### 7.1.2.4.1.1 トークン

本パラメータはデータトークンの譲渡に対応した値をとる。

#### 7.1.2.5 能力データ交換手順

##### 7.1.2.5.1 P - CAPAB - DATA サービスパラメータの使用

###### 7.1.2.5.1.1 ユーザデータ

本パラメータによって以下のDTAM APDUを転送する。

- (1) D - CAPABILITY - REQ APDU
- (2) D - CAPABILITY - RESP APDU

## 7.2 プレゼンテーションとRTSEサービスへのマッピング

### 7.2.1 RTSEサービスへのマッピング

表7 - 3 / JT - T 4 3 3は、プレゼンテーションとRTSEサービスへのマッピングの概要を示している。

表 7 - 3 / J T - T 4 3 3

プレゼンテーション及びRTSEサービスへのマッピング概要

機能単位	サービスプリミティブ	プロトコル要素 ( P D U )	RTSE、プレゼンテーションサービス にマッピングされる DTAM PDU
アソシエーション 使用制御	D-INITIATE	要求/指示 応答/確認	D-INITIATE-REQ PDU D-INITIATE-RESP PDU
	D-TERMINATE	要求/指示 応答/確認	D-TERMINATE-REQ PDU D-TERMINATE-RESP PDU
	D-U-ABORT	応答/確認	None
	D-P-ABORT	指示	None
能力	D-CAPABILITY	要求/指示 応答/確認	D-CAPABILITY-REQ PDU D-CAPABILITY-RESP PDU
			P-CAPAB-DATA 要求/指示 P-CAPAB-DATA 応答/確認
ドキュメント バルク転送	D-TRANSFER	要求 指示 確認	None None None
			RT-TRANSFER 要求 指示 確認
トークン 制御	D-TOKEN-PLS	要求/指示	None
	D-CONTROL-GIVE	要求/指示	None
			RT-TURN-PLEASE 要求/指示 RT-TURN-GIVE 要求/指示

### 7.2.1.1 アソシエーション設定手順 (RT - OPEN上へのマッピング)

アソシエーション設定手順は、基礎となるRTSEのRT - OPEN手順によって同時に行われる。

#### 7.2.1.1.1 直接マッピングされるパラメータ

D - INITIATEサービスプリミティブの以下のパラメータは、RT - OPENサービスプリミティブの対応するパラメータに直接マッピングされる。

- (1) アプリケーションコンテキスト名
- (2) 発呼APタイトル
- (3) 発呼APインボケーション識別子
- (4) 発呼AEクオリファイア
- (5) 発呼AEインボケーション識別子
- (6) 被呼APタイトル
- (7) 被呼APインボケーション識別子
- (8) 被呼AEクオリファイア
- (9) 被呼AEインボケーション識別子
- (10) 応答APタイトル
- (11) 応答APインボケーション識別子
- (12) 応答AEクオリファイア
- (13) 応答AEインボケーション識別子
- (14) 発呼プレゼンテーションアドレス
- (15) 被呼プレゼンテーションアドレス
- (16) 応答プレゼンテーションアドレス
- (17) プレゼンテーション・コンテキスト定義リスト
- (18) プレゼンテーション・コンテキスト定義結果リスト
- (19) デフォルト・プレゼンテーション・コンテキスト名 (注)
- (20) デフォルト・プレゼンテーション・コンテキスト結果 (注)

注) 本パラメータの使用は継続検討。

#### 7.2.1.1.2 他のRT - OPEN要求と指示プリミティブパラメータの使用

##### 7.2.1.1.2.1 モード

本パラメータは、RT - OPEN要求プリミティブの中のアソシエーションの要求元によって与えられ、“ノーマルモード”の値を持つ。

##### 7.2.1.1.2.2 ユーザ情報

RT - OPEN要求と指示プリミティブの両方に対して、ユーザ情報パラメータはD - INITIATE - REQ APDUを運ぶために使用される。

##### 7.2.1.1.2.3 ダイアログモード

本パラメータは、RT - OPEN要求プリミティブの中のアソシエーションのリクエストによって与えられ、“双方向交互のインタラクション”の値を持つ。



#### 7.2.1.1.2.4 初期ターン

本パラメータは、RT - OPEN要求プリミティブの中のアソシエーションのリクエストによってアソシエーションイニシエータまたはアソシエーションレスポンドに初期トークン（ターン）を設定するために与えられる。本パラメータの値は、D - INITIATE要求プリミティブの中の“初期トークンの割当”パラメータから転送される。

#### 7.2.1.1.2.5 他のパラメータ

注 - “セッション要求”パラメータの中のセッション能力データ機能単位の使用を選択することは必要であるが、本パラメータはRTSEにより設定され、DTAMからは見えない。A - ASSOCIATE要求プリミティブの“セッション要求”パラメータが、セッション能力データ機能単位を選択するための適当な値を含むことを明確にすることはDTAMインプリメンタの責任である。

#### 7.2.1.1.3 他のRT - OPEN応答及び確認プリミティブパラメータの使用

##### 7.2.1.1.3.1 ユーザ情報

本パラメータは、アプリケーションアソシエーションがRTSEサービス提供者によって受け入れられる場合のみ関連を持つ。

RT - OPEN応答及び確認プリミティブの両方に対して、アプリケーションアソシエーションがアソシエーション応答DTAM - PMによって受け入れられるか拒否されるかに係わらず、ユーザ情報パラメータはD - INITIATE - RESPAPDUを運ぶために使用される。

##### 7.2.1.1.3.2 結果

後で提供される。

##### 7.2.1.1.3.3 結果ソース

後で提供される。

#### 7.2.1.2 アソシエーション解放手順（RT - CLOSEへのマッピング）

アソシエーション解放手順は、基礎となるRT - CLOSE手順により同時に行なわれる。発呼DTAM - PMだけがRT - CLOSE要求を発行できる。

##### 7.2.1.2.1 直接マッピングされるパラメータ

D - TERMINATEサービスプリミティブの以下のパラメータが、RT - CLOSEサービスプリミティブの対応するパラメータに直接マッピングされる。

1) ユーザデータ（ユーザ情報上の）

##### 7.2.1.2.2 他のRT - CLOSE応答及び確認プリミティブパラメータの使用

他のパラメータは使用されない。

#### 7.2.1.3 アソシエーション - 提供者 - 強制終了手順

RT - P - ABORT指示プリミティブパラメータの使用は、ITU - T勧告X . 218に定義されている。

#### 7.2.1.4 アソシエーション - ユーザ - 強制終了手順

アソシエーションユーザ強制終了手順は、基礎となるRTSEユーザ強制終了手順によって同時に行われる。全てのD - U - A B O R TサービスパラメータはRT - U - A B O R Tサービスに直接マッピングされる。

#### 7.2.1.5 転送手順 (RT - T R A N S F E R上へのマッピング)

転送手順は、基礎となるRT - T R A N S F E R手順によって同時に行われる。DTAM - P Mは、ターン(トークン)を所有し、かつ、未処理のRT - C O N F I R Mプリミティブがない場合にだけ、RT - T R A N S F E R要求プリミティブを発行できる。

##### 7.2.1.5.1 RT - T R A N S F E Rサービスプリミティブパラメータの使用

以下のD - T R A N S F E Rサービスプリミティブが、RT - T R A N S F E Rサービスプリミティブの対応するパラメータにマッピングされる。

###### 7.2.1.5.1.1 ドキュメント情報

ドキュメント情報の値は、RT - T R A N S F E R要求プリミティブのA P D Uパラメータにマッピングされるべきである。

###### 7.2.1.5.1.2 転送時間

転送時間の値は、RT - T R A N S F E R要求プリミティブの転送時間パラメータに直接マッピングされるべきである。

###### 7.2.1.5.1.3 結 果

結果の値は、RT - T R A N S F E R要求プリミティブの結果パラメータに直接マッピングされるべきである。

#### 7.2.1.6 トークン要求手順

DTAMユーザがD - T O K E N - P L E A S Eサービスプリミティブを発行すると、結果としてRT - T U R N - P L E A S Eとなる。

##### 7.2.1.6.1 RT - T U R N - P L E A S E要求及び指示プリミティブパラメータの使用

本パラメータは、要求するデータトークンに対応した値をとる。

###### 7.2.1.6.1.1 優先度

優先度の値は、RT - T U R N - P L E A S Eサービスプリミティブの優先度パラメータにマッピングされるべきである。

#### 7.2.1.7 制御譲渡手順

DTAMユーザがD - C O N T R O L - G I V Eサービスプリミティブを発行したとき、これは結果としてRT - T U R N - G I V Eとなる。これにより、リクエストからレスポングに全てのトークンを移動する。

#### 7.2.1.7.1 RT - TURN - GIVE 要求及び指示プリミティブパラメータの使用

RT - TURN - GIVE サービスプリミティブにはパラメータはない。全てのトークンは自動的に他のDTAM - PMに移される。

### 7.2.2 プレゼンテーションサービスへのマッピング

#### 7.2.2.1 能力データ交換手順

##### 7.2.2.1.1 P - CAPAB - DATA サービスパラメータの使用

###### 7.2.2.1.1.1 ユーザデータ

本パラメータにより以下のDTAM APDUが運ばれる。

- a) D - CAPABILITY - REQ APDU
- b) D - CAPABILITY - RESP APDU

### 7.3 透過モードにおけるセッションサービス (ITU - T 勧告 X.215) へのマッピング

本節では、セッションサービスを用いてDTAM - PMがAPDUを転送する方法を定義する。表 7 - 4 / JT - T 4 3 3 はセッションへのマッピングの概要を示す。

表 7 - 4 / J T - T 4 3 3

D T A M サービスプリミティブ / プロトコルのセッションサービスへのマッピング

機能単位	サービスプリミティブ	プロトコル要素 ( P D U )	D T A M P D U のセッションサービスへのマッピング
アソシエーション 使用制御	D-INITIATE 要求/ 指示 応答/ 確認 D-TERMINATE 要求/ 指示 応答/ 確認 D-U-ABORT 応答/ 確認 D-P-ABORT 指示	D-INITIATE-REQ PDU D-INITIATE-RESP PDU None None None None	S-CONNECT 要求/ 指示 S-CONNECT 応答/ 確認 S-RELEASE 要求/ 指示 S-RELEASE 応答/ 確認 S-U-ABORT 要求/ 指示 S-P-ABORT 指示
能力	D-CAPABILITY 要求/ 指示 応答/ 確認	D-CAPABILITY-REQ PDU D-CAPABILITY-RESP PDU	S-CAPAB-DATA 要求/ 指示 S-CAPAB-DATA 応答/ 確認
ドキュメント バルク転送	D-TRANSFER 要求  指示  確認	None  None  None -user-exception report -provider-exception- report	S-ACT-START/RESUME 要求/ 指示 S-DATA 要求/ 指示 S-MINOR-SYNC 要求/ 指示 S-MINOR-SYNC 確認/ 応答 S-ACT-END/DCD/INT 要求/ 指示 S-ACT-END/DCD/INT 確認/ 応答 S-U-EXCEPTION-REPORT 要求/ 表示 S-P-EXCEPTION-REPORT 指示
トークン制御	D-CONTROL-GIVE 要求/ 指示 D-TOKEN-PLS 要求/ 指示	None None	S-CONTROL-GIVE 要求/ 指示 S-TOKEN-PLS 要求/ 指示

### 7.3.1 DTAMアソシエーション設定手順

アソシエーション設定手順は基礎となるセッション接続の設定と同時に行なわれる。

#### 7.3.1.1 直接マッピングされるパラメータ

D - INITIATEサービスプリミティブのパラメータでS - CONNECTサービスプリミティブの対応するパラメータに直接マッピングされるものは無い。

#### 7.3.1.2 S - CONNECT要求および指示プリミティブの他のパラメータの使用

##### 7.3.1.2.1 ユーザ情報

S - CONNECT要求および指示プリミティブの両方に対して、ユーザ情報パラメータはD - INITIATE - REQ APDUを運ぶために使用される。

##### 7.3.1.2.2 セッション要求

本パラメータは表7 - 5 / JT - T433 に示すようにD - INITIATEサービスプリミティブの中の“テレマティック要求パラメータ”を用いて、機能単位を選択するために要求側DTAM - PMによりセットされる。

表7 - 5 / JT - T . 4 3 3 セッション要求へ/からのマッピング

テレマティック要求	機能単位
カーネル	カーネル機能単位
トークン制御	半二重機能単位
能力	能力データ交換機能単位
バルク転送	小同期機能単位 アクティビティ管理機能単位 例外機能単位

#### 7.3.1.2.3 セッション参照

起動側DTAM - PMセッション接続をユニークに識別するために用いられるセッション接続識別子を提供する。本識別子は下記の要素で構成される。

- (1) 発呼端末の端末識別子
- (2) 日付と時間
- (3) 付加セッション参照番号(オプション)

発呼端末の端末識別子は起動側DTAM - PMにより、発呼SSユーザ参照として伝送される。日付・時間および付加的なセッション参照番号はS - CONNECTプリミティブのパラメータの中で伝送される。

各要素は、存在するときは、ITU - T勧告F . 200を基礎とする適切なタイプのデータ要素を含む。

#### 7.3.1.2.4 サービス識別子

起動側DTAM - PMは、テレマティクスサービスを指定する値“1”を持つサービス識別子を出さなければならない。

#### 7.3.1.2.5 非基本セッション能力

起動側DTAM - PMは、非基本セッション能力を提供してもよい。

非基本セッション能力はこのプリミティブ送出端末の受信能力として利用できる非基本セッション能力を指定するために用いられる。本パラメータは下記の要素でなっている。

- (1) 種々のセッション能力
- (2) ウィンドウサイズ

要求されるチェックポイントウィンドウパラメータは、転送の各方向に対して確認されないで残っているチェックポイントの最大の数を示す。チェックポイントは、ドキュメントの送り手だけが挿入する。本パラメータの値は、後に続くターミネーションの理由となるかもしれない。サービスの継続は、この制限内に受信側として動作するエンティティが確認を返すことによってのみ保証される。ウィンドウサイズは、そのエンティティが受信エンティティであるときに最大値となるよう、各エンティティによって独立に指定される。ネゴシエーションはない。データ転送の各方向に対する値は、同じである必要はない。本パラメータ値は正数である。

#### 7.3.1.2.6 無通信監視タイマー

起動側DTAM - PMは、無通信監視タイマーの値をネゴシエーションすることに利用してもよい。デフォルト値は60秒である。

### 7.3.1.3 他のS - CONNECT応答および確認プリミティブパラメータの使用

#### 7.3.1.3.1 ユーザ情報

本パラメータは、もしアプリケーションアソシエーションがセッションサービス提供者によって受け入れられた時のみ関連を持つ。S - CONNECTの応答および確認プリミティブの両方について、もしアプリケーションアソシエーションがDTAM - PMの応答により受け入れられるか、又は拒否されたらユーザ情報パラメータはD - INITIATE - RESP APDUを運ぶために使用される。

#### 7.3.1.3.2 結果

S - CONNECT応答プリミティブに対して、結果パラメータは下記に示すようにアソシエーション

応答DTAM - PMにより設定される。

- (1) アソシエーション応答DTAM - PMがS - CONNECT指示プリミティブの中にエラーを検出した(例えば、セッションユーザデータが無い)とき、アソシエーション応答DTAM - PMはアプリケーションアソシエーションを拒否する。本パラメータの値は“拒否”にセットされる。
- (2) もし、アソシエーション応答DTAM - PMが要求を受け入れると、本パラメータの値は表7 - 6 / JT - T 4 3 3に示すD - INITIATE 応答プリミティブの結果パラメータから導かれる。

S - CONNECT確認プリミティブに対して、結果パラメータは下記に示すアソシエーション応答DTAM - PMにより設定される。

- (1) アソシエーション要求(起動)DTAM - PMが結果パラメータ“拒否”と共にS - CONNECT確認プリミティブを受信したとき、アソシエーション要求側DTAM - PMは結果パラメータ“応答側DTAM - PMによる拒否”と共にD - INITIATE確認プリミティブをアソシエーション要求側DTAMユーザに発行する。
- (2) アソシエーション要求側DTAM - PMが結果パラメータ“受け入れ”と共にS - CONNECT確認プリミティブを受信したとき、アソシエーション要求側DTAM - PMは結果パラメータ“受け入れ”と共にD - INITIATE確認プリミティブをアソシエーション要求側DTAMユーザに発行する。

表7 - 6 / JT - T 4 3 3 結果パラメータマッピング  
(ITU - T T.433)

D-INITIATE 応答	S-CONNECT 応答 / 確認	D-INITIATE 確認
受け入れた	受け入れ	受け入れた
何らかの理由により 拒否された	拒 否	DTAM-PM 応答により 拒否された
DTAM-PM 応答により 拒否された	拒 否	DTAM-PM 応答により 拒否された

#### 7.3.1.3.3 セッション要求

本パラメータはS - CONNECT要求および指示プリミティブ中の値と同じ値を持つ。

#### 7.3.1.3.4 セッション参照

本パラメータはS - CONNECT指示プリミティブ中の値と同じ値を持つ。S - CONNECT指示プリミティブの発呼端末の端末識別子は応答側DTAM - PMにより、被呼端末の端末識別子として返送される。

#### 7.3.1.3.5 サービス識別子

本パラメータはS - CONNECT要求および指示プリミティブ中の値と同じ値を持つ。

#### 7.3.1.3.6 非基本セッション能力

応答側DTAM - PMは非基本セッション能力を提供する。非基本セッション能力は、本プリミティブの送出側の受信能力として可能な非基本セッション能力を規定する。

本パラメータはS - C O N N E C T要求および指示プリミティブの中のものと同様な構成である。

#### 7.3.1.3.7 無通信監視タイマー

応答側DTAM - PMは本パラメータを無通信監視タイマーをネゴシエーションすることによってよい。

#### 7.3.2 アソシエーション解放手順

アソシエーション解放手順は基礎とするセッション接続の解放と同時に起こる。セッション接続解放サービスパラメータにマッピングされるD - T E R M I N A T Eサービスパラメータは無い。

#### 7.3.3 アソシエーション - 提供者 - 強制終了手順

S - P - A B O R T指示プリミティブパラメータの使用はITU-T勧告X.215に定義されている。

#### 7.3.4 アソシエーション - ユーザ - 強制終了手順

アソシエーションユーザ終了手順は基となるセッションアボードと同時に起こる。  
全てのD - U - A B O R TサービスパラメータはS - U - A B O R Tに直接マッピングされる。

#### 7.3.5 転送手順

##### 7.3.5.1 S - A C T I V I T Y - S T A R T要求および指示プリミティブパラメータの使用

###### 7.3.5.1.1 ドキュメント参照番号(アクティビティ識別子)

要求側DTAM - PMは現セッションでの次ドキュメント参照番号(アクティビティ識別子)を割り当て、供給しなければならない。DTAM - PMは、D - T R A N S F E Rサービス中の“ドキュメント参照番号”のパラメータと、S - A C T I V I T Y - S T A R T要求および指示プリミティブ中の“ドキュメント参照番号(アクティビティ識別子)”のパラメータの間のマッピングを管理しなければならない。

###### 7.3.5.1.2 ドキュメントタイプ識別子

本パラメータはユーザオプションであり、詳細な使用方法は今後の検討課題である。

###### 7.3.5.1.3 サービスインタワーキング識別子

本パラメータはユーザオプションであり、詳細な使用方法は今後の検討課題である。

###### 7.3.5.1.4 ユーザデータ

本パラメータはDTAM能力を呼び出すことにのみ使用される。ドキュメント情報に含まれるドキュメントプロファイル中の“ドキュメント特性”のパラメータに基づくDTAM - PMによって作成される情報は図7 - 1 / J T - T 4 3 3に示すように運ばれる。



図 7 - 1 / J T - T 4 3 3 S-ACTIVITY-START/RESUME 中のユーザデータ  
( I T U - T T.433 )

S - ACTIVITY - START - user - data	:: = CHOICE
	{ [ 4 ] IMPLICIT DocumentCharacteristics }
DocumentCharacteristics	:: = SET {
documentApplicationProfile	:: = CHOICE {
[ 0 ] IMPLICIT OCTET STRING	
-- ' 01 ' H Non-DocumentApplicationProfile	
-- ' 02 ' H DocumentApplicationProfile T.503	
-- ' 03 ' H DocumentApplicationProfile T.501	
--その他の値は TTC 標準 JT-T563 で割り当てられる	
[ 4 ] IMPLICIT SET OF OBJECT IDENTIFIER }	
documentArchitectureClass	[ 1 ] IMPLICIT OCTET STRING OPTIONAL,
-- ' 00 ' H は FDA を意味する	
nonBasicDocumentCharacteristics	[ 2 ] IMPLICIT NonBasicDocumentCharacteristics
OPTIONAL	
nonBasicStructuralCharacteristics	[ 3 ] IMPLICIT
NonBasicStructuralCharacteristics	
OPTIONAL	
fileTransferCapabilities	[10] IMPLICIT FileTransferCapabilities
OPTIONAL }	
NonBasicDocumentCharacteristics	:: = SET {
commentsCharacterSets	[ 1 ] IMPLICIT OCTET STRING OPTIONAL,
-- escape sequences 列	
pageDimensions	[ 2 ] IMPLICIT SET OF
Dimension-Pair OPTIONAL,	
ra-gr-coding-attributes	[ 3 ] IMPLICIT SET OF
Ra-Gr-Coding-Attribute OPTIONAL,	
-- Ra-Gr-Coding-Attribute は ITU-T 勧告 T.415	
--で定義される }	
ra-gr-presentation-features	[ 4 ] IMPLICIT SET OF
Ra-Gr-Presentation-Features OPTIONAL,	
-- Ra-Gr-Presentation-Features は ITU-T 勧告	
--T.415 で定義される }	
NonBasicStructuralCharacteristics	:: = SET {
numberOfObjectsPerPage	[ 0 ] IMPLICIT INTEGER OPTIONAL }

### 7.3.5.2 S - D A T A 要求および指示プリミティブパラメータの使用

ドキュメント情報は、セグメント境界が小同期点と一致するようなセグメントに分割される。各セグメントは、完全な数の交換データ要素から成っている。ファイル転送の場合には、ユーザによって指示されたセグメントの大きさに細分されるデータから成っている。各セグメントの交換データ要素は、 I T U -

T勧告T.209で定義される基本符号化規則を用いて符号化される。各セグメントの符号化された交換データ要素は、連結され、符号化セグメントを形成する。

#### 7.3.5.2.1 ユーザデータ

交換データ要素のセグメントはユーザデータによって運ばれる。

注： いくつかのDTAM - PMは以下の動作のどれかを行う。

- (1) ドキュメント情報を送るときに要求側DTAM - PMは、ドキュメント情報の先頭に位置するドキュメントプロファイルを消すかもしれない。
- (2) ドキュメント情報を受けるときに応答側DTAM - PMは、ドキュメントプロファイルを再生起させ、それをS - ACTIVITY - START指示のユーザデータに基づくドキュメント情報の先頭に付加するかもしれない。

#### 7.3.5.3 S - MINOR - SYNCHRONIZEサービスパラメータの使用

##### 7.3.5.3.1 タイプ

DTAM - PMは小同期の“explicit confirmation expected”型のみを使用する。

##### 7.3.5.3.2 同期点通し番号(チェックポイント参照番号)

セッションサービス提供者はチェックポイント通し番号を割り当て、それらの番号を送出されるデータと共に要求および応答側DTAM - PMに流す。

#### 7.3.5.4 S - ACTIVITY - ENDサービスパラメータの使用

##### 7.3.5.4.1 同期点通し番号(チェックポイント参照番号)

大同期点の通し番号はセッションサービス提供者によって割り当てられ、両方のDTAM - PMに渡される。このパラメータはD - TRANSFERサービス中のパラメータ“同期点”へマッピングしたり、パラメータからマッピングされたりする。

#### 7.3.6 トークン要求手順

DTAMユーザがD - TOKEN - PLEASEサービス・プリミティブを発行したとき、これはS - TOKEN - PLEASEとなる。

##### 7.3.6.1 S - TOKEN - PLEASE要求及び、指示プリミティブパラメータの使用

###### 7.3.6.1.1 トークン

応答側のDTAM - PM(ドキュメントの受信側)はデータトークンだけを要求する。

#### 7.3.7 制御譲渡手順

DTAMユーザがD - CONTROL - GIVEサービスプリミティブを発行したとき、これはS - CONTROL - GIVEとなる。これにより、リクエスタからレスポндаへ、すべてのトークンを移動する。

##### 7.3.7.1 S - CONTROL - GIVE要求及び、指示プリミティブの使用

S - CONTROL - GIVEサービス・プリミティブにはパラメータはない。

### 7.3.8 能力データ交換手順

#### 7.3.8.1 S - C A P A B - D A T A サービスパラメータの使用

##### 7.3.8.1.1 ユーザデータ

このパラメータで以下のDTAM APDUを転送する。

- 1 D - C A P A B I L I T Y - R E Q APDU ;
- 2 D - C A P A B I L I T Y - R E S P APDU .

##### 7.3.8.1.2 無通信監視タイマ

起動側あるいは応答側のDTAM - PMは無通信監視タイマ値をネゴシエーションするために、このパラメータを使用できる。

##### 7.3.8.1.3 メモリ容量

起動側あるいは応答側のDTAM - PMは通信に使用するメモリの大きさをネゴシエーションするために、メモリ容量を使用できる。

けれども、透過モードでのいくつかのアプリケーションにおいて、このパラメータは受信側へ“メモリ容量を要求する”と示すために送信側DTAM - PMより使用される。受信側DTAM - PMは、ITU - T勧告T . 73に基づいて実装された機器との互換性を保つために、このメモリ容量を提供できるか否かを応答するために、このパラメータを使用する。

### 7.3.9 ユーザ例外報告手順

#### 7.3.9.1 S - U - E X C E P T I O N - R E P O R T サービスパラメータの使用

##### 7.3.9.1.1 理由

このパラメータにより、以下の内から1つの理由を規定できる。

- 1 不特定エラー
- 2 一時的にセッションの開設あるいは、継続不能（受信能力不可）
- 3 シーケンスエラー
- 4 回復不可能手順エラー
- 5 ローカルS S - U s e rエラー

#### 7.3.10 提供者例外報告手順

##### 7.3.10.1 S - P - E X C E P T I O N - R E P O R T サービスパラメータの使用

##### 7.3.10.1.1 理由

このパラメータにより、以下の内から1つの理由を規定できる。

- 1 プロトコルエラー

#### 7.3.11 転送中断手順

##### 7.3.11.1 S - A C T I V I T Y - I N T E R R U P T サービスパラメータの使用

##### 7.3.11.1.1 理由

このパラメータにより、S - U - E X C E P T I O N - R E P O R T サービス・プリミティブに示した理由の内から1つの理由を規定できる。

### 7.3.12 転送廃棄手順

#### 7.3.12.1 S - ACTIVITY - DISCARDサービスパラメータの使用

##### 7.3.12.1.1 理由

このパラメータにより、S - U - EXCEPTION - REPORTサービス・プリミティブに示した理由の内から1つの理由を規定できる。

### 7.3.13 転送ユーザ回復手順

#### 7.3.13.1 S - ACTIVITY - RESUMEサービスパラメータの使用

##### 7.3.13.1.1 ドキュメント参照番号(アクティビティ識別子)

要求側のDTAM - PMは、現在のセッションにおける、次のドキュメント参照番号(アクティビティ識別子)を割り当て、送出しなければならない。

##### 7.3.13.1.2 旧ドキュメント参照番号

要求側のDTAM - PMは、S - ACTIVITY - START要求プリミティブで示された、以前に中断したアクティビティに対する旧ドキュメント参照番号(元のアクティビティ識別子)を示さなければならない。

##### 7.3.13.1.3 チェックポイント通し番号

要求側のDTAM - PMは、中断したアクティビティで、最後に確認されたチェックポイントの通し番号を明示する。セッションのサービス提供者は現在のセッションの通し番号を、この値に設定する。以前に確認されたチェックポイントがないときは、アクティビティは継続できない。要求側のDTAM - PMはS - ACTIVITY - DISCARD要求プリミティブの後に、S - ACTIVITY - RESUME要求プリミティブ(同期点通し番号をゼロにセット)を送出しなければならない。

このパラメータはD - TRANSFERサービスの“同期点”のパラメータに対応する。

##### 7.3.13.1.4 旧セッション参照

要求側のDTAM - PMは、アクティビティを開始したセッションコネクションのセッション参照を明示する。前のセッションコネクションのセッション参照として、このパラメータ内の発呼及び着呼端末識別子、共通参照並びに、オプションである付加参照情報を送信する。

##### 7.3.13.1.5 ドキュメントタイプ識別子

このパラメータはユーザのオプションであり、詳細な使用方法は、今後の検討課題である。

##### 7.3.13.1.6 サービスインターワーキング識別子

このパラメータはユーザのオプションであり、詳細な使用方法は、今後の検討課題である。

##### 7.3.13.1.7 ユーザデータ

このパラメータはS - ACTIVITY - STARTサービスパラメータのユーザデータと同一のフォーマットである。

## 8 . A P D U の抽象構文定義

### 8.1 ノーマルモードにおける A P D U の抽象構文定義

本抽象構文は ITU-T 勧告 X.208 で定義される ASN.1 の表記法により記述される。

```
DTAM-APDU { ccitt recommendation tseries(20) dtam(433) apdus(0) } DEFINITIONS::=
```

```
BEGIN
```

```
--プロローグ--
```

```
--全てをエクスポートする--
```

```
IMPORTS
```

```
--ODA--
```

```
DocumentProfileDescriptor,LayoutClassDescriptor,
```

```
TextUnit,LogicalClassDescriptor,LogicalObjectDescriptor,
```

```
LayoutStyleDescriptor,ODADocumentApplicationProfile,
```

```
NonBasicDocCharacteristics,NonBasicStrucCharacteristics,AdditionalDocCharacteristics
```

```
FROM Interchange-Data-Elements { joint-iso-ccitt 8 1 5 5 }
```

```
--オペレーショナル構造--
```

```
OperationalDescriptor,OperationalInformationIdentifier
```

```
--ITU-T 勧告 T.441 及び T.541 より--
```

```
dTAM APPLICATION-SERVICE-ELEMENT ::= { ccitt recommendation tseries(20)
```

```
dtam(433) aseID(1) }
```

```
--APDU 定義--
```

```
{ 1 } D-INITIATE-REQ ::= [ APPLICATION 10 ] IMPLICIT SEQUENCE
```

```
{ serviceClasses [ 0 ] IMPLICIT INTEGER OPTIONAL,
```

```
--このパラメータの使用は
```

```
--継続検討とする
```

```
telematicRequirements [ 1 ] IMPLICIT BIT STRING
```

```
{ kernel (0),
```

```
capabilityManagement (1),
```

```
documentBulkTransfer (2),
```

```
typedDataTransmission (3),
```

```
documentUnconfirmedManipulation (4),
```

```
documentConfirmedManipulation (5),
```

```
remoteDocumentAccess (6),
```

```
remoteDocumentManagement (7),
```

```
tokenControl (8),
```

```
exceptionReport (9) },
```

applicationCapabilities	[ 2 ] IMPLICIT SET OF ApplicationCapabilities,	
protocolVersion	[ 3 ] IMPLICIT BIT STRING	
	{ version-1 (0) }	OPTIONAL,
dTAMQOS	[ 4 ] IMPLICIT BIT STRING	OPTIONAL,
account	[ 5 ] IMPLICIT Account	OPTIONAL,
userInformation	[ 8 ] OCTET STRING	OPTIONAL

}

-- ITU-T 勧告 T.503 に対して OBJECT IDENTIFIER の登録を必要とする

-- dTAMQOS 及び account パラメータは継続検討とする。

{ 2 } D-INITIATE-RESP ::= [ APPLICATION 11 ] IMPLICIT SEQUENCE

{ telematicRequirements	[ 0 ] IMPLICIT BIT STRING OPTIONAL,	
applicationCapabilities	[ 1 ] IMPLICIT SET OF ApplicationCapabilities OPTIONAL,	
protocolVersion	[ 2 ] IMPLICIT BIT STRING	
	{ version-1 (0) }	OPTIONAL,
dTAMQOS	[ 3 ] IMPLICIT BIT STRING	OPTIONAL,
result	[ 4 ] INTEGER	

{ accepted	(0),
rejected by responder(reason-not-specified)	(1),
rejected by responder(protocolVersion-not-supported)	(2),
rejected by responder(DTAMQOS-not-supported)	(3),
rejected by responder(application-context-not-supported)	(4),
rejected by responding DTAM-PM	(5) },

userInformation	[ 7 ] OCTET STRING	OPTIONAL
}		

{ 3 } D-TERMINATE-REQ ::= [ APPLICATION 14 ] IMPLICIT SEQUENCE

{ userInformation	[ 0 ] OCTET STRING	OPTIONAL
}		

{ 4 } D-TERMINATE-RESP ::= [ APPLICATION 15 ] IMPLICIT SEQUENCE

{ charging	[ 0 ] IMPLICIT Charging	OPTIONAL,
userInformation	[ 1 ] OCTET STRING	OPTIONAL
}		

{ 5 } D-ABORT-REQ ::= [ APPLICATION 13 ] IMPLICIT SEQUENCE

{ aBORTSource	[ 0 ] INTEGER	
---------------	---------------	--

```

{
    requestor (0),
    DTAMserviceProvider (1) },
aBORTReason [ 1 ] INTEGER
{
    local-system-problem (0),
    invalid-parameter (1),
    unrecognized-activity (2),
    temporary-problem (3),
    protocol-error (4),
    permanent-error (5),
    transfer-completed (6) },

Reflected-parameter [ 2 ] IMPLICIT BIT STRING OPTIONAL,
    -- abortReason が無効パラメータである場合にのみ、最大 8bit とする。
userInformation [ 3 ] OCTET STRING OPTIONAL
}

```

(注) DTAM バルク転送では使用しない。DTAM バルク転送 ( ノーマルモード ) では、全ての D-ABORT サービスパラメータは RT-ABORT に直接マッピングする。

[ 6 ] D-CAPABILITY-REQ ::= [ APPLICATION 23 ] IMPLICIT SEQUENCE

```

{
    applicationCapabilities [ 0 ] Application Capabilities OPTIONAL,
    userInformation [ 2 ] OCTET STRING OPTIONAL
}

```

[ 7 ] D-CAPABILITY-RESP ::= [ APPLICATION 24 ] IMPLICIT SEQUENCE

```

{
    applicationCapabilities [ 0 ] IMPLICIT Application Capabilities OPTIONAL,
    capabilityResult [ 2 ] IMPLICIT Capability Result ,
    userInformation [ 3 ] OCTET STRING OPTIONAL
}

```

CapabilityResult ::= INTEGER

```

{
    confirmation-of-all-the-
    requestedCapabilities (0),
    a-list-of-the-requestedCapabilities (1),
    a-complete-list-of-non-
    basicReceivingCapabilities (2),
    none-of-the-capabilities-requested-
    by-the-initiator (3) }

```

```

{ 8 } D-TYPED-DATA ::= [ APPLICATION 16 ] CHOICE

{
    NumericString,
    PrintableString,
    TeletexString,
    VideotexString,
    VisibleString,
    OctetString,
    IA5String,
    GraphicString }

{ 9 } D-CREATE ::= [ APPLICATION 17 ] IMPLICIT SEQUENCE OF
    CreateInformation

CreateInformation ::= SEQUENCE

{
    [ 0 ] IMPLICIT ParentObjectOrClassIdentifier OPTIONAL,
    [ 1 ] Object }

ParentObjectOrClassIdentifier ::= ObjectOrClassIdentifier

--ObjectOrClassIdentifier ::= { ITU-T 勧告 T.415 参照 }

Object ::= CHOICE

{
    [ 0 ] IMPLICIT DocumentProfileDescriptor,
    [ 1 ] IMPLICIT LayoutClassDescriptor,
    [ 2 ] IMPLICIT LayoutObjectDescriptor,
    [ 3 ] IMPLICIT TextUnit,
    [ 5 ] IMPLICIT LogicalClassDescriptor,
    [ 6 ] IMPLICIT LogicalObjectDescriptor,
    [ 7 ] IMPLICIT PresentationStyleDescriptor,
    [ 8 ] IMPLICIT LayoutStyleDescriptor,
    -- 上記の記述子及びテキストユニットは
    -- ITU-T 勧告 T.415 で定義される }
    [ 9 ] IMPLICIT OperationalDescriptor.
    -- 上記の記述子は
    -- ITU-T 勧告 T.441 で定義される。詳細は継続検討す
    -- る。 }

```



```

〔 10 〕 D-DELETE ::= [ APPLICATION 18 ] IMPLICIT DeleteInformation

DeleteInformation ::= SEQUENCE OF CHOICE

{
    [ 0 ] IMPLICIT ObjectOrClassIdentifier,
    [ 1 ] IMPLICIT ContentPortionIdentifier,
    -- 上記の識別子は
    -- ITU-T 勧告 T.415 で定義される }
    [ 2 ] IMPLICIT OperationalInformationIdentifier
    -- 上記の識別子は
    -- ITU-T 勧告 T.441 で定義される。詳細は継続検討す
    -- る。 }

〔 11 〕 D-MODIFY ::= [ APPLICATION 19 ] IMPLICIT SEQUENCE OF
ModifyInformation

ModifyInformation ::= SEQUENCE

{
    [ 0 ] IMPLICIT CurrentObjectOrClassIdentifier OPTIONAL,
    [ 1 ] Object }

CurrentObjectOrClassIdentifier ::= ObjectOrClassIdentifier

--ObjectOrClassIdentifier ::= { ITU-T 勧告 T.415 参照 }

Object ::= CHOICE

{
    [ 0 ] IMPLICIT DocumentProfileDescriptor,
    [ 1 ] IMPLICIT LayoutClassDescriptor,
    [ 2 ] IMPLICIT LayoutObjectDescriptor,
    [ 3 ] IMPLICIT TextUnit,
    [ 5 ] IMPLICIT LogicalClassDescriptor,
    [ 6 ] IMPLICIT LogicalObjectDescriptor,
    [ 7 ] IMPLICIT PresentationStyleDescriptor,
    [ 8 ] IMPLICIT LayoutStyleDescriptor,
    -- 上記の記述子及びテキストユニットは
    -- ITU-T 勧告 T.415 で定義される }
    [ 9 ] IMPLICIT OperationalDescriptor,
    -- 上記の記述子は
    -- ITU-T 勧告 T.441 で定義される。詳細は継続検討す
    -- る。 }

〔 12 〕 D-CALL ::= [ APPLICATION 20 ] IMPLICIT CALLInformation

```

CALLInformation ::= SEQUENCE OF CHOICE

{ [ 0 ] IMPLICIT OperationalInformationIdentifier  
 -- 上記の記述子は  
 -- ITU-T 勧告 T.441 及び T.541 で定義される }

[ 13 ] D-REBUILD ::= [ APPLICATION 21 ] IMPLICIT REBUILDInformation

継続検討とする。

[ 14 ] D-TOKEN-PLEASE ::= [ APPLICATION 22 ] IMPLICIT Priority

(注) DTAM バルク転送では使用しない。DTAM バルク転送 ( ノーマルモード ) では D-TOKEN-PLEASE サービスパラメータは RT-TURN-PLEASE サービスへ直接マッピングする。

Priority ::= INTEGER

ApplicationCapabilities ::= CHOICE {

oDAApplicationCapabilities [ 0 ] IMPLICIT SET {

oDADocumentApplicationProfile [ 0 ] IMPLICIT OBJECT IDENTIFIER,

nonBasicODADocumentCharacteristics [ 1 ]

NonBasicDocCharacteristics

OPTIONAL,

nonBasicODAStructuralCharacteristics [ 2 ]

NonBasicStrucCharacteristics

OPTIONAL,

operationalApplicationProfile

[ 3 ] IMPLICIT SET OF OBJECT IDENTIFIER

OPTIONAL,

additionalDocCharacteristics

[ 4 ] IMPLICIT AdditionalDocCharacteristics OPTIONAL }

fileTransferCapabilities

[ 1 ] IMPLICIT INTEGER {

bftCapabilities (0),

transparentDataCapabilities (1),

dtmCapabilities (2),

ediCapabilities (3)

}

}

END -- ノーマルモードにおける DTAM プロトコル

## 8.2 透過モードにおけるセッションサービス利用のための A P D U の抽象構文定義

この抽象構文は ITU-T 勧告 X.208 で定義される ASN.1 の表記法により記述される。

{ 1 } D-INITIATE-REQ ::= CHOICE

```

{
  [ 4 ] IMPLICIT ApplicationCapabilities }
ApplicationCapabilities ::= SET {
  documentApplicationProfileT73 [ 0 ] IMPLICIT OCTET STRING OPTIONAL,
  --'01'H 非ドキュメントアプリケーションプロファイル
  --'02'H ドキュメントアプリケーションプロファイル
  (T.503)
  --'03'H ドキュメントアプリケーションプロファイル
  (T.501)
  --その他の値は TTC 標準 JT-T563 で割り当てられる
  documentArchitectureClass [ 1 ] IMPLICIT OCTET STRING OPTIONAL
  --'00'H は FDA を意味する }

```

{ 2 } D-INITIATE-RESP ::= CHOICE

```

{
  [ 4 ] IMPLICIT ApplicationCapabilities }
ApplicationCapabilities ::= SET {
  documentApplicationProfileT73 [ 0 ] IMPLICIT OCTET STRING OPTIONAL,
  --'01'H 非ドキュメントアプリケーションプロファイル
  --'02'H ドキュメントアプリケーションプロファイル
  (T.503)
  --'03'H ドキュメントアプリケーションプロファイル
  (T.501)
  --その他の値は TTC 標準 JT-T563 で割り当てられる
  documentArchitectureClass [ 1 ] IMPLICIT OCTET STRING OPTIONAL
  --'00'H は FDA を意味する }

```

{ 3 } D-CAPABILITY-REQ ::= CHOICE

```

{ [ 4 ] IMPLICIT ApplicationCapabilities }
ApplicationCapabilities ::= SET {
  documentApplicationProfileT73 [ 0 ] IMPLICIT OCTET STRING OPTIONAL,
  documentArchitectureClass [ 1 ] IMPLICIT OCTET STRING OPTIONAL,
  nonBasicDocCharacteristics [ 2 ] IMPLICIT NonBasicDocCharacteristics OPTIONAL,
  nonBasicStrucCharacteristics [ 3 ] IMPLICIT NonBasicStrucCharacteristics OPTIONAL,
  additionalDocCharacteristics [ 9 ] IMPLICIT AdditionalDocCharacteristics OPTIONAL,
  fileTransferCapabilities [ 10 ] IMPLICIT SET OF FileTransferCapabilities OPTIONAL ,
  privateCapabilities [ 11 ] IMPLICIT OCTET STRING OPTIONAL }

```

--“NonBasicDocCharacteristics”, “NonBasicStrucCharacteristics” 及び  
 --“AdditionalDocCharacteristics” は ITU-T 勧告 T.415 で定義される。

{ 4 } D-CAPABILITY-RESP ::= CHOICE

```

{ [ 4 ] IMPLICIT ApplicationCapabilities }
ApplicationCapabilities ::= SET {
  documentApplicationProfileT73 [ 0 ] IMPLICIT OCTET STRING OPTIONAL,
  documentArchitectureClass [ 1 ] IMPLICIT OCTET STRING OPTIONAL,
  nonBasicDocCharacteristics [ 2 ] IMPLICIT NonBasicDocCharacteristics OPTIONAL,
  nonBasicStrucCharacteristics [ 3 ] IMPLICIT NonBasicStrucCharacteristics OPTIONAL,
  additionalDocCharacteristics [ 9 ] IMPLICIT AdditionalDocCharacteristics OPTIONAL,
  fileTransferCapabilities [ 10 ] IMPLICIT SET OF FileTransferCapabilities
OPTIONAL ,
  privateCapabilities [ 11 ] IMPLICIT OCTET STRING OPTIONAL }
FileTransferCapabilities ::= INTEGER {
  bftCapabilities (0),
  transparentDataCapability (1),
  dtmCapabilities (2),
  ediCapabilities (3) }

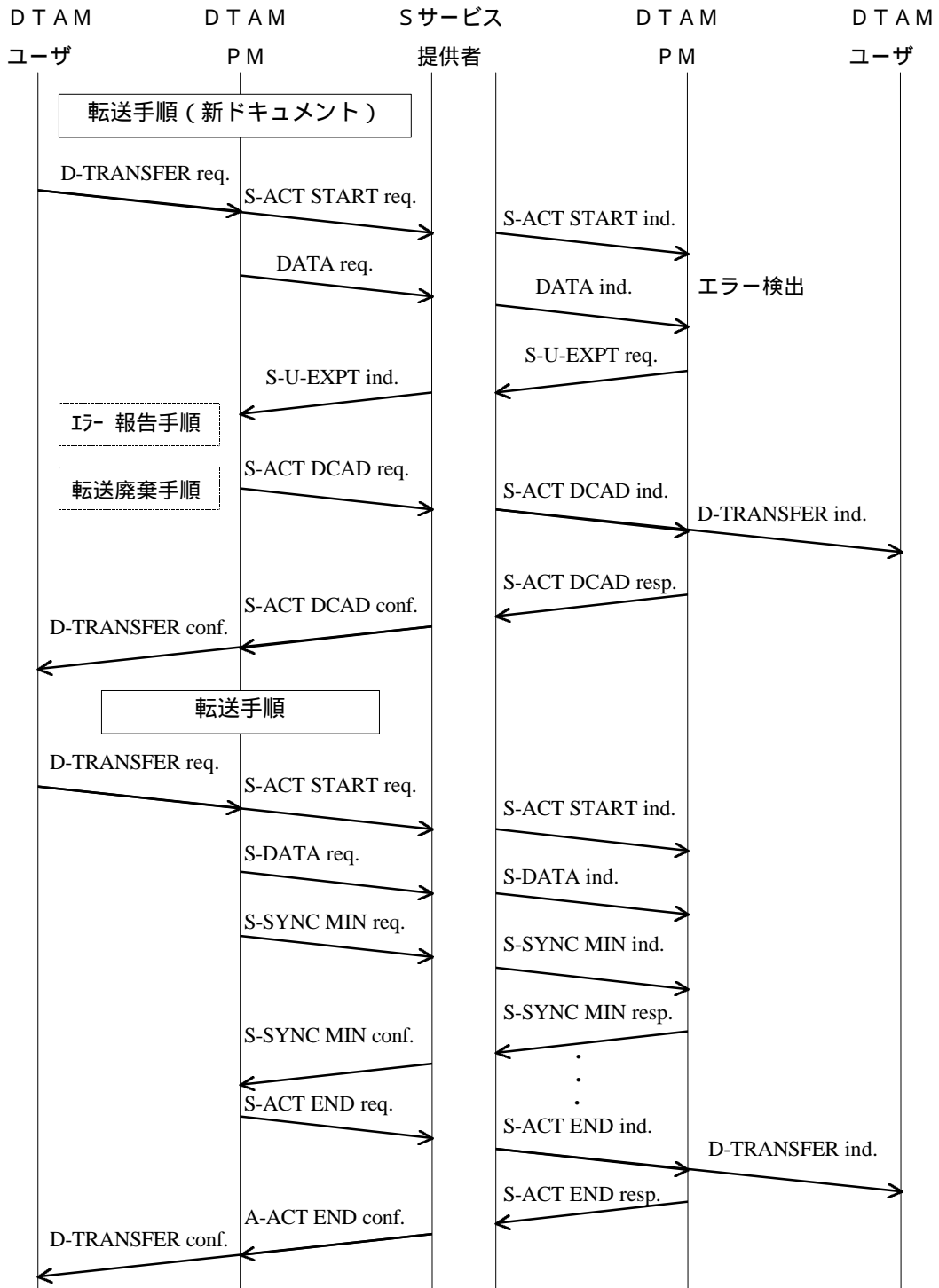
```

9 . コンフォーマンス

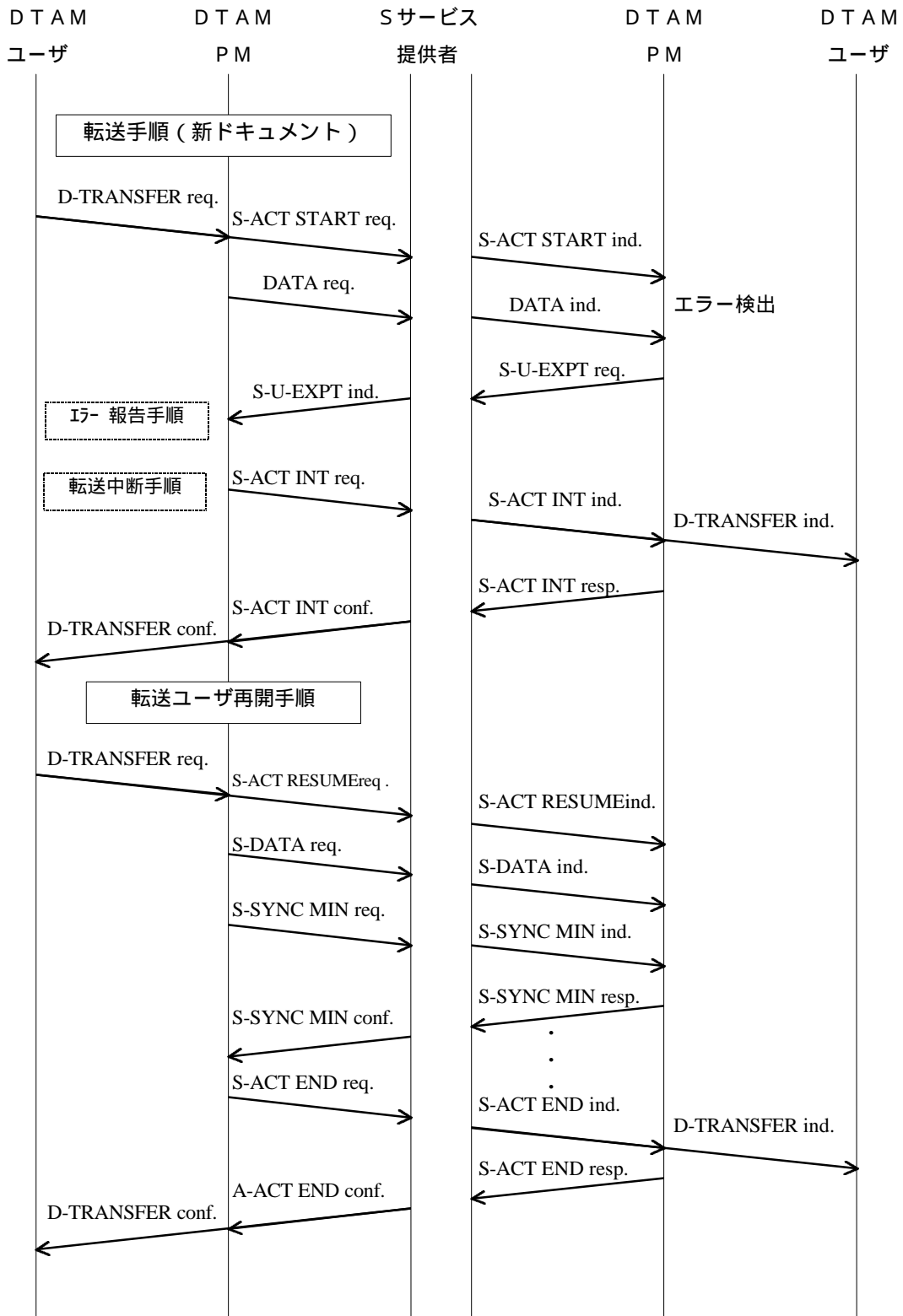
継続検討とする。

付属資料A ドキュメントバルク転送におけるプロトコルシーケンスの例  
 ( J T - T 4 3 3 に対する )

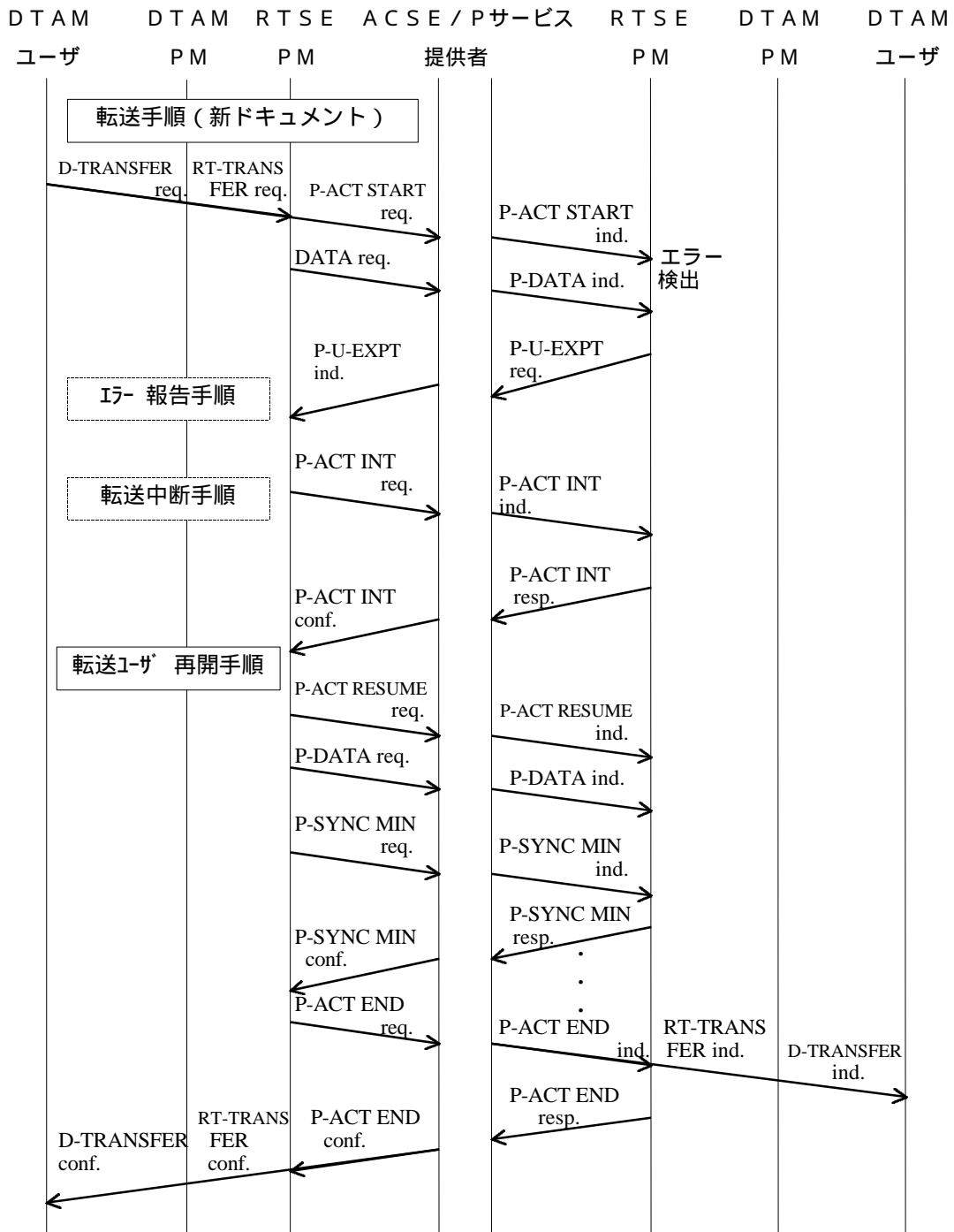
付図A - 1 / J T - T 4 3 3 から付図A - 3 / J T - T 4 3 3 は、ドキュメントバルク転送に対するプロトコルシーケンスの例を示す。



付図A - 1 / J T - T 4 3 3 転送手順 ( 転送廃棄手順 )  
 (ITU-T T.433)



付図A - 2 / JT - T 4 3 3 転送手順 (転送中断手順) と転送ユーザ再開手順 (透過モード) (ITU-T T.433)



付図A - 3 / JT - T 4 3 3  
(ITU-T T.433)

RTSE使用時の転送手順  
(ノーマルモード)

付属資料B DTAM - PM状態表(ドキュメントバルク転送/透過モード)  
(JT - T433に対する)

この付属資料はこの標準の参考部分である。

## 1. 概要

この付属資料Bに記述されているDTAM - PMの状態表は、透過モードでのドキュメントバルク転送に適用されている。

この付属資料は状態表によって単一のDTAMプロトコルマシン(DTAM - PM)を定義する。状態表は1つのアプリケーション - アソシエーション、プロトコルの中で発生する入力イベント、行なわれる動作、そして結果として生じるアプリケーション - アソシエーションの状態との間の相互関係を示す。

DTAM - PM状態表はDTAM - PMの正式な定義を規定しない。6章で定義された手順の要素のさらに正確な仕様を規定することが含まれる。

この付属資料は次の表を含んでいる。

(1) 付表B - 1 / JT - T433は、各入力イベントの略称、ソース、名称/説明を示す。

ソースは以下の1つである。

- (a) DTAM - SE - user (DTAM - SE - user)
- (b) peer DTAM - PM (DTAM - PM - peer)
- (c) セッションサービスプロバイダ(SS - プロバイダ)
- (d) DTAM - PM (DTAM - PM)

(2) 付表B - 2 / JT - T433はDTAM - PMのそれぞれの状態の略称を示す。

(3) 付表B - 3 / JT - T433は各出力イベントの略称、対象、名称/説明を示す。対象は以下の1つである。

- (a) DTAM - SE - user (DTAM - SE - user)
- (b) peer DTAM - PM (DTAM - PM - peer)
- (c) セッションサービスプロバイダ(SS - プロバイダ)
- (d) DTAM - PM (DTAM - PM)

(4) 付表B - 4 / JT - T433は述語を示す。

(5) 付表B - 5 / JT - T433は特定動作を示す。

(6) 付表B - 6 / JT - T433から付表B - 14 / JT - T433は、上記表の中の略称を用いながらDTAM - PMの状態表を示す。

いくつかのイベントについて、ソースと対象はDTAM - PMである(内部イベント)。もしDTAM - PMが、行なわれる動作の一部として内部イベントを発行するなら、DTAM - PMは結果として生じる状態の中でその内部イベントを待つ。

## 2. 規定

入力イベント(行)と状態(列)との交点は1つのセルを形成する。

状態表の中で、空白のセルは、DTAM - PMのために定義されていない状態と入力イベントの組合せを表現している(3.1参照)。いくつかの状態は単にソースのDTAM - PMからの入力イベントを待っている(内部イベント)。この状態は\*の印がつけられ、他の入力イベントは考慮されない。

空白でないセルはDTAM - PMのために定義された状態と入力イベントを表現している。それらのセルは1つまたはそれ以上の動作リストを含んでいる。動作リストは必須または条件付きである。もし、1つのセルが必須の動作リストを含んでいたら、それはセルの中で唯一の動作リストである。



必須の動作リストは

- ( 1 ) オプションの 1 つまたはそれ以上の出力イベント
- ( 2 ) オプションの 1 つまたはそれ以上の特定動作
- ( 3 ) 結果として生じる状態

を含む。

条件付きの動作リストは

- ( 1 ) 述語とブール演算子 (  $\neg$  はブール NOT、 $\&$  はブール AND を表わす ) を含んだ述語表現
- ( 2 ) 必須の動作リスト ( この必須の動作リストは述語表現が真の場合のみ使われる )

を含む。

### 3. DTAM - PMで行なわれる動作

DTAM - PM状態表は、オプションの出力イベント、オプションの特定動作、結果として生じるアプリケーション - アソシエーションの状態に関してDTAM - PMによって行なわれる動作を定義する。

#### 3.1 無効な交点

空白のセルは入力イベントと状態の無効な交点を示す。もしそのような交点が発生した場合、次の動作の中の 1 つが行なわれる。

- ( 1 ) 入力イベントがDTAM - SE - userから来るか、内部イベントであるなら、DTAM - PMによって行なわれるどのような動作もローカルの問題である。
- ( 2 ) 入力イベントが、受信されたAPDUや、SS - プロバイダに関係しているならば、DTAM - PMは適当な内部イベントを発生するか、D - PAindという出力イベント ( DTAM - SE - userに対して ) と強制終了出力イベント ( peerDTAM - PMに対して ) の両方を発行する。

#### 3.2 有効な交点

状態と入力イベントの交点が無効な場合、次の動作の中の 1 つが行なわれる。

- ( 1 ) セルが必須の動作リストを含んでいるならば、DTAM - PMは規定された動作をとる。
- ( 2 ) セルが 1 つまたはそれ以上の条件付の動作リストを含んでいるならば、DTAM - PMはそれぞれの真である述語表現に対する規定された動作を行なう。もし真である述語表現がないならばDTAM - PMは 3 . 1 の中で定義している動作の中の 1 つを行なう。

### 4. 変数の定義

以下の変数が規定される。

#### 4.1 アソシエーション - 要求DTAM - PM

もしDTAM - PMがアソシエーション - 要求DTAM - PMならば ( 特定動作 [ a 1 ] ) このブール変数は真に設定され、そうでなければ ( 特定動作 [ a 2 ] ) 偽に設定される。

このブール変数は述語 p 1 1 の中で検査される。

#### 4.2 チェックポイント確認

転送手順の間で少なくとも 1 つのチェックポイントが確認されればこのブール変数は真である。それは転送手順の初めにおいて偽に設定される ( 特定動作 [ a 3 0 ] )。これはS - MINOR - SYNCHRONIZE確認プリミティブが送信側DTAM - PMへ発行されると真に設定される ( 特定動作 [ a 3

2 ] ) )。

#### 4.3 転送完了

受信側DTAM - PMがすでに完了した転送を廃棄することができないためにアソシエーションを中断すると、このブール変数は真である。これは特定動作 [ a 9 3 ] と [ a 9 4 ] とによって設定される。

このブール変数は述語 P 3 7 の中で検査される。

#### 4.4 アウトスタンディング小同期

この整数の変数は転送手順の間のアウトスタンディングチェックポイント確認の数を示す。これは転送手順の初めにおいて0に設定される(特定動作 [ a 3 0 ] )。S - MINOR - SYNCHRONIZE 要求プリミティブが送信側DTAM - PMによって発行されると、その値は1つインクリメントされる(特定動作 [ a 3 1 ] )。

この変数の値は述語 p 3 2 の中でS - CON c o f のウィンドウサイズフィールドの値と比較される。この変数の値は述語 p 3 3 の中で値0と比較される。

付表B - 1 / J T - T 4 3 3 入力イベントのリスト ( 1 / 3 )  
( I T U - T T.433 )

略 称	ソース	名称と説明
D-CAPreq	DTAM-SE-user	D-CAPABILITY 要求プリミティブ
D-CAPres	DTAM-SE-user	D-CAPABILITY 応答プリミティブ
D-INTreq	DTAM-SE-user	D-INITIATE 要求プリミティブ
D-INTres+	DTAM-SE-user	D-INITIATE 応答プリミティブ ( 受け入れられた )
D-INTres-	DTAM-SE-user	D-INITIATE 応答プリミティブ ( 拒否された )
D-TERreq	DTAM-SE-user	D-TERMINATE 要求プリミティブ
D-TERres	DTAM-SE-user	D-TERMINATE 応答プリミティブ
D-TRreq	DTAM-SE-user	D-TRANSFER 要求プリミティブ
D-TRreq	DTAM-SE-user	D-TRANSFER 要求プリミティブ ( 再開 )
D-TPreq	DTAM-SE-user	D-TOKEN-PLEASE 要求プリミティブ
D-CGreq	DTAM-SE-user	D-CONTROL-GIVE 要求プリミティブ
D-UAreq	DTAM-SE-user	D-U-ABORT 要求プリミティブ
DICQ	セッション プラットフォーム	S-CONNECT 指示プリミティブのユーザデータとしての D-INITIATE 要求 APDU
DINR+	セッション プラットフォーム	S-CONNECT 確認プリミティブ、または A-ASSOCIATE 確認 プリミティブのユーザデータとしての D-INITIATE 応答 APDU ( 受け入れられた )
S-CONconf-	セッション プラットフォーム	S-CONNECT 確認プリミティブ ( 拒否された )
SEG	セッション プラットフォーム	ドキュメント情報のセグメント

付表B - 1 / JT - T 4 3 3 入力イベントのリスト ( 2 / 3 )  
( I T U - T T.43 3 )

略 称	ソース	名称と説明
S-CAPind	セッション プリミティブ	S-CAPABILITY-DATA 指示プリミティブ
S-CAPcnf	セッション プリミティブ	S-CAPABILITY-DATA 確認プリミティブ
S-RELind	セッション プリミティブ	S-RELEASE 指示プリミティブ
S-RELCnf	セッション プリミティブ	S-RELEASE 確認プリミティブ
S-ASind	セッション プリミティブ	S-ACTIVITY-START 指示プリミティブ
S-ARind	セッション プリミティブ	S-ACTIVITY-RESUME 指示プリミティブ
S-AEind	セッション プリミティブ	S-ACTIVITY-END 指示プリミティブ
S-AEcnf	セッション プリミティブ	S-ACTIVITY-END 確認プリミティブ
S-AIind	セッション プリミティブ	S-ACTIVITY-INTERRUPT 指示プリミティブ
S-AIcnf	セッション プリミティブ	S-ACTIVITY-INTERRUPT 確認プリミティブ
S-ADind	セッション プリミティブ	S-ACTIVITY-DISCARD 指示プリミティブ
S-ADcnf	セッション プリミティブ	S-ACTIVITY-DISCARD 確認プリミティブ
S-TPind	セッション プリミティブ	S-TOKEN-PLEASE 指示プリミティブ
S-CGind	セッション プリミティブ	S-CONTROL-GIVE 指示プリミティブ
S-MSind	セッション プリミティブ	S-MINER-SYNC 指示プリミティブ
S-MScnf	セッション プリミティブ	S-MINOR-SYNC 確認プリミティブ
S-UEind	セッション プリミティブ	U-EXCEPTION-REPORT 指示プリミティブ
S-PEind	セッション プリミティブ	P-EXCEPTION-REPORT 指示プリミティブ
S-UABind	セッション プリミティブ	U-ABORT 指示プリミティブ
S-PABind	セッション プリミティブ	P-ABORT 指示プリミティブ

付表B - 1 / JT - 433 入カイベントのリスト ( 3 / 3 )  
 ( ITU - T T.433 )

略 称	ソース	名称と説明
next	DTAM-PM	次のセグメントの転送
tr-discard	DTAM-PM	転送 - 廃棄手順の開始
tr-interr	DTAM-PM	転送 - 中断手順の開始
tr-p-ab	DTAM-PM	転送 - 強制終了手順の開始に続いてプロバイダ - 強制終了
transfer	DTAM-PM	転送手順の開始
resume	DTAM-PM	再開手順の開始

付表 B - 2 / J T - T 4 3 3     D T A M - P M 状 態  
 ( I T U - T T . 4 3 3 )

略 称	名 称 と 説 明
S T A 0	アイドル：アソシエーション未接続
S T A 0 1	DINR 待ち
S T A 0 2	D-INTres+ 、または D-INTres- 待ち
S T A 1 1	アソシエーション接続：送信側 DTAM-PM
S T A 1 1 1	アソシエーション接続：S-CAPconf 待ち
S T A 2 2	アソシエーション接続：受信側 DTAM-PM
S T A 2 2 1	アソシエーション接続：D-CAPres 待ち
S T A 3 0	転送：送信側 DTAM-PM
S T A 3 1	中断された転送：送信側 DTAM-PM
S T A 3 2	S-AEcnf 待ち：送信側 DTAM-PM
S T A 3 4 *	廃棄または中断手順の開始待ち
S T A 3 4 1	S-ADcnf または S-AIcnf 待ち（廃棄 / 中断手順）
S T A 4 0	SEG 待ち：受信側 DTAM-PM
S T A 4 1	S-MSind 、または S-AEind 待ち：受信側 DTAM-PM
S T A 7 0 *	強制終了手順の開始待ち（ローカル強制終了）
S T A 7 1 *	強制終了手順の開始待ち（リモート強制終了）
S T A 9 1	D-TERres 待ち
S T A 9 2	S-RELcnf 待ち

付表 B - 3 / J T - T 4 3 3 ( 1 / 3 ) 出力イベント表  
( I T U - T T.433 )

略 称	対 象	名 称 と 説 明
D-CAPind	DTAM-SE-user	D-CAPABILITY 指示プリミティブ
D-CAPcnf	DTAM-SE-user	D-CAPABILITY 確認プリミティブ
D-INTind	DTAM-SE-user	D-INITIATE 指示プリミティブ
D-INTcnf+	DTAM-SE-user	D-INITIATE 確認プリミティブ (受け入れられた)
D-INTcnf-	DTAM-SE-user	D-INITIATE 確認プリミティブ (拒否された)
D-TERind	DTAM-SE-user	D-TERMINATE 指示プリミティブ
D-TERcnf	DTAM-SE-user	D-TERMINATE 確認プリミティブ
D-TRind	DTAM-SE-user	D-TRANSFER 指示プリミティブ
D-TRcnf+	DTAM-SE-user	D-TRANSFER 確認プリミティブ (転送された)
D-TRcnf-	DTAM-SE-user	D-TRANSFER 確認プリミティブ (転送されなかった)
D-TPind	DTAM-SE-user	D-TOKEN-PLEASE 指示プリミティブ
D-CGind	DTAM-SE-user	D-CONTROL-GIVE 指示プリミティブ
D-UAind	DTAM-SE-user	D-U-ABORT 指示プリミティブ
D-PAind	DTAM-SE-user	D-P-ABORT 指示プリミティブ
DINQ	セッション プロトコル	S-CONNECT 要求プリミティブのユーザデータとしての D-INITIATE 要求 APDU
DINR+	セッション プロトコル	S-CONNECT 応答プリミティブのユーザデータとしての D-INITIATE 応答 APDU (受け入れられた)
S-CONresp- SEG	セッション プロトコル セッション プロトコル	S-CONNECT 応答プリミティブ (拒否された) ドキュメント情報のセグメント

付表 B - 3 / J T - T 4 3 3 ( 2 / 3 ) 出力イベント表  
( I T U - T T.43 3 )

略 称	対 象	名 称 と 説 明
S-CAPreq	セッションプロパティ	S-CAPABILITY-DATA 要求プリミティブ
S-CAPres	セッションプロパティ	S-CAPABILITY-DATA 応答プリミティブ
S-RELreq	セッションプロパティ	S-RELEASE 要求プリミティブ
S-RELres	セッションプロパティ	S-RELEASE 応答プリミティブ
S-ASreq	セッションプロパティ	S-ACTIVITY-START 要求プリミティブ
S-ARreq	セッションプロパティ	S-ACTIVITY-RESUME 要求プリミティブ
S-AEreq	セッションプロパティ	S-ACTIVITY-END 要求プリミティブ
S-AEres	セッションプロパティ	S-ACTIVITY-END 応答プリミティブ
S-AIreq	セッションプロパティ	S-ACTIVITY-INTERRUPT 要求プリミティブ
S-AIres	セッションプロパティ	S-ACTIVITY-INTERRUPT 応答プリミティブ
S-ADreq	セッションプロパティ	S-ACTIVITY-DISCARD 要求プリミティブ
S-ADres	セッションプロパティ	S-ACTIVITY-DISCARD 応答プリミティブ
S-TPreq	セッションプロパティ	S-TOKEN-PLEASE 要求プリミティブ
S-CGreq	セッションプロパティ	S-CONTROL-GIVE 要求プリミティブ
S-MSreq	セッションプロパティ	S-MINOR-SYNCHRONIZE 要求プリミティブ
S-MSres	セッションプロパティ	S-MINOR-SYNCHRONIZE 応答プリミティブ
S-UEreq	セッションプロパティ	S-U-EXCEPTION-REPORT 要求プリミティブ

付表 B - 3 / J T - T 4 3 3 ( 3 / 3 ) 出力イベント表  
( I T U - T T.43 3 )

略 称	対 象	名 称 と 説 明
a-ab	DTAM-PM	アソシエーション(接続)強制終了
a-res	DTAM-PM	受信側 DTAM-PM によるアクティビティの再開
a-ret	DTAM-PM	アクティビティの完了、廃棄または中断
ass-ab	DTAM-PM	アソシエーション強制終了手順の開始
ass-rec	DTAM-PM	アソシエーション回復手順の開始
next	DTAM-PM	次のセグメントの転送
p-ab	DTAM-PM	プロバイダ強制終了手順の開始
tr-discard	DTAM-PM	転送廃棄手順の開始
tr-interr	DTAM-PM	転送中断手順の開始
tr-p-ab	DTAM-PM	転送強制終了手順に続くプロバイダ強制終了の開始
tr-pos	DTAM-PM	成功した転送の完了
transfer	DTAM-PM	転送手順の開始
resume	DTAM-PM	ユーザ再開手順の開始
u-exr	DTAM-PM	ユーザ例外報告手順の開始



付表B - 4 / J T - T 4 3 3 述語  
( I T U - T T.433 )

コード	名 前 と 説 明
p1	D T A M - P Mは要求されたアプリケーションアソシエーション（接続）を提供できる。
p11	アソシエーション要求 D T A M - P M = 真
p31	セグメントは符号化された A P D U 値を転送する為のセグメント群の中の最後の1つである。
p32	アウトスタンディング マイナー シンク < ウィンドウサイズ
p33	アウトスタンディング マイナー シンク = 0
p35	(最低限、S - M S 確認の受信により) チェックポイント確認。 = 真
p36	ローカル選択
p361	S - U E 指示の理由パラメータ値が“受信能力外”である。
p37	マイナーシンク = ラストアクノリッジマイナーシンク + 1
p41	受信したセグメントの保証
p42	完全な D T A M - S E ユーザ A P D U の保証

付表B - 5 / J T - T 4 3 3 動作  
( I T U - T T.433 )

コード	名 前 と 説 明
a1	アソシエーション要求 D T A M - P M = 真
a2	アソシエーション要求 D T A M - P M = 偽
a10	受信セグメントの蓄積
a30	アウトスタンディングマイナーシンク = 0 チェックポイント確認 = 偽
a31	アウトスタンディングマイナーシンク = アウトスタンディングマイナーシンク + 1
a32	アウトスタンディングマイナーシンク = アウトスタンディングマイナーシンク - 1 チェックポイント確認 = 真

付表B - 6 / JT - T 4 3 3 DTAM - PM状態表 : アソシエーション / 接続設定  
( ITU - T T.433 )

	STA0	STA01	STA02
D-INTrec	P1 DINQ [a1] STA01		
DINQ	P1 D-INTind [a2] STA02  -P1 S-CONcnf- STA0		
D-INTres+			DINR+ STA22
D-INTres-			S-CONcnf- STA0
DINR+		D-INTcnf+ STA11	
S-CONcnf-		D-INTcnf- STA0	
S-PABind		D-PAind STA0	D-PAind STA0
D-UAreq		S-UABreq STA0	S-UABreq STA0
S-UABind		D-UAind STA0	D-UAind STA0

付表B - 7 / JT - T 4 3 3 ( 1 / 2 ) DTAMP M 状態表：  
 ( I T U - T T . 4 3 3 ) アソシエーション設定、転送外

	STA11	STA22	STA111	STA221
D-TRreq	転送 STA30			
D-TRreq*	再開 STA30			
S-ASind		STA40		
S-ARind		STA40		
D-TPreq		S-TPreq STA22		S-TPreq STA221
S-TPind	D-TPind STA11		S-TPind STA111	
D-CGreq	S-CGreq STA22			
S-CGind		D-CGind STA11		

付表B - 7 / JT - T 4 3 3 ( 2 / 2 ) DTAMP M状態表：  
 ( I T U - T T . 4 3 3 ) アソシエーション設定、転送外

	STA11	STA22	STA111	STA221
D-CAPreq	S-CAPreq STA111			
D-CAPres		D-CAPind STA221		
D-CAPres				S-CAPres STA22
S-CAPcnf			D-CAPcnf STA11	
S-PABind	D-PAind STA0	D-PAind STA0	D-PAind STA0	D-PAind STA0
D-UAreq	S-UABreq STA0	S-UABreq STA0	S-UABreq STA0	S-UABreq STA0
S-UABind	D-UAind STA0	D-UAind STA0	D-UAind STA0	D-UAind STA0

付表B - 8 / JT - T 4 3 3 ( 1 / 2 ) DTAM - PM状態表  
 ( ITU - T T.433 ) 送信DTAM - PM転送

	STA30	STA31	STA32
transfer	[ a30 ]  SASreq next STA30		
resume	[ a30 ]  SASreq next STA30		
next	p32& ¬p31 SEG SMSreq [ a31 ] next STA30 p32& p31: SEG SAEreq STA32 ¬p32 STA31		
S-MScnf	a37 [ a32 ] STA30 ¬p37 tr-p-ab STA71*	a37 [ a32 ] next STA30 ¬p37 tr-p-ab STA71*	a37 [ a32 ] STA32 ¬p37 tr-p-ab STA71*
S-AEcnf			p33 D-TRcnf+ STA11 ¬p33 tr-p-ab STA71*
S-PTind	D-TPind STA30	D-TPind STA30	D-TPind STA30

付表B - 8 / JT - T 4 3 3 ( 2 / 2 ) DTAM - PM状態表  
 ( ITU - T T.433 ) 送信DTAM - PM転送

	STA30	STA31	STA32
S-UEind	p361 tr-p-ab STA71 ¬ p361&p35 tr-interr STA34 ¬ p361 & ¬ p35 tr-discard STA34	p361: tr-p-ab STA71 ¬ p361&p35 tr-interr STA34 ¬ p361 & ¬ p35 tr-discard STA34	p361: tr-p-ab STA71 ¬ p361&p35 tr-interr STA34 ¬ p361 & ¬ p35 tr-discard STA34
S-PEind	p35 tr-interr STA34 ¬ p35 tr-discard STA34	p35 tr-interr STA34 ¬ p35 tr-discard STA34	p35 tr-interr STA34 ¬ p35 tr-discard STA34
S-PABind	tr-p-ab STA70	tr-p-ab STA70	tr-p-ab STA70
D-UAreq	S-UABreq STA0	S-UABreq STA0	S-UABreq STA0
S-UABind	tr-p-ab STA70	tr-p-ab STA70	tr-p-ab STA70

付表B - 9 / JT - T 4 3 3 DTAM - PM状態表  
 ( ITU - T T.433 ) DTAM - PMエラ - ハンドリング

	STA34	STA341
tr-discard	S-ADreq STA341	
tr-interr	S-AIreq STA341	
S-ADcnf		D-TRcnf- STA11
S-AIcnf		D-TRcnf- STA11
S-PABind	tr-d-ab STA70	tr-d-ab STA70
D-UABreq	S-UABreq STA0	S-UABreq STA0
S-UABind	tr-p-ab STA70	tr-p-ab STA70
S-PTind	STA34*	STA341

付表B - 10 / JT - T433 DTAM - PM状態表  
 ( ITU - T T.433 ) 受信DTAM - PM

	STA40	STA41
SEG	[a10] STA41	
S-MSind		P41 S-MSreq STA40
S-AEind		p42 S-AEres D-TRind STA22
S-AIind	S-AIres STA22	S-AIres STA22
S-ADind	S-ADres STA22	S-ADres STA22
S-PEind	STA40	STA41
S-PABind	tr-p-ab STA70	tr-p-ab STA70
D-TPreq	S-TPreq STA40	S-TPreq STA41
D-UABreq	S-UABreq STA0	S-UABreq STA0
S-UABind	tr-p-ab STA70	tr-p-ab STA70

付表B - 11 / JT - T433 DTAM - PM状態表  
 (ITU - T T.433) 強制終了とアソシエ - ション解除

	STA70*	STA71*	STA11	STA22	STA91	STA92
D-TERreq			p11 S-RELreq STA92			
S-RELind				¬p11 D-TERind STA91		
D-TERres					S-TERcnf STA0	
S-RELCnf						D-TERcnf STA0
tr-p-ab	D-TRcnf- D-PAind STA0	D-TRcnf- S-UABBreq D-PAind STA0				
S-PABind		STA70	D-PAind STA0	D-PAind STA0	D-PAind STA0	D-PAind STA0
D-UAreq	STA70	STA71	S-UABreq STA0	S-UABreq STA0	S-UABreq STA0	
S-UABind		STA70	D-UAind STA0	D-UAind STA0	D-UAind STA0	



付属資料C DTAM - PM状態表 (ドキュメントバルク転送 / ノーマルモード)  
(JT - T433 に対する)

1. 概要

付属資料Cに記述されたDTAM - PM状態表はRTSEの使用を基本にしたドキュメントバルク転送に適用される。

この付属資料は状態表によって単一DTAMプロトコルマシン (DTAM - PM) を定義する。

状態表は1つのアプリケーションアソシエーションとプロトコルデータユニットの中で発生する入力イベントと行われる動作の間の相互関係を示す。

この付属資料は次の表を含んでいる。

(1) 付表C - 1 / JT - T433は、各入力イベントの略称、ソース、名称 / 説明を示す。

ソースは以下の1つである。

- (a) DTAM - SE - user (DTAM - SE - user)
- (b) peerDTAM - PM (DTAM - PM - peer)
- (c) プレゼンテーションサービス提供者 (Present - SP)
- (d) RTSEサービス提供者 (RTSE - SP)

(2) 付表C - 2 / JT - T433はDTAM - PMのそれぞれの状態の略称を示す。

(3) 付表C - 3 / JT - T433はは各出力イベントの略称、ソース、名称 / 説明を示す。

対象は以下の1つである。

- (a) DTAM - SE - user (DTAM - SE - user)
- (b) peerDTAM - PM (DTAM - PM - peer)
- (c) プレゼンテーションサービス提供者 (Present - SP)
- (d) RTSEサービス提供者 (RTSE - SP)

(4) 付表C - 4 / JT - T433は述語を示す。

(5) 付表C - 5 / JT - T433からC - 8 / JT - T433は、上記表の中の略称を用いながらDTAM - PMの状態表を示す。

付表C - 1 / J T - T 4 3 3 入力イベントのリスト ( 1 / 2 )  
 ( I T U - T T . 4 3 3 )

略 称	ソース	名 称 と 説 明
D-CAPreq	DTAM-SE-user	D-CAPABILITY 要求プリミティブ
D-CAPres+	DTAM-SE-user	D-CAPABILITY 応答プリミティブ (受け入れられた)
D-CAPres-	DTAM-SE-user	D-CAPABILITY 応答プリミティブ (拒否された)
D-INTreq	DTAM-SE-user	D-INITIATE 要求プリミティブ
D-INTres+	DTAM-SE-user	D-INITIATE 応答プリミティブ (受け入れられた)
D-INTres-	DTAM-SE-user	D-INITIATE 応答プリミティブ (拒否された)
D-TERreq	DTAM-SE-user	D-TERMINATE 要求プリミティブ
D-TERres	DTAM-SE-user	D-TERMINATE 応答プリミティブ
D-TRreq	DTAM-SE-user	D-TRANSFER 要求プリミティブ
D-TPreq	DTAM-SE-user	D-TOKEN-PLEASE 要求プリミティブ
D-CGreq	DTAM-SE-user	D-CONTROL-GIVE 要求プリミティブ
D-UAreq	DTAM-SE-user	D-U-ABORT 要求プリミティブ
DCPQ	DTAM-PM-peer	P-CAPAB-DATA 指示プリミティブのユーザデータとしての D-CAPABILITY 要求 APDU
DCPR+	DTAM-PM-peer	P-CAPAB-DATA 確認プリミティブのユーザデータとしての D-CAPABILITY 応答 APDU (受け入れられた)
DCPR-	DTAM-PM-peer	P-CAPAB-DATA 確認プリミティブのユーザデータとしての D-CAPABILITY 応答 APDU ( ~ によって拒否された )
DINQ	DTAM-PM-peer	RT-OPEN 指示プリミティブのユーザデータとしての D-INITIATE 要求 APDU
DINR+	DTAM-PM-peer	RT-OPEN 確認プリミティブのユーザデータとしての D-INITIATE 応答 APDU (受け入れられた)
DINR-	DTAM-PM-peer	RT-OPEN 確認プリミティブのユーザデータとしての D-INITIATE 応答 APDU ( ~ によって拒否された )
DTEQ	DTAM-PM-peer	RT-CLOSE 指示プリミティブのユーザデータとしての D-TERMINATE 要求 APDU
DTER	DTAM-PM-peer	RT-CLOSE 確認プリミティブのユーザデータとしての D-TERMINATE 応答 APDU

付表C - 1 / JT - T 4 3 3 入力イベントのリスト ( 2 / 2 )  
 ( I T U - T T . 4 3 3 )

略 称	ソース	名 称 と 説 明
P-CDind	Present-SP	P-CAPABILITY-DATA 指示プリミティブ
P-CDconf	Present-SP	P-CAPABILITY-DATA 確認プリミティブ
RT-OPENind	RTSE SP	RT-OPEN 指示プリミティブ
RT-OPENcnf	RTSE SP	RT-OPEN 確認プリミティブ
RT-P-ABind	RTSE SP	RT- プロバイダ強制終了指示プリミティブ
RT-U-ABind	RTSE SP	RT- ユーザ強制終了指示プリミティブ
RT-TRind	RTSE SP	RT-TRANSFER 指示プリミティブ
RT-TRcnf+	RTSE SP	RT-TRANSFER 肯定確認プリミティブ
RT-TRcnf-	RTSE SP	RT-TRANSFER 否定確認プリミティブ
RT-TGind	RTSE SP	RT-TURN-GIVE 指示プリミティブ
RT-TPind	RTSE SP	RT-TURN-PLEASE 指示プリミティブ

付表C - 2 / J T - T 4 3 3 D T A M P M状態  
( I T U - T T . 4 3 3 )

略 称	名 称 と 説 明
STA0	アイドル：アソシエーション未接続
STA01	RT-OPEN 確認プリミティブのユーザデータとして DINR+ 、DINR-を待つ ( 要求側 )
STA02	D-INTres+ 、 D-INTres-待ち ( 応答側 )
STA11	アソシエーション接続： D T A M - P Mは送信側 D T A M - P M ( アソシエーションを要求するかまたは応答する D T A M - P M )
STA22	アソシエーション接続： D T A M - P Mは受信側 D T A M - P M ( アソシエーションを要求するかまたは応答する D T A M - P M )
STA111	アソシエーション接続： D T A M - P Mは送信側 D T A M - P Mで DCPR+ または DCPR- 待ち ( アソシエーションを要求するかまたは応答する D T A M - P M )
STA221	アソシエーション接続： D T A M - P Mは受信側 D T A M - P Mで D-CAPres+ または D-CAPres- 待ち ( アソシエーションを要求するかまたは応答する D T A M - P M )
STA30	アソシエーション接続： D T A M - P Mは送信側 D T A M - P Mで RT-TRcnf+または RT-TRcnf- ( アソシエーション接続を要求するかまたは応答する D T A M - P M )
STA91	アソシエーション接続に応答する D T A M - P Mで D-TERresp 待ち
STA92	アソシエーション接続を要求する D T A M - P Mで DTER 待ち

付表C - 3 / J T - T 4 3 3 出力イベントのリスト ( 1 / 2 )  
 ( I T U - T T . 4 3 3 )

略 称	対 象	名 称 と 説 明
D-CAPind	DTAM-SE-user	D-CAPABILITY 指示プリミティブ
D-CAPcnf+	DTAM-SE-user	D-CAPABILITY 確認プリミティブ ( 受け入れられた )
D-CAPcnf-	DTAM-SE-user	D-CAPABILITY 確認プリミティブ ( 拒否された )
D-INTind	DTAM-SE-user	D-INITIATE 指示プリミティブ
D-INTcnf+	DTAM-SE-user	D-INITIATE 確認プリミティブ ( 受け入れられた )
D-INTcnf-	DTAM-SE-user	D-INITIATE 確認プリミティブ ( 拒否された )
D-TERind	DTAM-SE-user	D-TERMINATE 指示プリミティブ
D-TERcnf	DTAM-SE-user	D-TERMINATE 確認プリミティブ
D-TRind	DTAM-SE-user	D-TRANSFER 指示プリミティブ
D-TRcnf+	DTAM-SE-user	D-TRANSFER 確認プリミティブ ( ドキュメントは転送された )
D-TRcnf-	DTAM-SE-user	D-TRANSFER 確認プリミティブ ( ドキュメントは転送されなかつた )
D-CGind	DTAM-SE-user	D-CONTROL-GIVE 指示プリミティブ
D-TPind	DTAM-SE-user	D-TOKEN-PLEASE 指示プリミティブ
D-UAind	DTAM-SE-user	D-U-ABORT 指示プリミティブ
D-PAind	DTAM-SE-user	D-P-ABORT 指示プリミティブ
DCPQ	DTAM-PM-peer	P-CAPABILITY-DATA 要求プリミティブのユーザーデータとしての D-CAPABILITY-REQUEST APDU
DCPR+	DTAM-PM-peer	P-CAPABILITY-DATA 応答プリミティブのユーザーデータとしての D-CAPABILITY 応答 APDU ( 受け入れられた )
DCPR-	DTAM-PM-peer	P-CAPABILITY-DATA 応答プリミティブのユーザーデータとしての D-CAPABILITY 応答 APDU ( ~ によって拒否された )
DINQ	DTAM-PM-peer	RT-OPEN 要求プリミティブのユーザーデータとしての D-INITIATE 要求 APDU
DINR+	DTAM-PM-peer	RT-OPEN 応答プリミティブのユーザーデータとしての D-INITIATE 応答 APDU ( 受け入れられた )
DINR-	DTAM-PM-peer	P-CAPABILITY-DATA 応答プリミティブのユーザーデータとしての D-INITIATE 応答 APDU ( ~ によって拒否された )
DTEQ	DTAM-PM-peer	RT-CLOSE 要求プリミティブのユーザーデータとしての D-TERMINATE 要求 APDU
DTER	DTAM-PM-peer	RT-CLOSE 応答プリミティブのユーザーデータとしての D-TERMINATE 応答 APDU

付表C - 3 / J T - T 4 3 3 出力イベントのリスト ( 2 / 2 )  
( I T U - T T . 4 3 3 )

略 称	対 象	名 称 と 説 明
P-CDreq	Present. SP	P-CAPABILITY-DATA 要求プリミティブ
P-CDresp	Present. SP	P-CAPABILITY-DATA 応答プリミティブ
RT-CLOSEresp	RTSE SP	RT-CLOSE 応答プリミティブ
RT-CLOSEreq	RTSE SP	RT-CLOSE 要求プリミティブ
RT-OPENresp	RTSE SP	RT-OPEN 応答プリミティブ
RT-OPENreq	RTSE SP	RT-OPEN 要求プリミティブ
RT-TRreq	RTSE SP	RT-TRANSFER 要求プリミティブ
RT-TGreq	RTSE SP	RT-TURN-GIVE 要求プリミティブ
RT-TPreq	RTSE SP	RT-TURN-PLEASE 要求プリミティブ
RT-U-ABreq	RTSE SP	RT-User-Abort 要求プリミティブ

付表C - 4 / J T - T 4 3 3 述語  
( I T U - T T . 4 3 3 )

略 称	名 称 と 説 明
P1	D T A M - P Mは要求されたアプリケーションアソシエーション ( 接続 ) を提供できる
P11	アソシエーション要求 D T A M - P M
P12	アソシエーション要求 D T A M - P Mと D T A Mユーザはトークンを与えることに同意する

付表C - 5 / JT - T 4 3 3 DTAM - PM状態表：アソシエーション設定  
( ITU - T T . 4 3 3 )

	STA0	STA01	STA02
D-INTreq	p1: RT-OPENreq [DINQ] STA01		
D-INTres+			RT-OPENresp [DINR+] STA22
D-INTres-			RT-OPENresp [DINR-] STA0
RT-OPENind [DINQ]	p1: D-INTind STA02  -p1: RT-OPENresp [DINR-] STA0		
RT-OPENcnf [DINR+]		D-INTcnf+ STA11	
RT-OPENcnf [DINR-]		D-INTcnf- STA0	
D-UAreq		RT-U-ABreq STA0	RT-U-ABreq STA0
RT-U-ABind		D-UAind STA0	D-UAind STA0
RT-P-ABind		D-PAind STA0	D-PAind STA0

付表C - 6 / JT - T 4 3 3 ( 1 / 2 ) DTAM - PM状態表  
 ( ITU - T T . 4 3 3 ) : アソシエーション設定、転送

	STA11	STA22
D-TRreq	RT-TRreq STA30	
RT-TRind		D-TRind STA22
D-CAPreq	P-CDreq [DCPQ] STA111	
P-CDind [DCPQ]		D-CAPind STA221
D-TERreq	p11: RT-CLOSEreq [DTEQ] STA92	
RT-CLOSEind [DTEQ]		-p11: D-TERind STA91  p11: RT-U-ABreq D-PAind STA0
RT-TPind	D-TPind STA11	
D-TPreq		RT-TPreq STA22
D-CGreq	RT-TGreq STA22	
RT-TGind		D-CGind STA11
D-UAreq	RT-U-ABreq STA0	RT-U-ABreq STA0
RT-U-ABind	D-UAind STA0	D-UAind STA0
RT-P#ABind	D-PAind STA0	D-PAind STA0



付表C - 6 / JT - T 4 3 3 ( 2 / 2 ) DTAM - PM状態表：  
 ( I T U - T T . 4 3 3 ) アソシエーション設定、転送

	STA111	STA221
D-CAPres+		P-CDresp [DCPR+] STA22
D-CAPres-		P-CDresp [DCPR-] STA22
P-CDcnf [DCPR+]	D-CAPcnf+ STA11	
P-CDcnf [DCPR-]	D-CAPcnf- STA11	
RT-TPind	D-TPind STA111	
D-UAreq	RT-U-ABreq STA0	RT-U-ABreq STA0
RT-U-ABind	D-UAind STA0	D-UAind STA0
RT-P-ABind	D-PAind STA0	D-PAind STA0

付表C - 7 / JT - T 4 3 3 DTAM - PM状態表：RTSEによる転送  
( ITU - T T . 4 3 3 )

	STA30
RT-TRcnf+	D-TRconf+ STA11
RT-TRcnf-	D-TRcof- STA11
RT-TPind	D-TPind STA30
D-UAreq	RT-U-ABreq STA0
RT-U-ABind	D-UAind STA0
RT-P-ABind	D-PAind STA0

付表C - 8 / JT - T 4 3 3 DTAM - PM状態表：  
( ITU - T T . 4 3 3 ) 強制終了とアソシエーション解除

	STA91	STA92
D-TERresp	RT-CLOSEresp [DTER] STA0	
RT-CLOSEcnf [DTER]		D-TERcnf STA0
D-UAreq	RT-U-ABreq STA0	RT-U-ABreq STA0
RT-U-ABind	D-UAind STA0	D-UAind STA0
RT-P-ABind	D-PAind STA0	D-PAind STA0